

苦小牧川橋 プレキャスト壁高欄詳細図（その4）

Type03N-N(相当品)

S=1:10

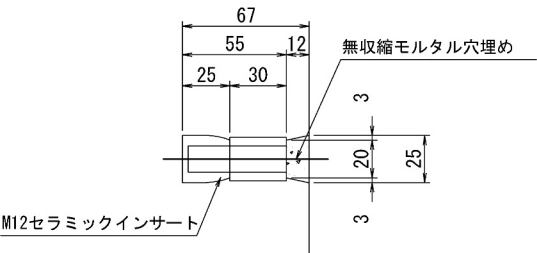
＜部材規格表＞

製品1基当たり

名 称	規 格	数量
型枠固定用インサート	M12, セラミック, L=55mm, ゴムパッキン無	10 個
高さ調整用部材	M20, SUS-高ナット, L=60mm	4 個
高さ調整用ボルト	M20, SUS-ボルト, L=60mm	4 本
バックアップ材(目地)	幅20mm, EPDM単泡ゴム	2.6 m
バックアップ材(シース)	内径φ40-外径φ80, EPDM単泡ゴム	2 組
通信管路	VE54用 一式	4 セット
型枠固定用インサート(背面)	M12, SUS-P, L=50mm	3 個
吊孔用スリーブ(施工)	VP50, L=254mm	2 本
吊金具(脱型)	2.5t, L=170mm	2 本

型枠固定用インサート詳細図

(M12セラミック, L=55, ゴムパッキン無)

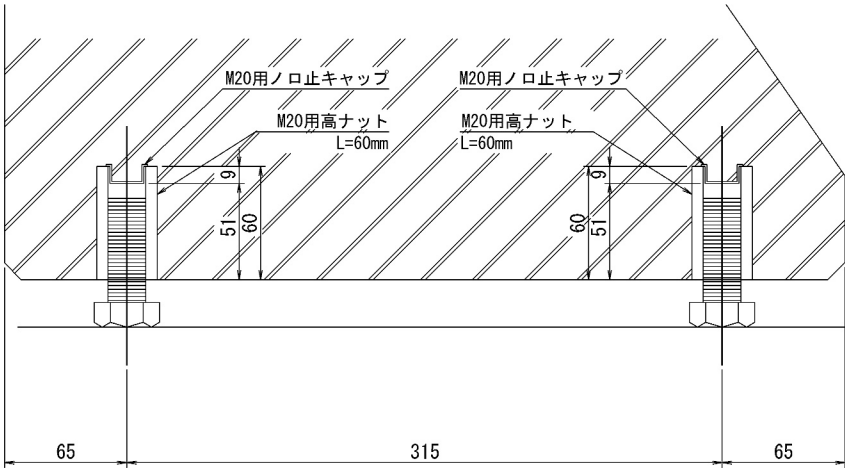


高さ調整用インサート詳細図

(M20ステンレス, L=60mm, ノロ止キャップ)

背面側

前面側



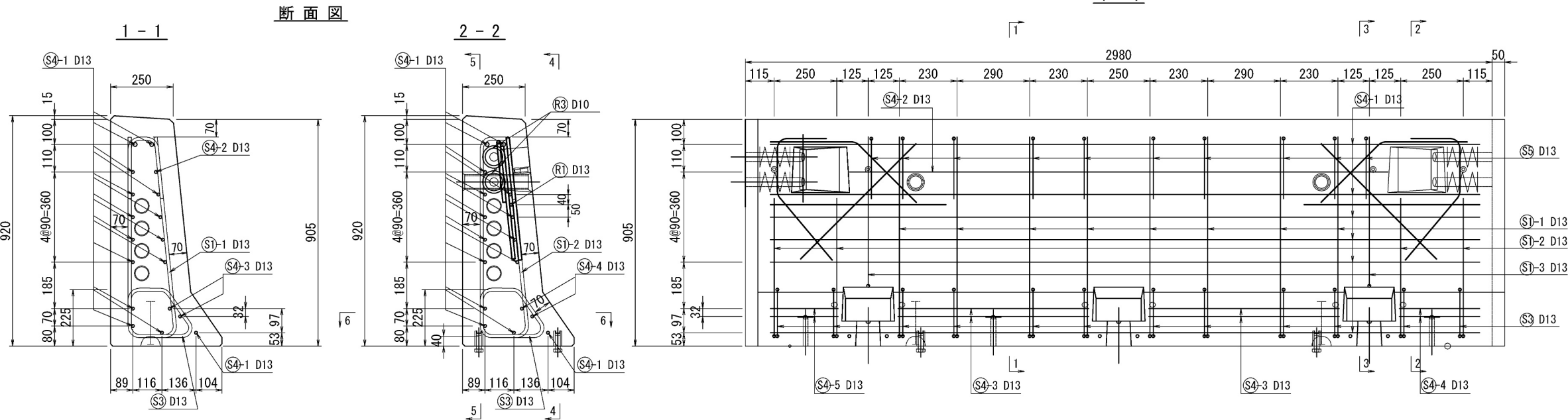
道 央 自 動 車 道			
苦小牧川橋床版取替工事			
図面の種類	苦小牧川橋 プレキャスト壁高欄詳細図（その4）		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	安藤ハザマ・岩田地崎JV		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 北広島管理事務所		

苫小牧川橋 プレキャスト壁高欄配筋図（その4）

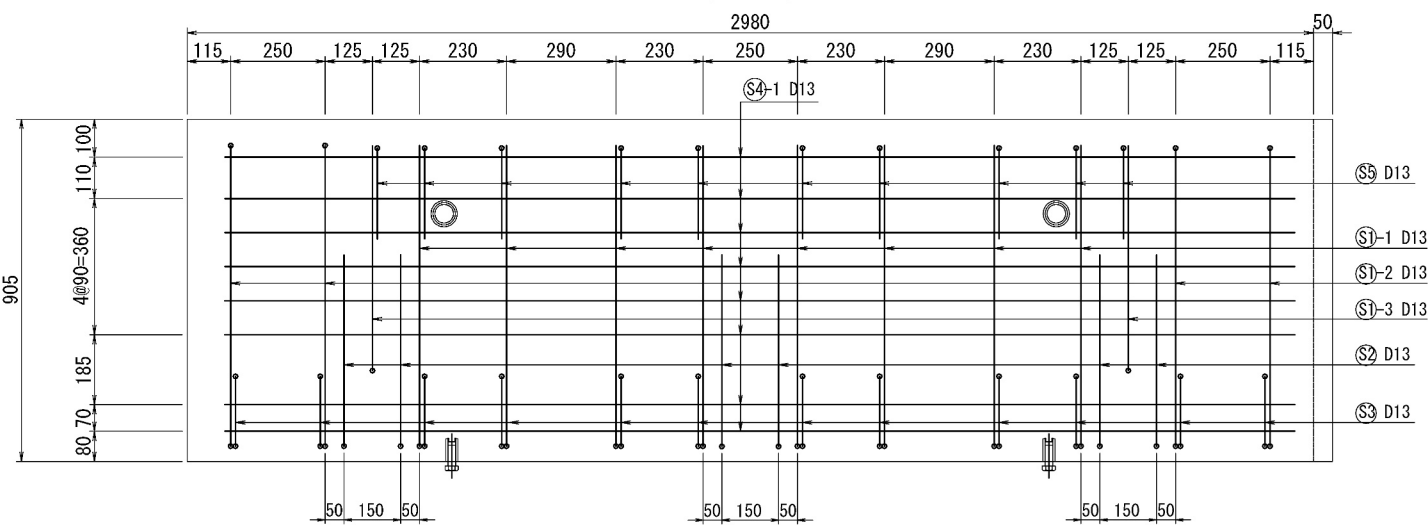
Type03N-N(相当品)

S=1:10

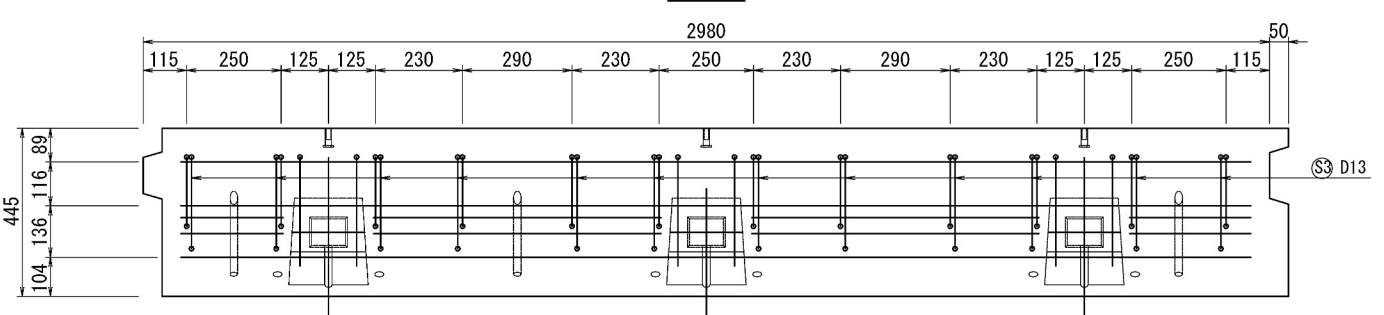
側面図  
4-4



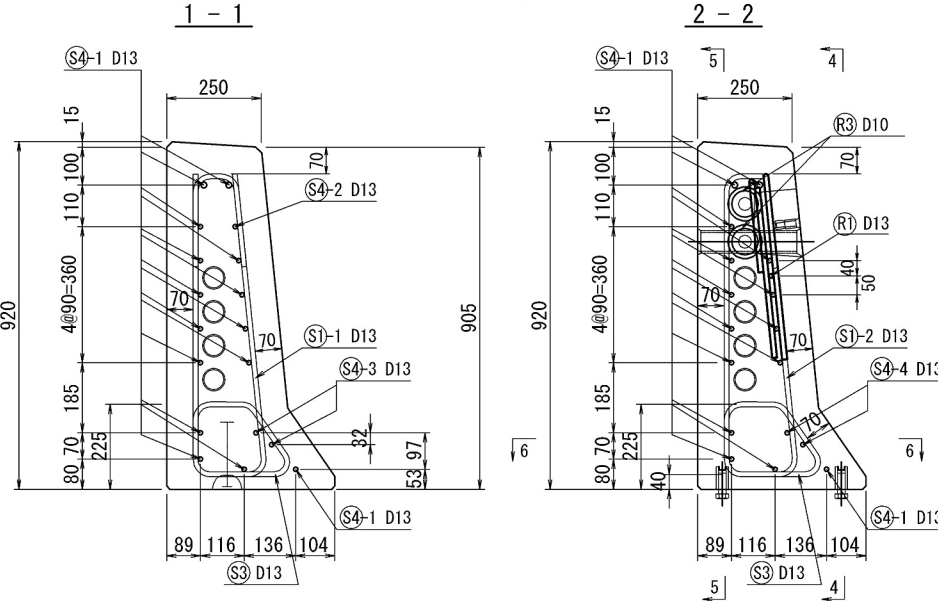
5-5



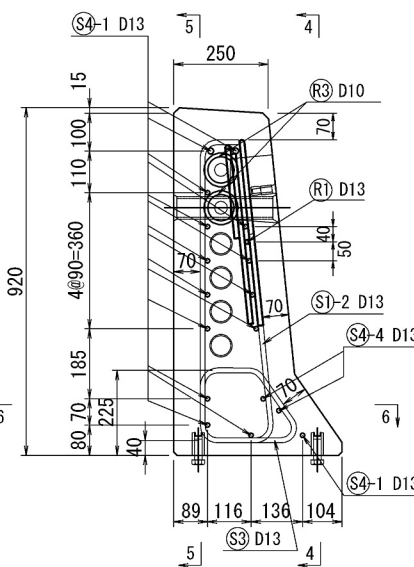
平面図  
6-6



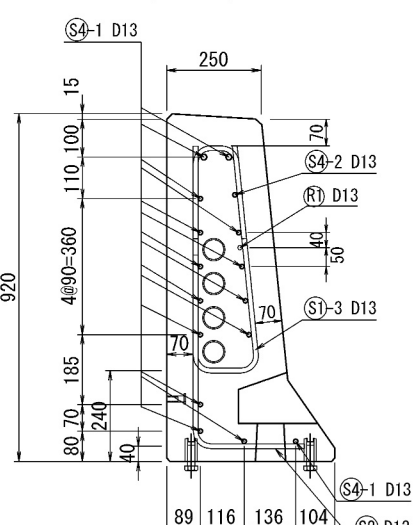
断面図



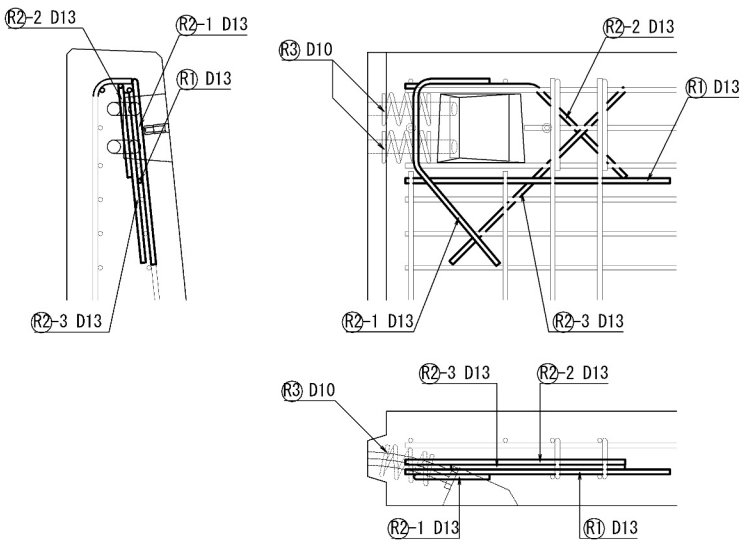
2-2



3-3



連結ボルト切欠箱 補強筋詳細図



道央自動車道 苫小牧川橋床版取替工事			
図面の種類	苫小牧川橋 プレキャスト壁高欄配筋図（その4）	縮尺	図示
設計会社名	安藤ハザマ・岩田地崎JV	図面番号	/
施工会社名	東日本高速道路株式会社 北海道支社		
事務所名	北広島管理事務所		



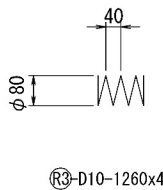
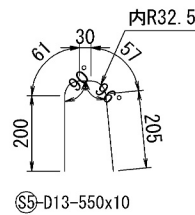
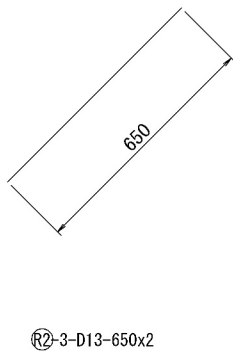
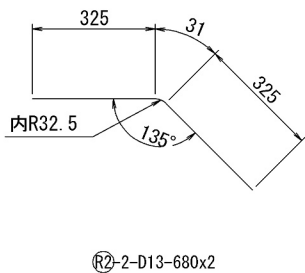
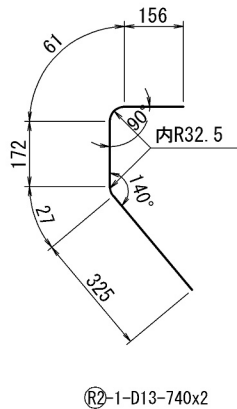
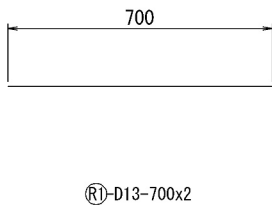
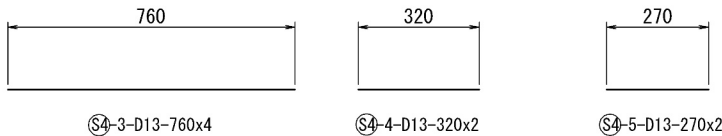
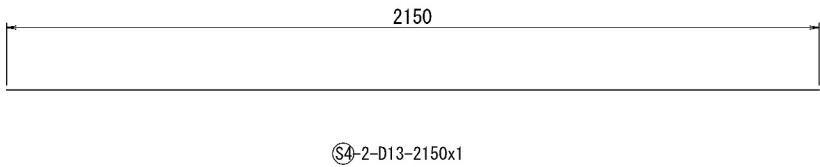
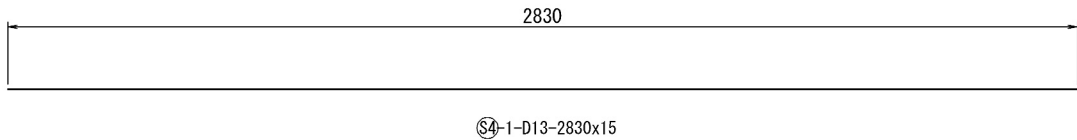
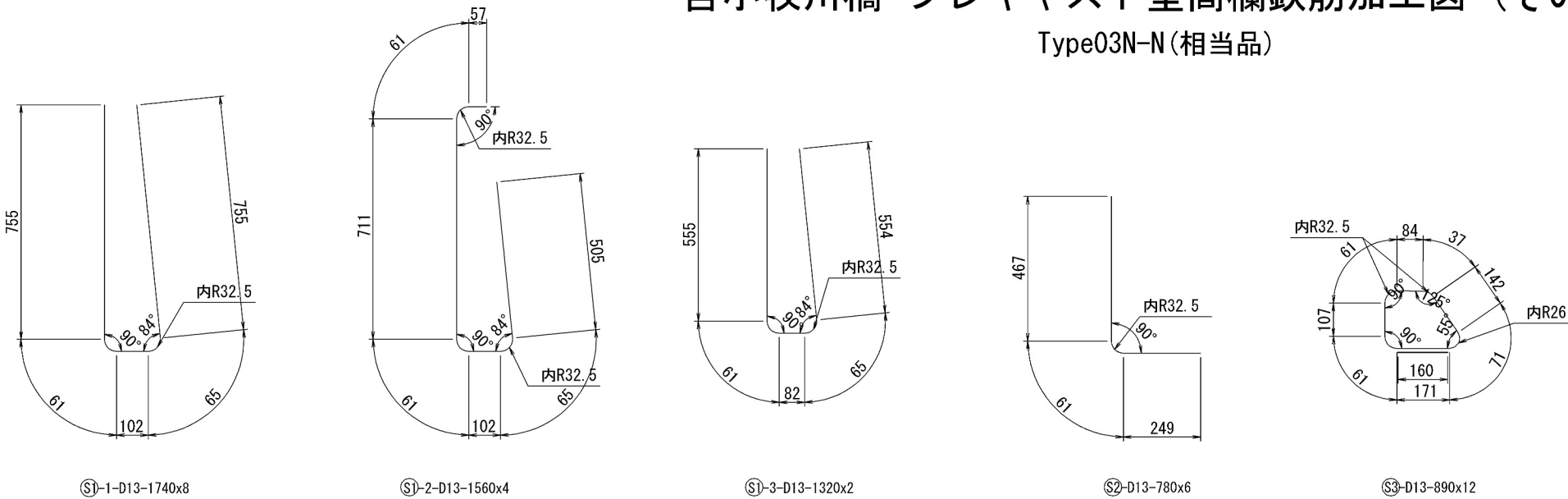
苫小牧川橋 プレキャスト壁高欄鉄筋加工図（その4）

Type03N-N(相当品)

S=1:10

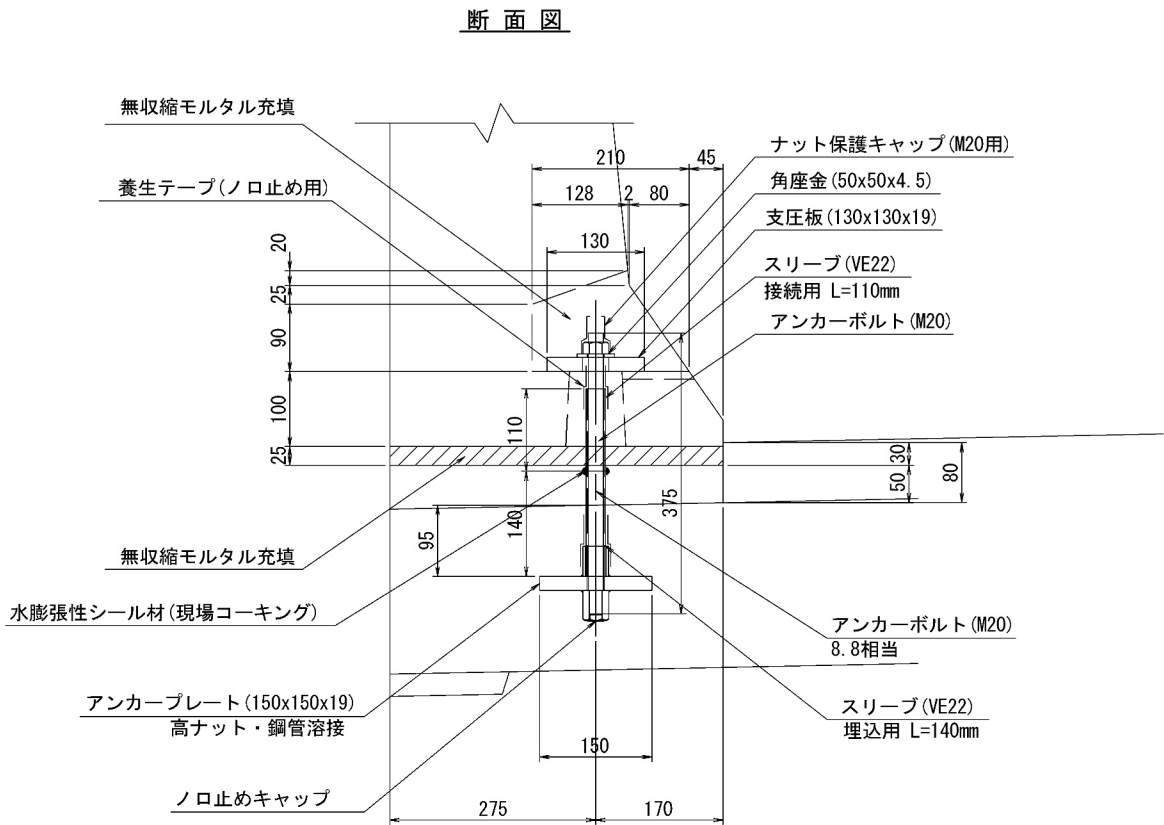
鉄筋質量集計 (SD345)

径	普通鉄筋	塗装鉄筋	合 計	適 用
D13	97.5kg		97.5kg	
D10	2.8kg		2.8kg	
合 計	100.3kg		100.3kg	



道 央 自 動 車 道			
苫小牧川橋床版取替工事			
図面の種類	苫小牧川橋 プレキャスト壁高欄鉄筋加工図（その4）		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	安藤ハザマ・岩田地崎JV		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 北広島管理事務所		

アンカーボルト部 詳細図

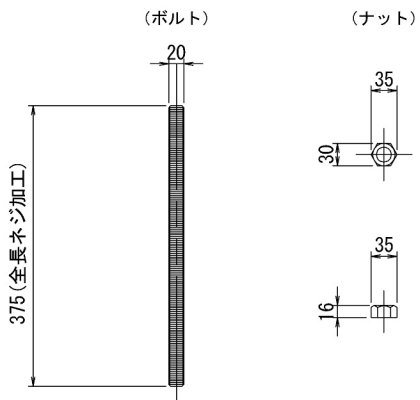


アンカーボルト部 金具詳細図

金具は「デイスゴ処理防食(亜鉛とエポキシの複合皮膜による高耐食処理)」とする。

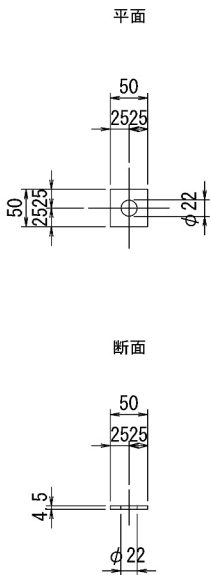
アンカーボルト

(M20, 強度区分8.8相当, 並目ネジ)



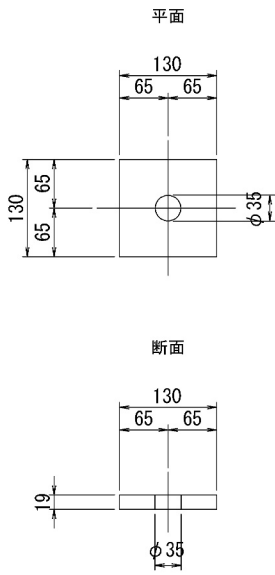
角座金

(50×50×4.5, S45C(H))



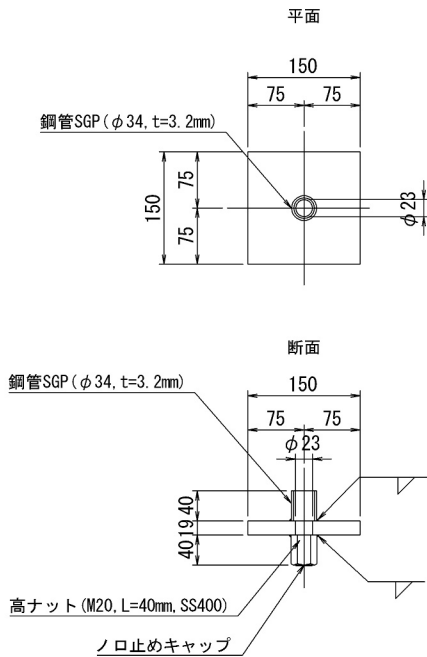
支圧板

(130×130×19, SS400)



アンカープレート

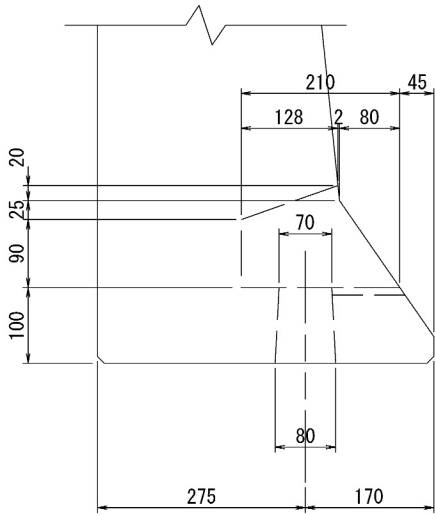
(150x150x19, SS400)



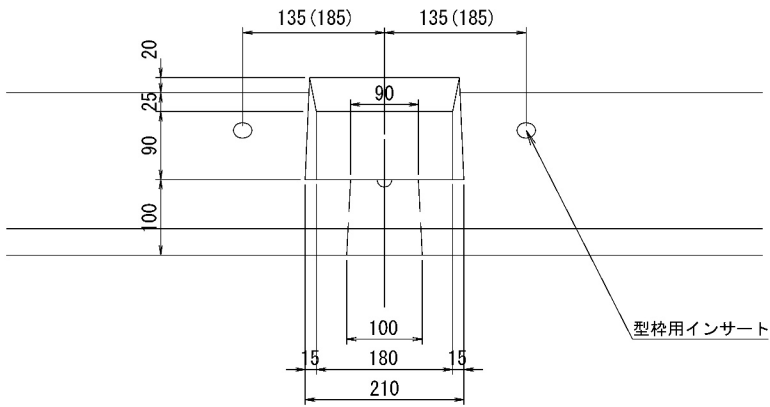
道央自動車道 苫小牧川橋床版取替工事				
図面の種類	苫小牧川橋 プレキャスト壁高欄連結部詳細図(その1)			
縮 尺	図 示	図面番号	/	
設計会社名	安藤ハザマ・岩田地崎JV			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 北広島管理事務所			

アンカー箱抜き詳細図

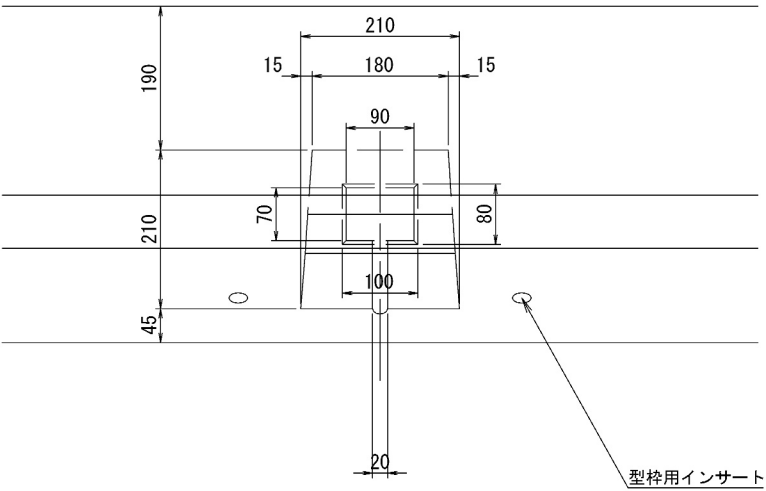
断面図



側面図



平面図



注) 寸法値のカッコ内は、端部製品型枠用インサートの寸法を示す。

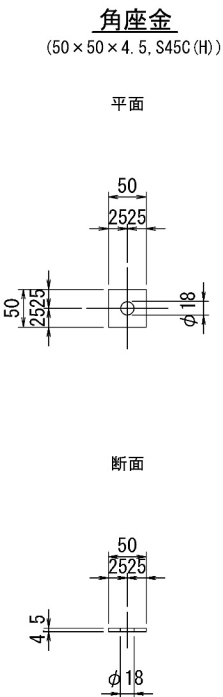
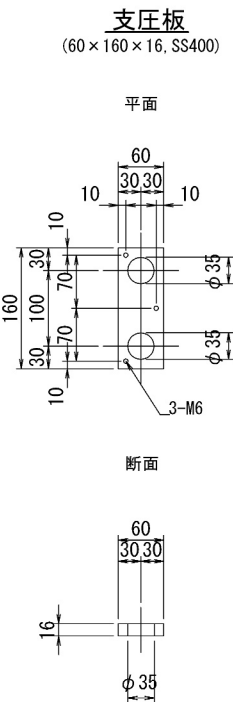
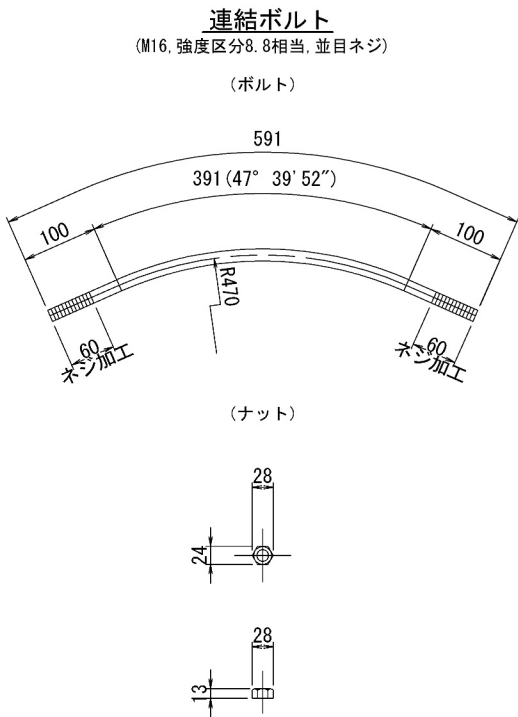
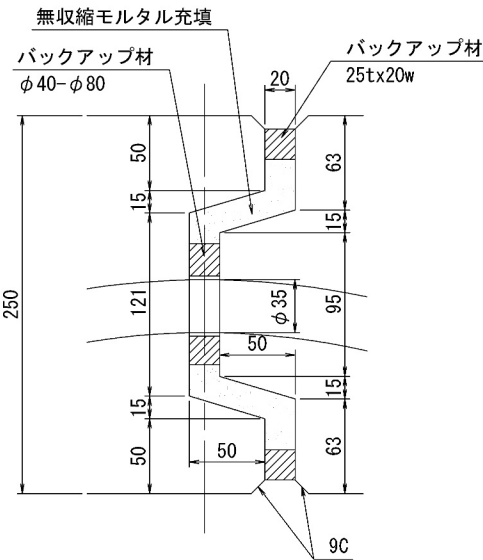
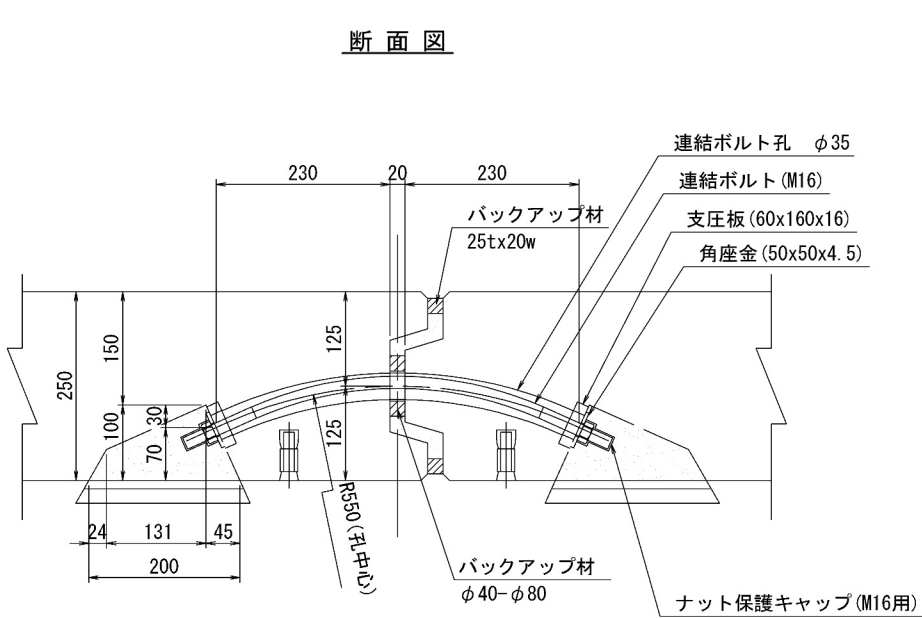
道央自動車道			
苫小牧川橋床版取替工事			
図面の種類	苫小牧川橋 プレキャスト壁高欄連結部詳細図(その2)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	安藤ハザマ・岩田地崎JV		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 北広島管理事務所		

連結ボルト部 詳細図

目地部詳細図

連結ボルト部 金具詳細図

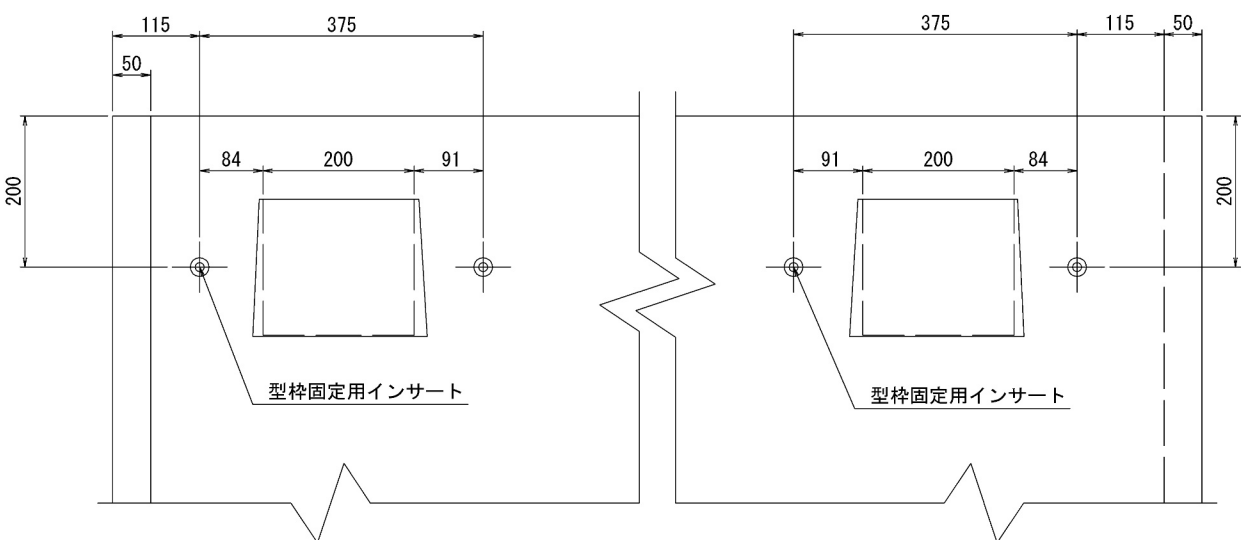
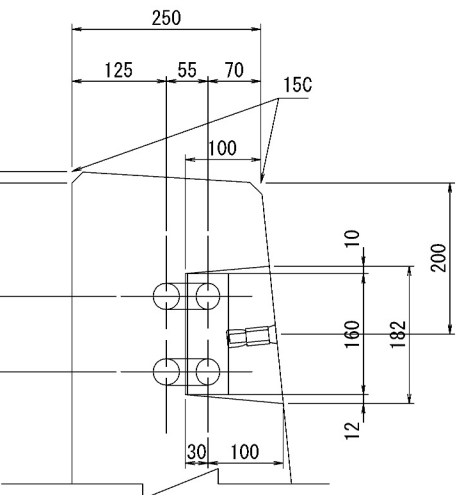
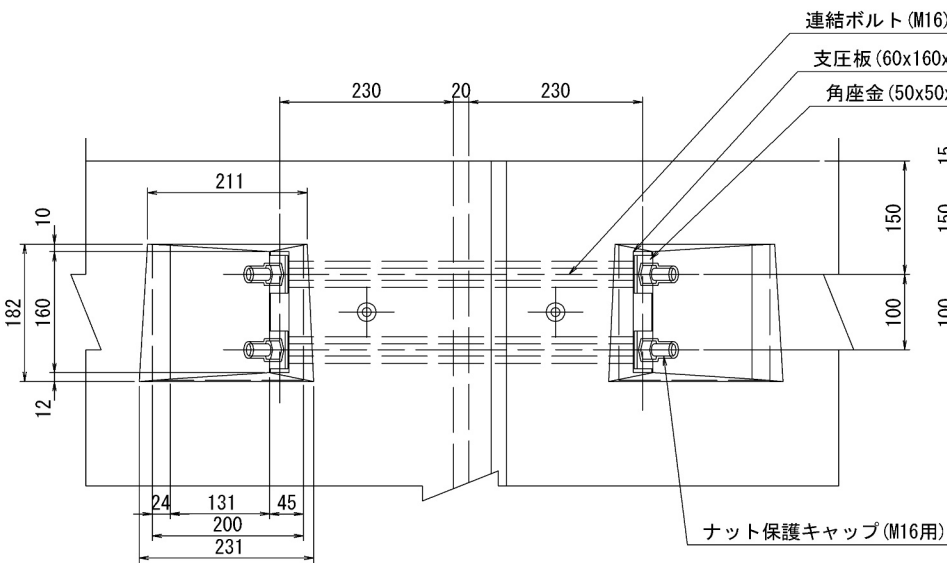
金具は「ディスゴ処理防食（亜鉛とエポキシの複合皮膜による高耐食処理）」とする。



側面図

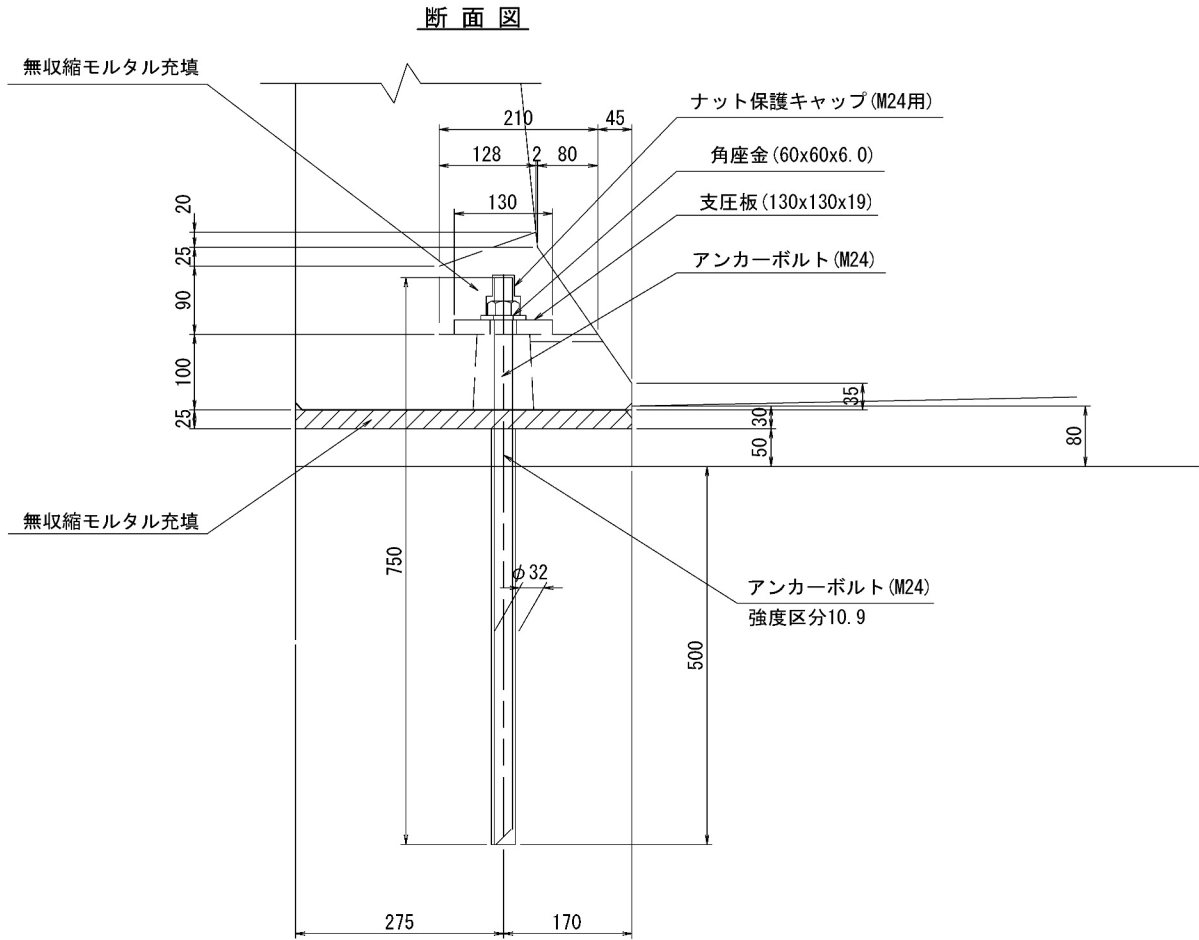
断面図

型枠固定用インサート位置



道央自動車道 苫小牧川橋床版取替工事			
図面の種類	苫小牧川橋 プレキャスト壁高欄連結部詳細図(その3)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	安藤ハザマ・岩田地崎JV		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 北広島管理事務所		

アンカーボルト部 詳細図

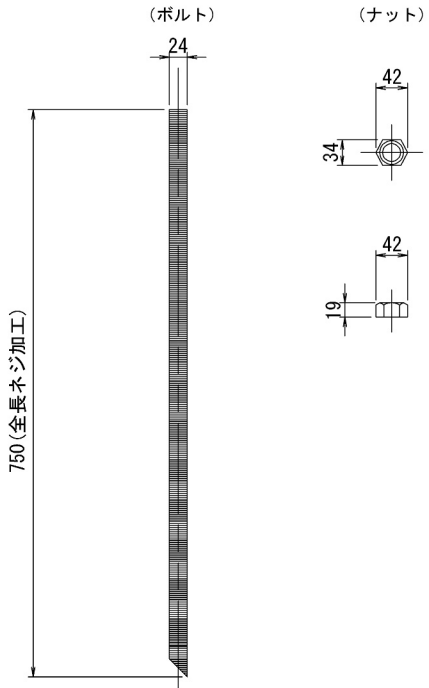


アンカーボルト部 金具詳細図

金具は「ディスゴ処理防食（亜鉛とエポキシの複合皮膜による高耐食処理）」とする。

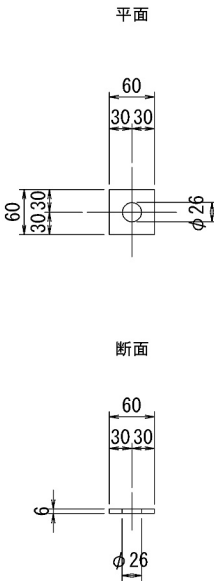
アンカーボルト

(M24, 強度区分10.9相当, 並目ネジ, 片面カット)



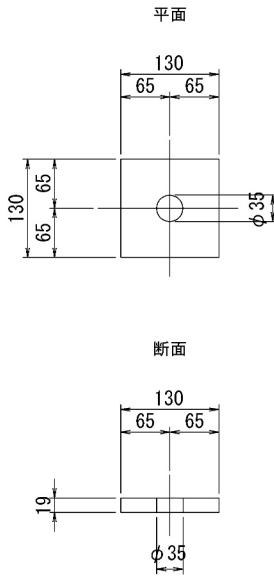
角座金

(60x60x6.0, S45C (H))



支圧板

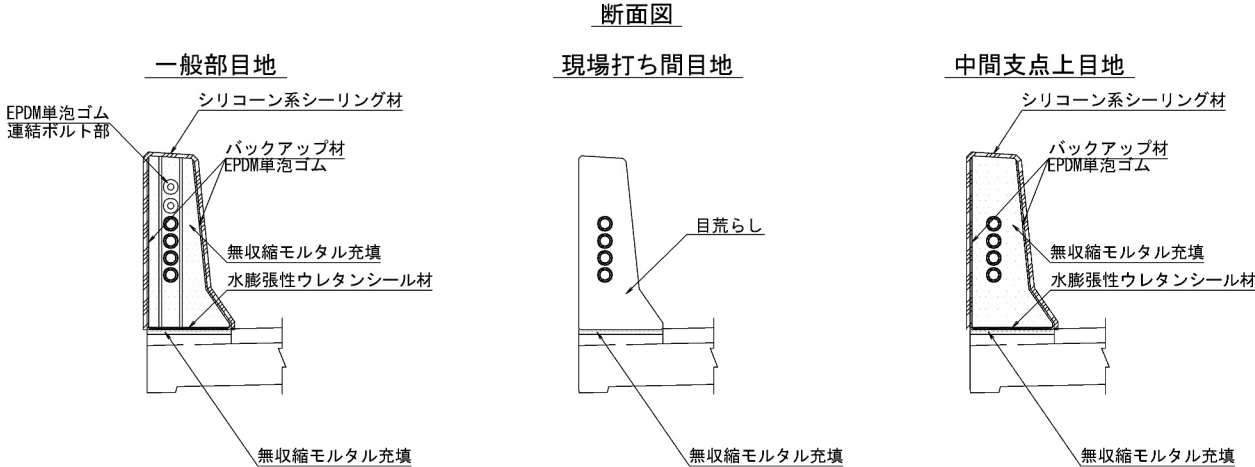
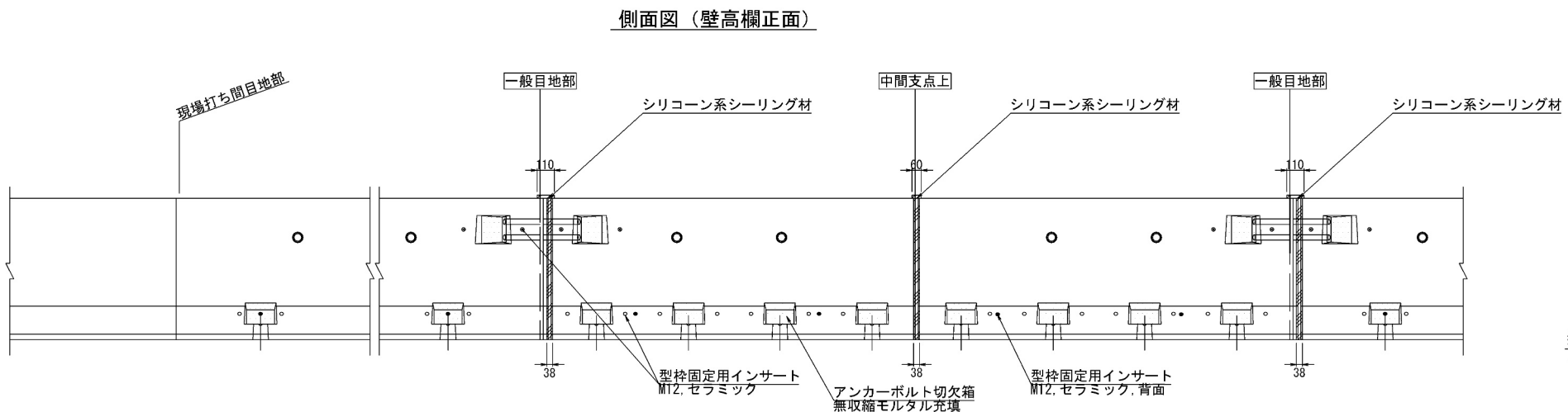
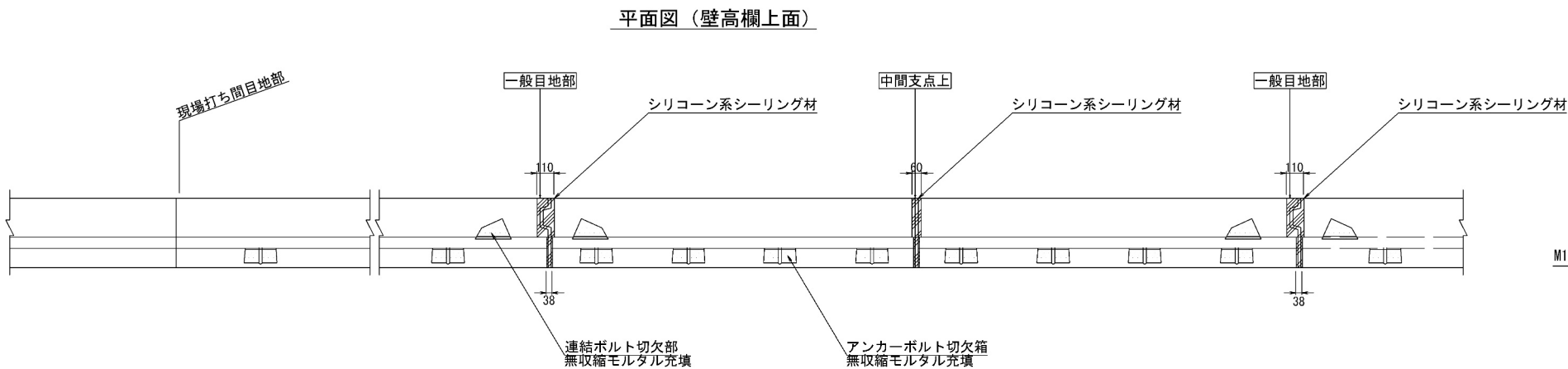
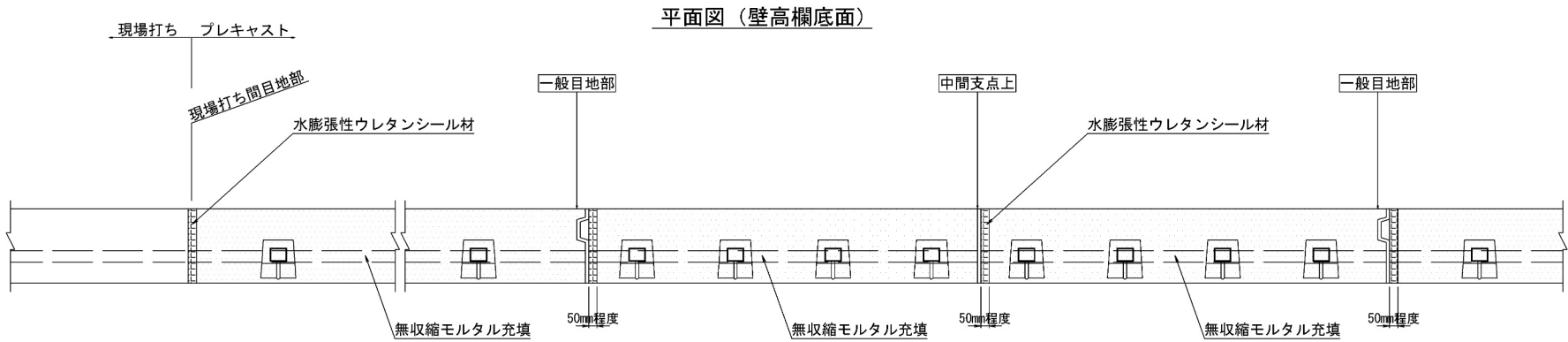
(130×130×19, SS400)



道央自動車道			
苫小牧川橋床版取替工事			
図面の種類	苫小牧川橋 プレキャスト壁高欄連結部詳細図(翼壁上) (その4)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	安藤ハザマ・岩田地崎JV		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 北広島管理事務所		

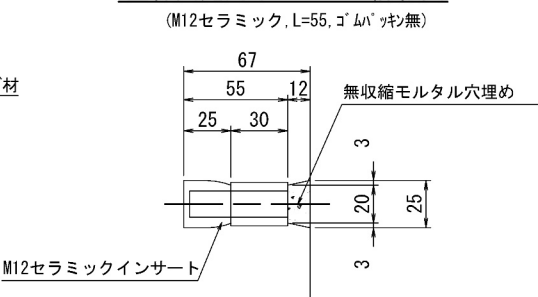
苫小牧川橋 プレキャスト壁高欄 仕上げ詳細図

S=1:20



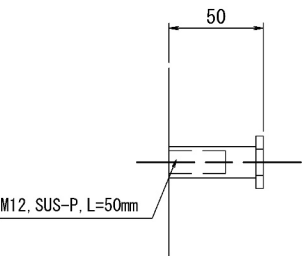
※ 底版の無収縮モルタル注入時には前後に型枠設置のこと。

型枠固定用インサート詳細図 S=1:2

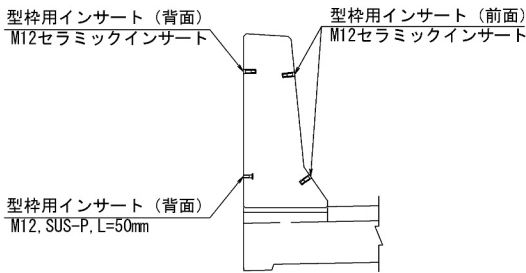


型枠用インサート詳細図 S=1:2

(M12, SUS-P, L=50mm)



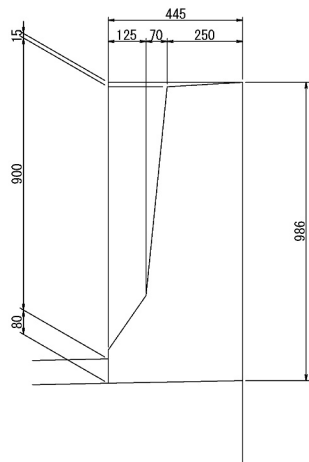
インサート位置図



道央自動車道 苫小牧川橋床版取替工事			
図面の種類	苫小牧川橋 プレキャスト壁高欄 仕上げ詳細図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	安藤ハザマ・岩田地崎JV		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 北広島管理事務所		

苦小牧川橋（下り線） 場所打ちコンクリート防護柵詳細図（その1）

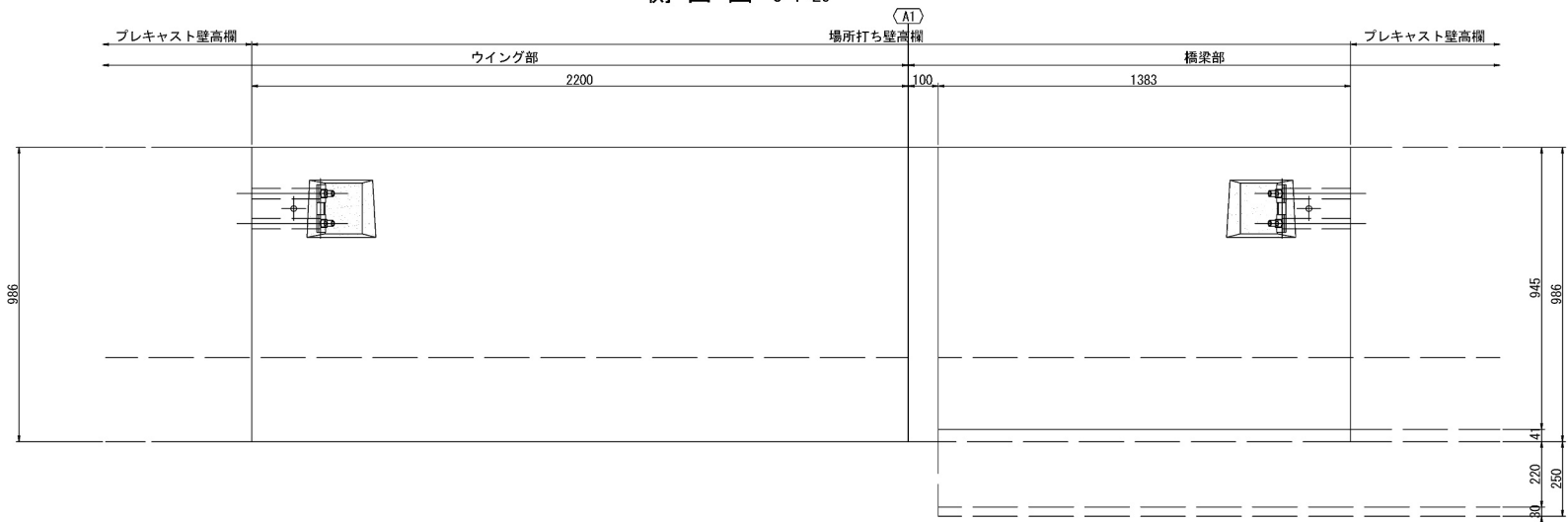
断面図 S=1:25



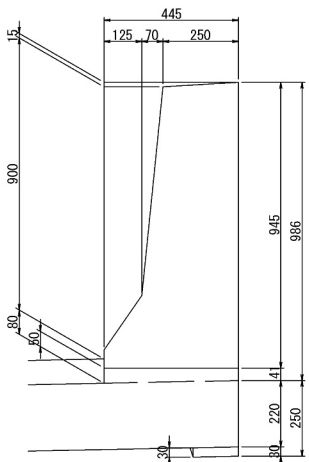
【L側】

A1側

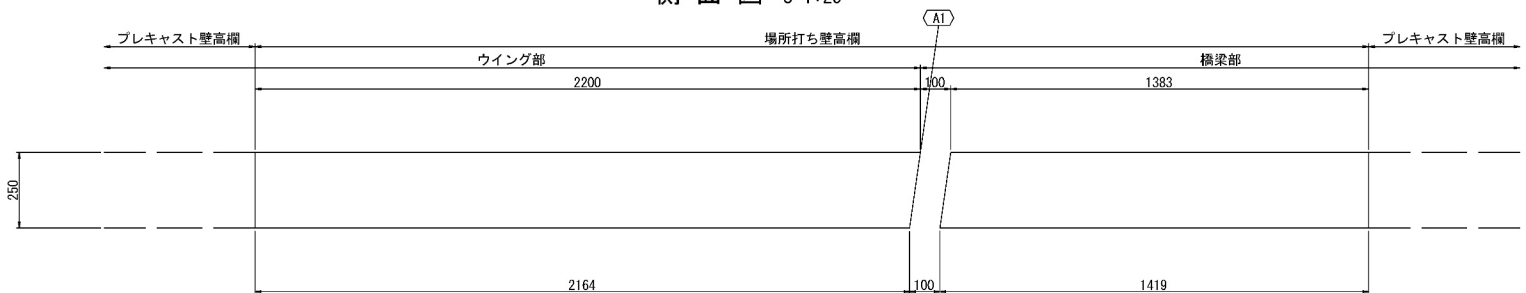
側面図 S=1:25



断面図 S=1:25



側面図 S=1:25

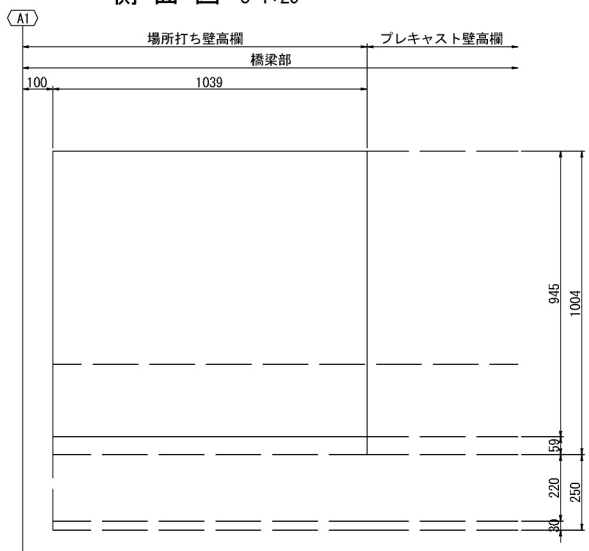


【R側】

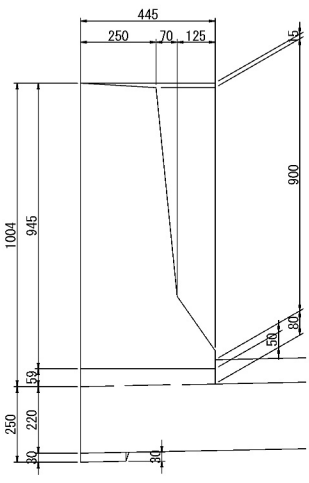
側面図 S=1:25



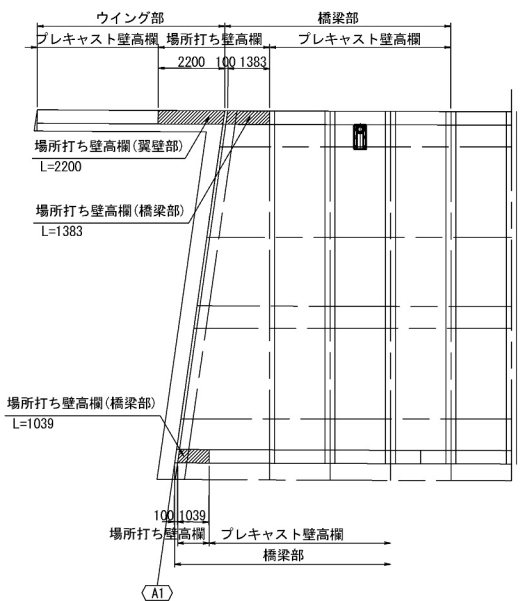
側面図 S=1:25



断面図 S=1:25



配置図 S=1:250



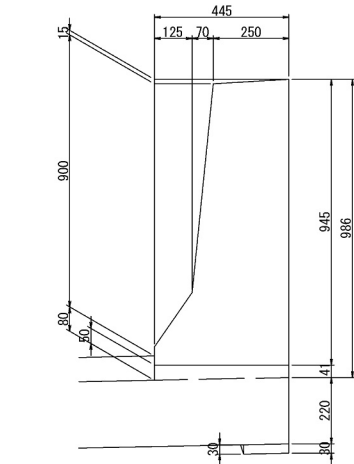
数量表

項目	種別	単位	数量	備考
コンクリート	A1-4	m3	2.9	
型わく	A	m2	19.5	
鉄筋	A	t	0.576	

道央自動車道 苦小牧川橋床版取替工事			
図面の種類	苦小牧川橋（下り線） 場所打ちコンクリート防護柵詳細図（その1）		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	安藤ハザマ・岩田地崎JV		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 北広島管理事務所		

苫小牧川橋（下り線） 場所打ちコンクリート防護柵詳細図（その2）

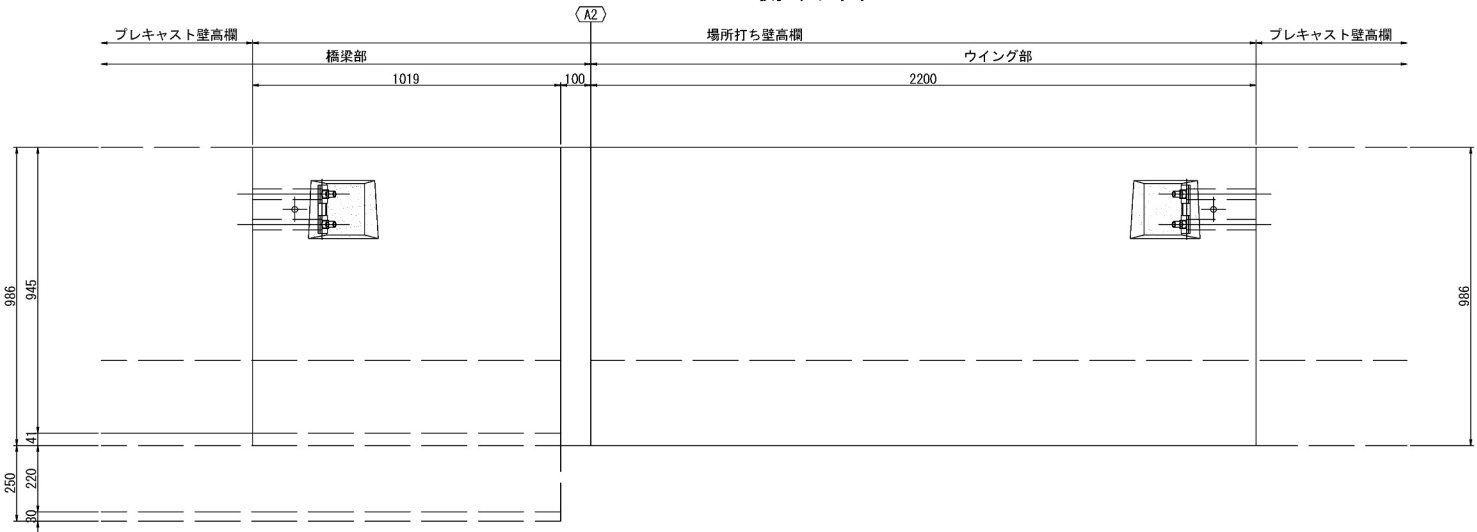
断面図 S=1:25



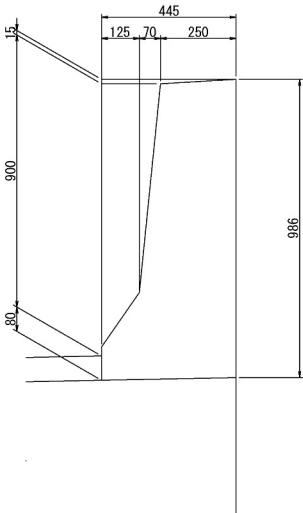
【L側】

A2側

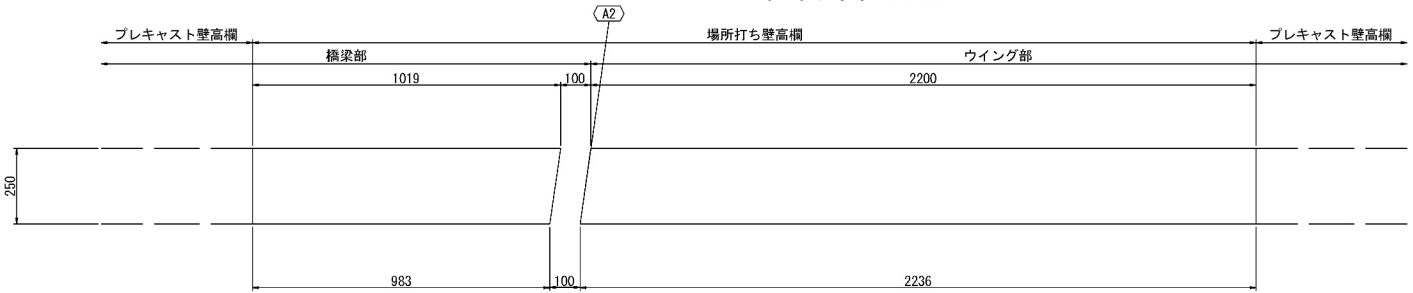
側面図 S=1:25



断面図 S=1:25

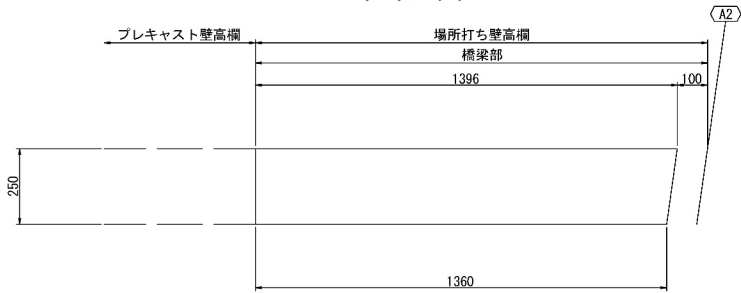


平面図 S=1:25

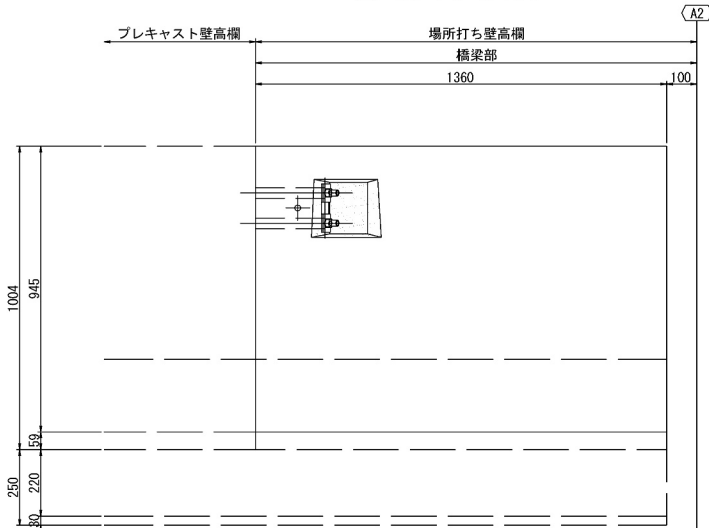


【R側】

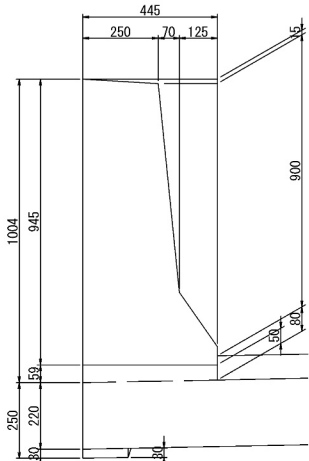
平面図 S=1:25



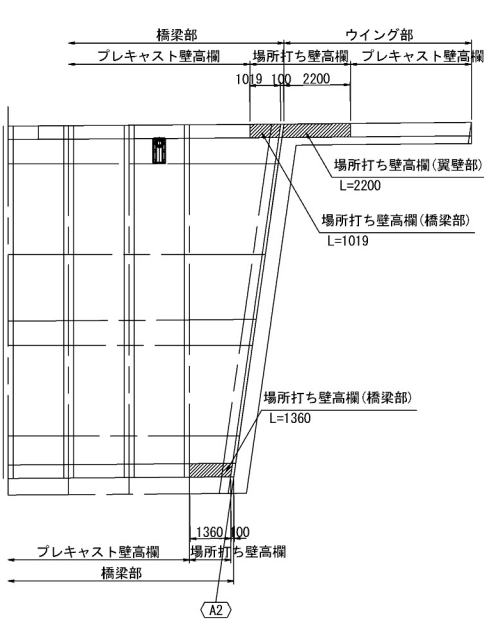
側面図 S=1:25



断面図 S=1:25



配置図 S=1:250

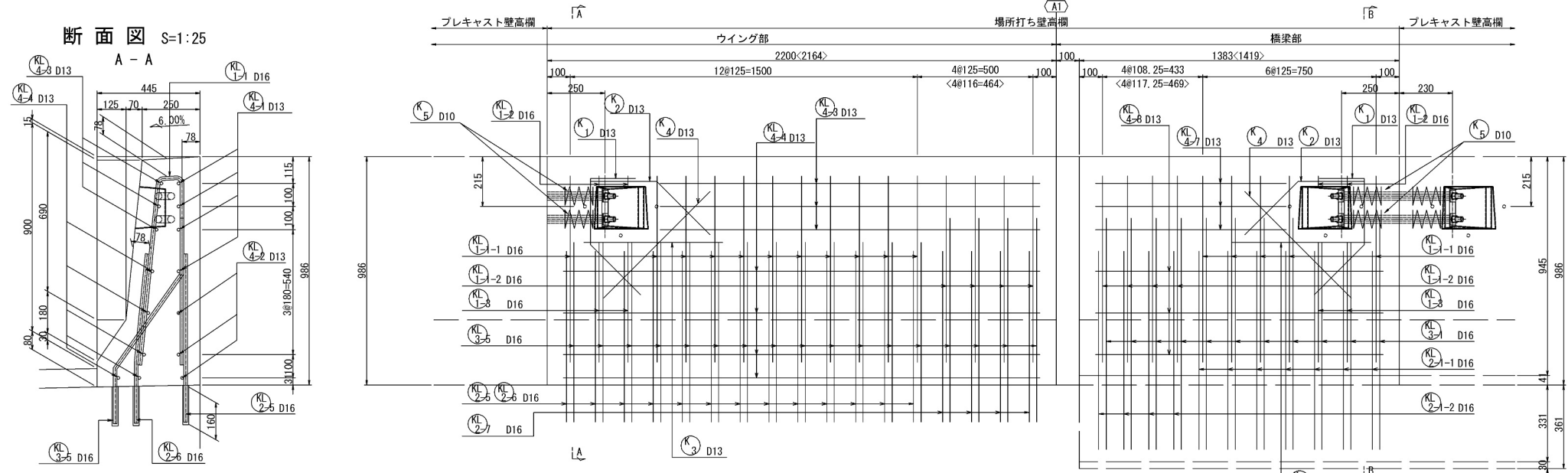


道央自動車道 苫小牧川橋床版取替工事			
図面の種類	苫小牧川橋（下り線） 場所打ちコンクリート防護柵詳細図（その2）		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	安藤ハザマ・岩田地崎JV		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 北広島管理事務所		

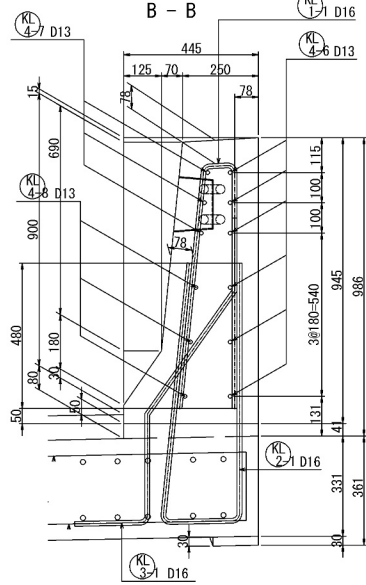


苦小牧川橋（下り線） 場所打ちコンクリート防護柵詳細図（その3）

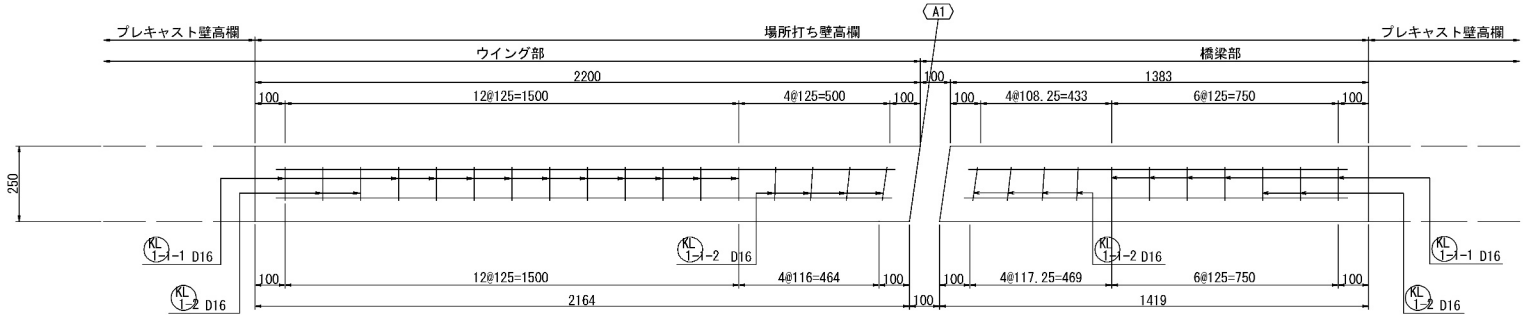
【L側】 A1側  
側面図 S=1:25



断面図 S=1:25  
B - B

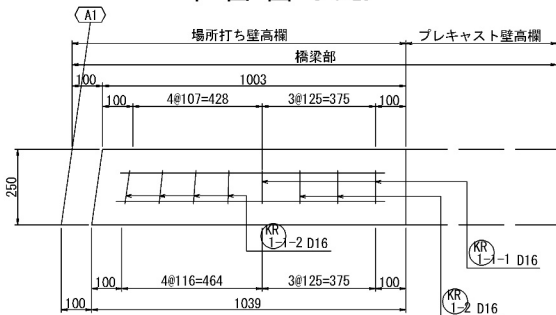


平面図 S=1:25

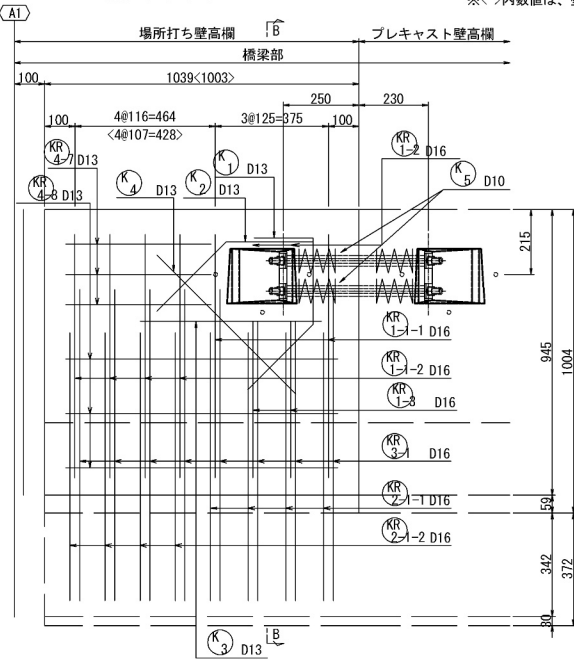


【R側】

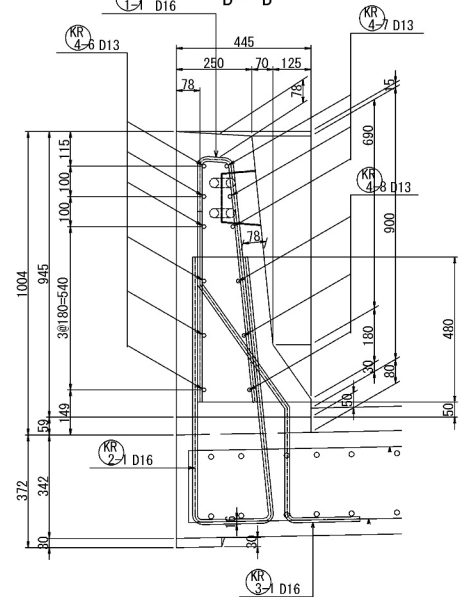
平面図 S=1:25



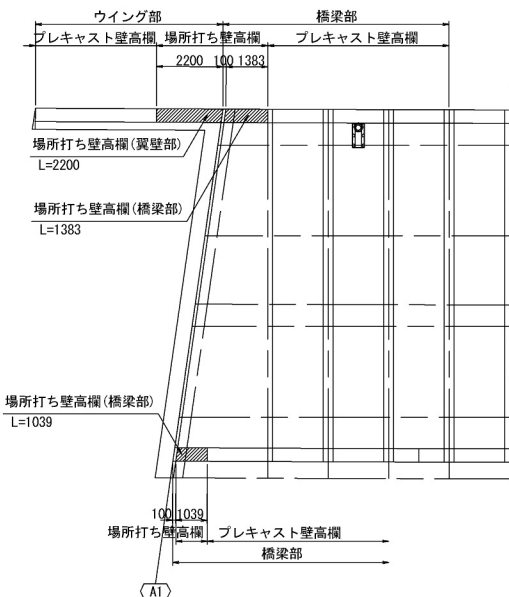
側面図 S=1:25



断面図 S=1:25  
B - B



配置図 S=1:250



鉄筋質量集計表 (SD345)

径	普通鉄筋	塗装鉄筋	合計	適用
D13	56kg		56kg	
D16	229kg		229kg	
D10	4kg		4kg	
合計	289kg		289kg	

道央自動車道 苦小牧川橋床版取替工事			
図面の種類	苦小牧川橋（下り線） 場所打ちコンクリート防護柵詳細図（その3）		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	安藤ハザマ・岩田地崎JV		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 北広島管理事務所		

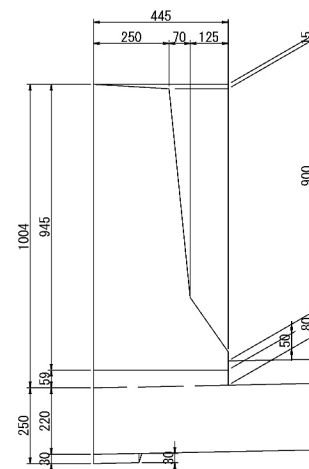
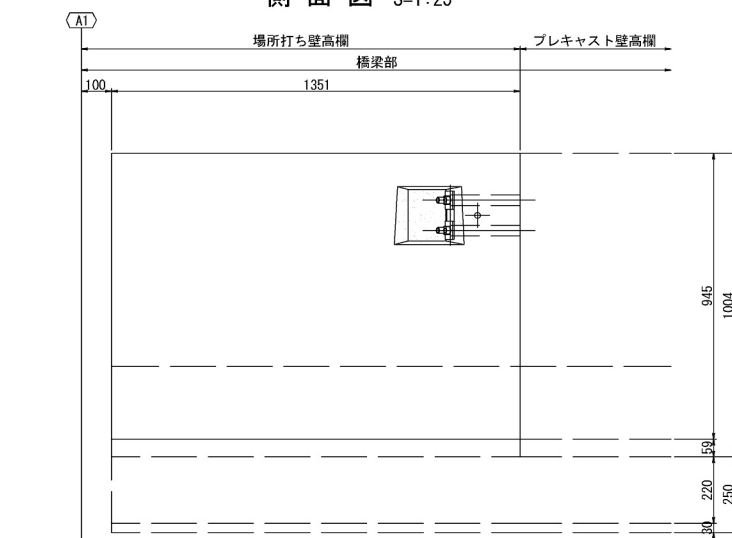


【L側】

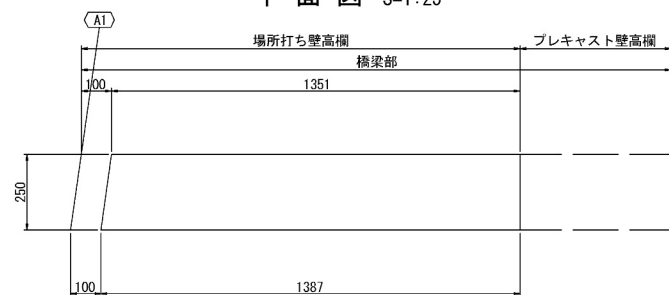
A1側

側面図 S=1:25

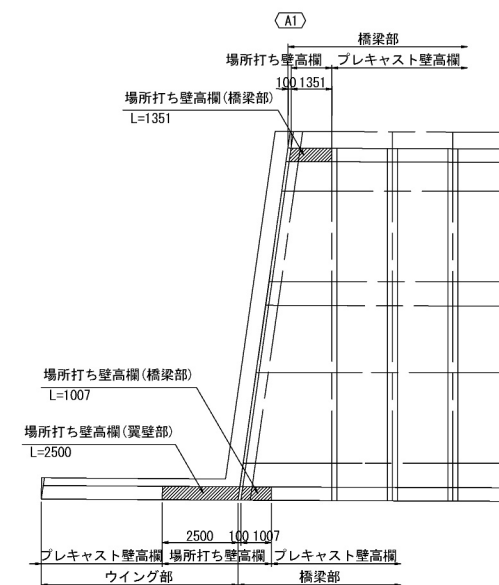
断面図 S=1:25



平面図 S=1:25

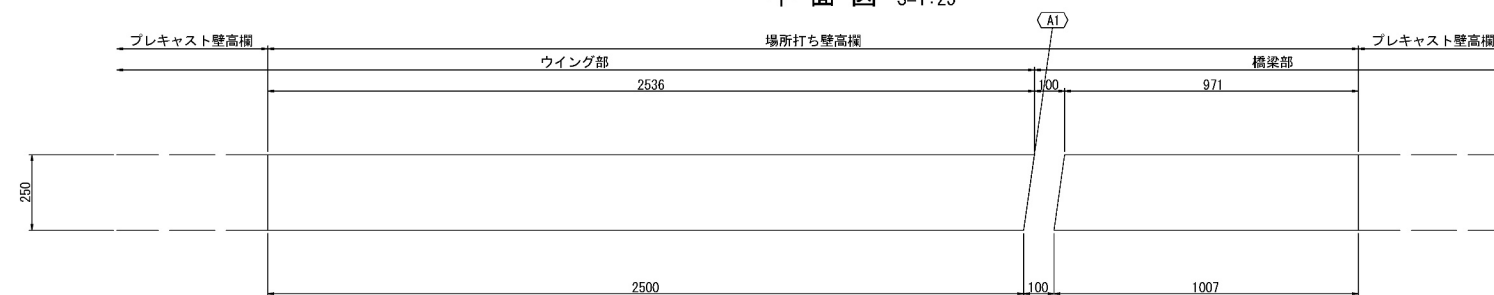


配置図 S=1:250



【R側】

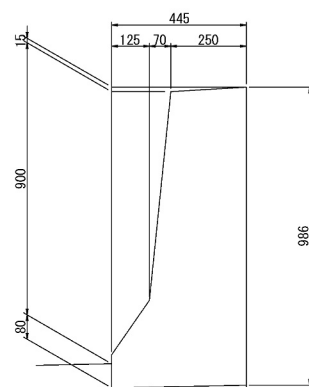
平面図 S=1:25



数量表

項目	種別	単位	数量 上り	備考
コンクリート	A1-4	m3	3.1	
型わく	A	m2	20.7	
鉄筋	A	t	0.61	

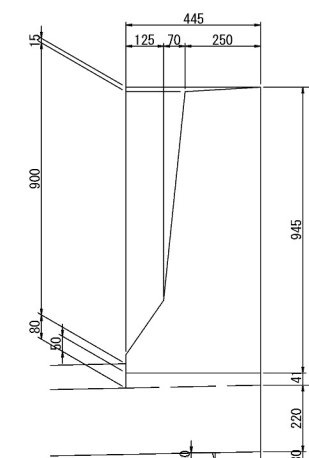
断面図 S=1:25



側面図 S=1:25

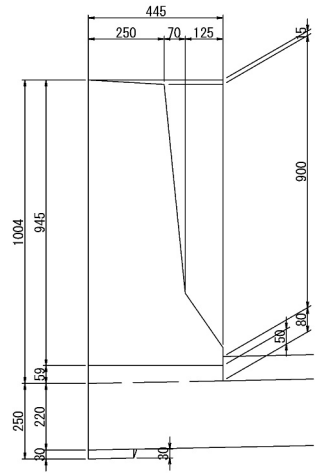


断面図 S=1:25



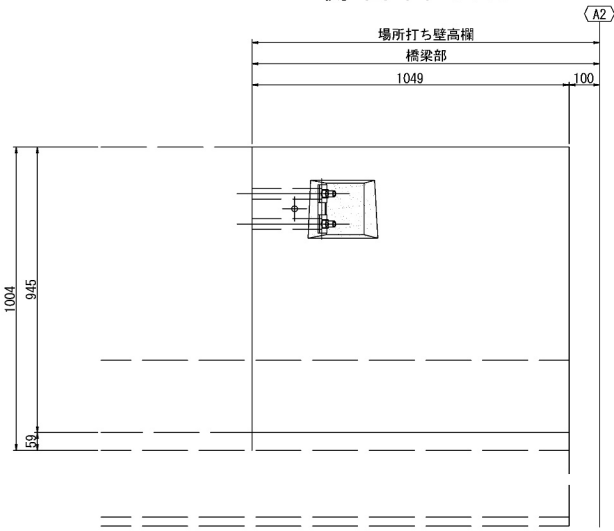
道央自動車道 苦小牧川橋床版取替工事			
図面の種類	苦小牧川橋（上り線） 場所打ちコンクリート防護柵詳細図（その1）		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	安藤ハザマ・岩田地崎JV		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 北広島管理事務所		

断面図 S=1:25



【L側】

側面図 S=1:25

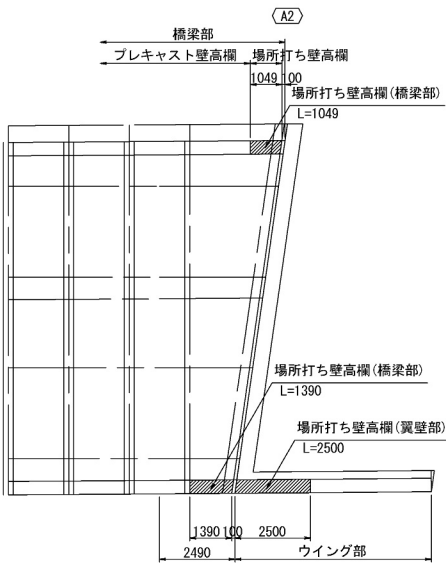


A2側

平面図 S=1:25

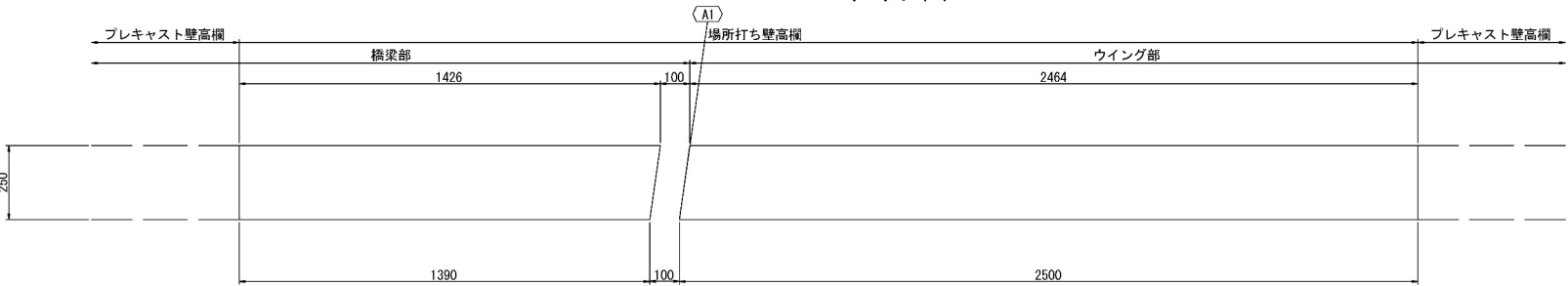


配置図 S=1:250

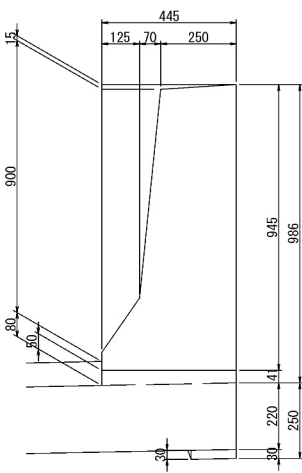


【R側】

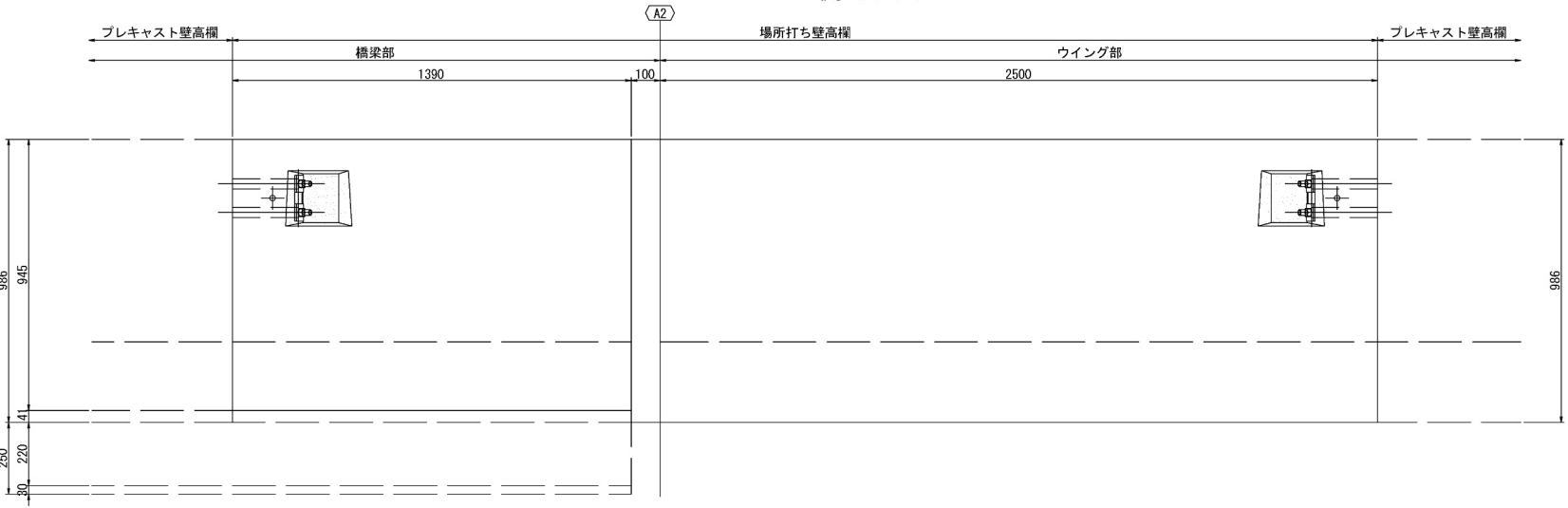
平面図 S=1:25



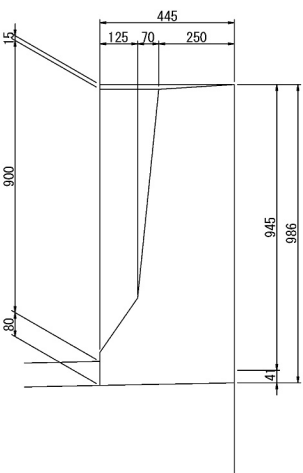
断面図 S=1:25



側面図 S=1:25



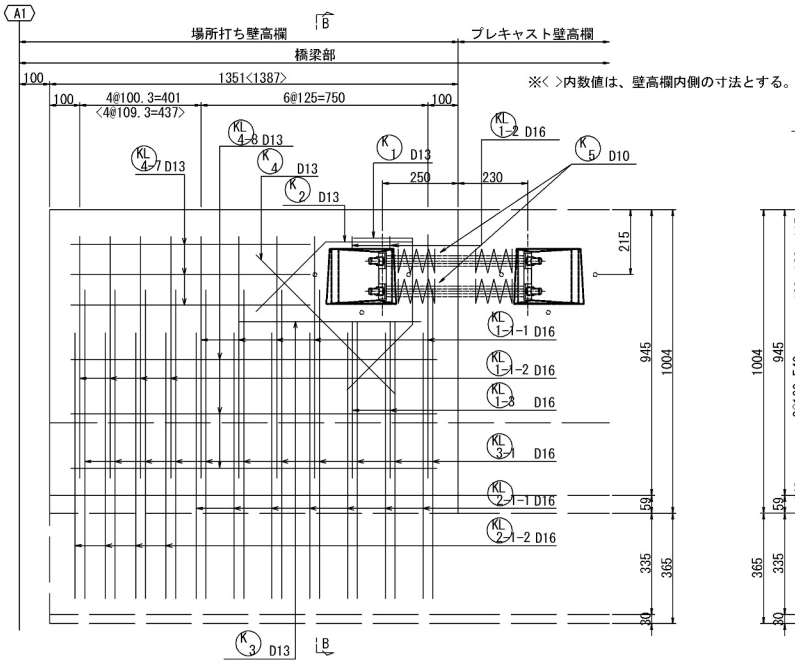
断面図 S=1:25



道央自動車道 苫小牧川橋床版取替工事				
図面の種類	苫小牧川橋（上り線） 場所打ちコンクリート防護柵詳細図（その2）			
	縮尺	図示	図面番号	／
設計会社名	安藤ハザマ・岩田地崎JV			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 北広島管理事務所			

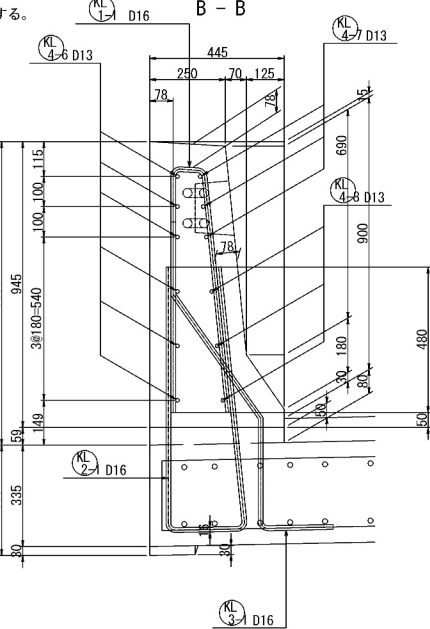
【L側】 苦小牧川橋（上り線） 場所打ちコンクリート防護柵詳細図（その3）

側面図 S=1:25

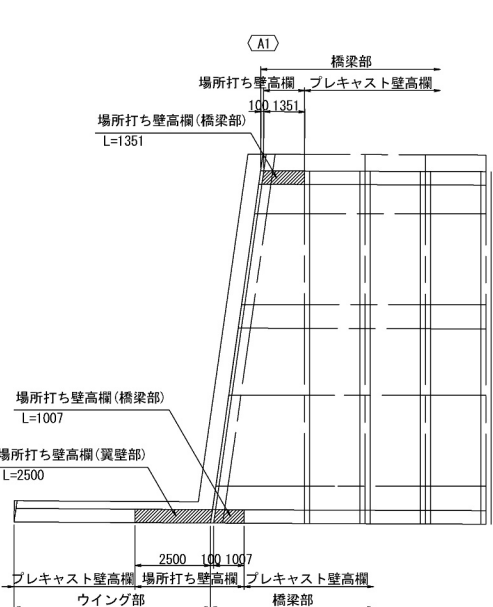


A1側

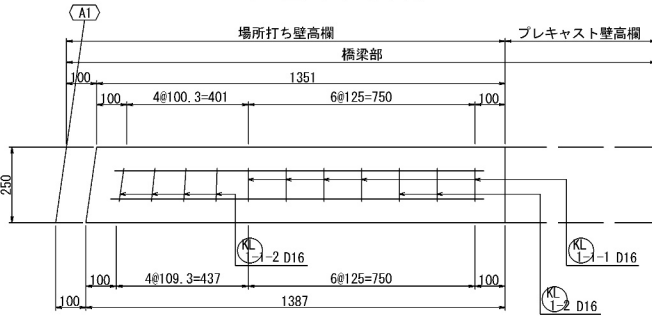
断面図 S=1:25



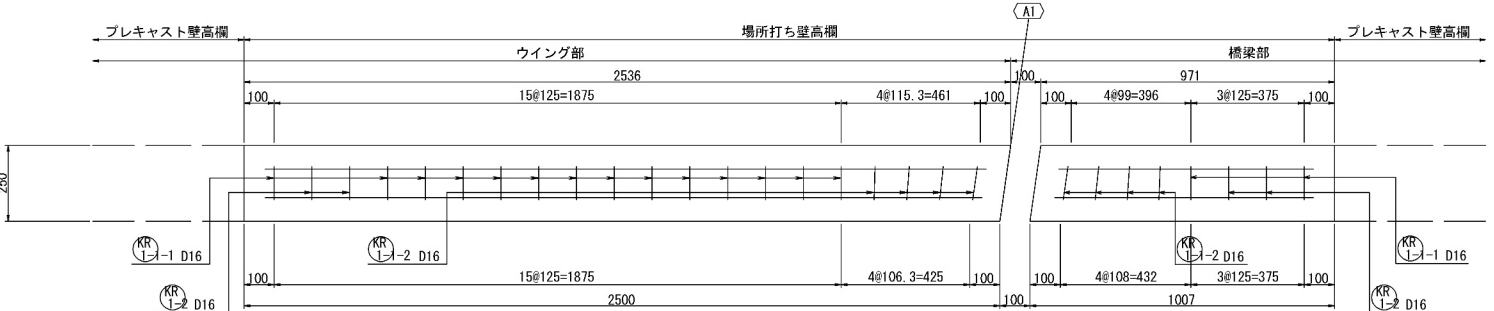
配置図 S=1:250



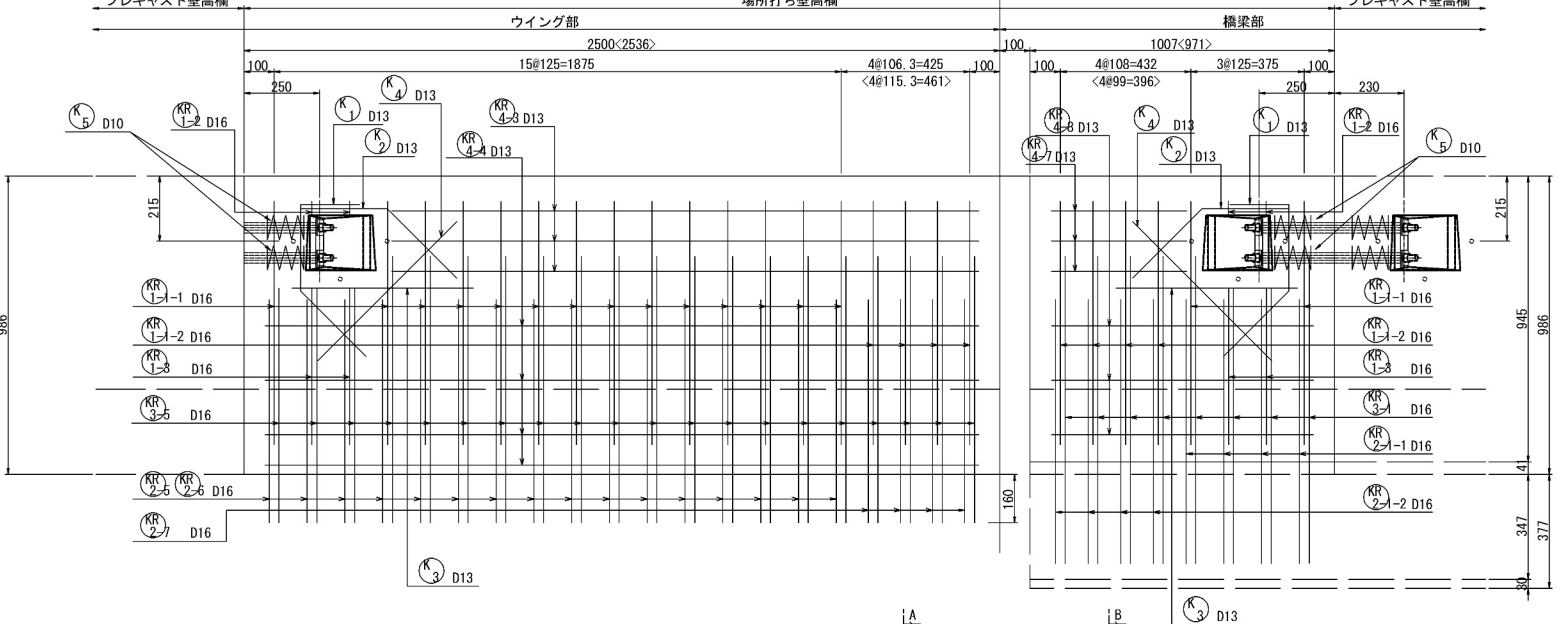
平面図 S=1:25



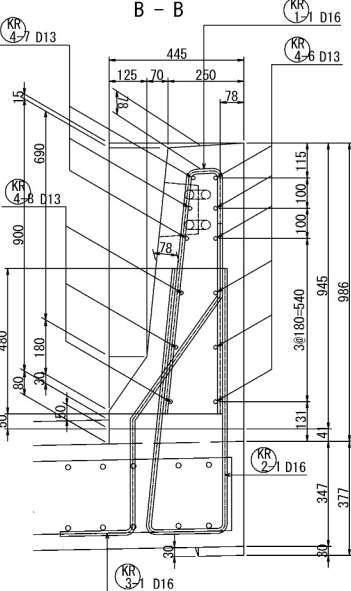
【R側】 平面図 S=1:25



側面図 S=1:25



断面図 S=1:25



鉄筋質量集計表 (SD345)

径	普通鉄筋	塗装鉄筋	合 計	適 用
D13	59kg		59kg	
D16	241kg		241kg	
D10	4kg		4kg	
合 計	304kg		304kg	

道央自動車道 苦小牧川橋床版取替工事			
図面の種類	苦小牧川橋（上り線） 場所打ちコンクリート防護柵詳細図（その3）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	安藤ハザマ・岩田地崎JV		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 北広島管理事務所		

【L側】 苦小牧川橋（上り線） 場所打ちコンクリート防護柵詳細図（その4）

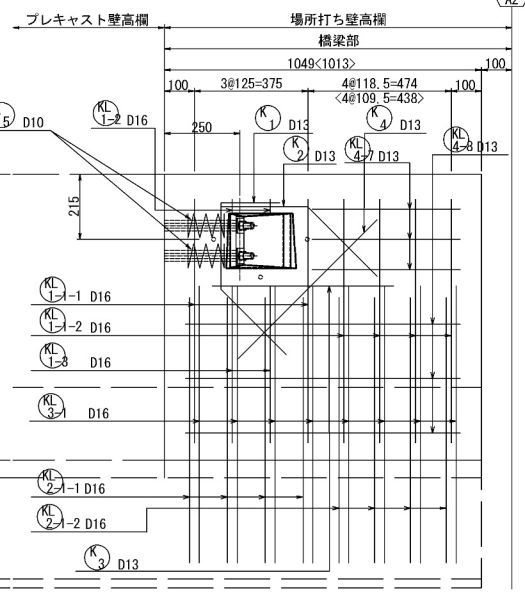
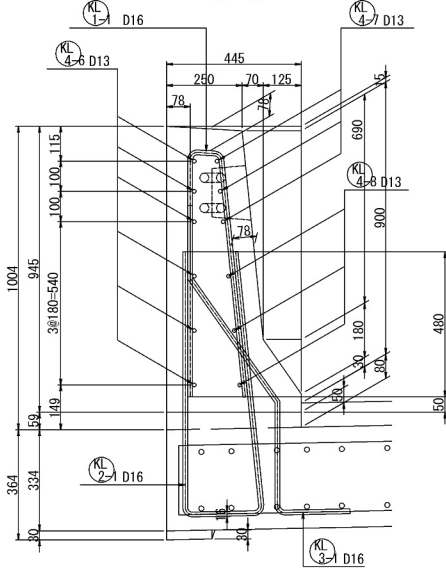
側面図 S=1:25

A2側

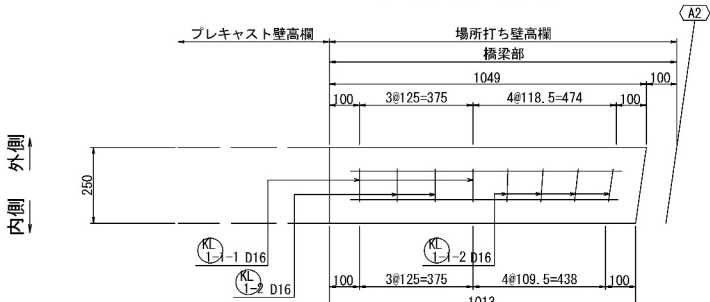
※<>内数値は、壁高欄内側の寸法とする。

配置図 S=1:250

断面図 S=1:25  
A-A

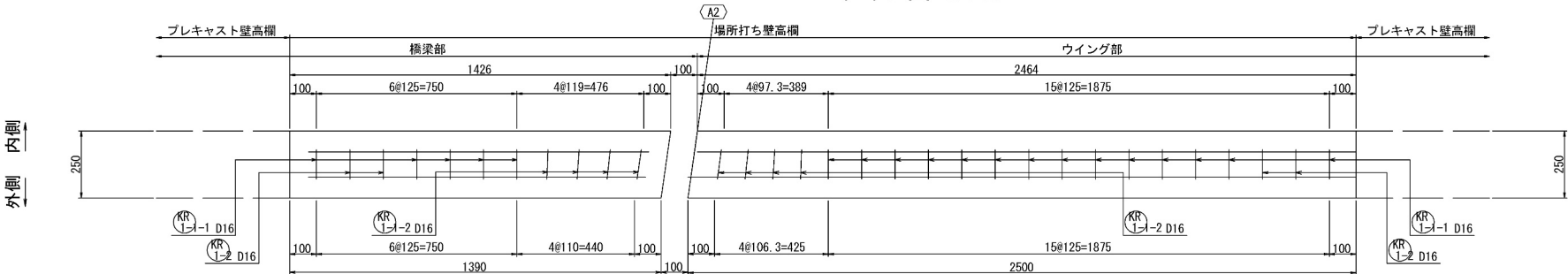


平面図 S=1:25

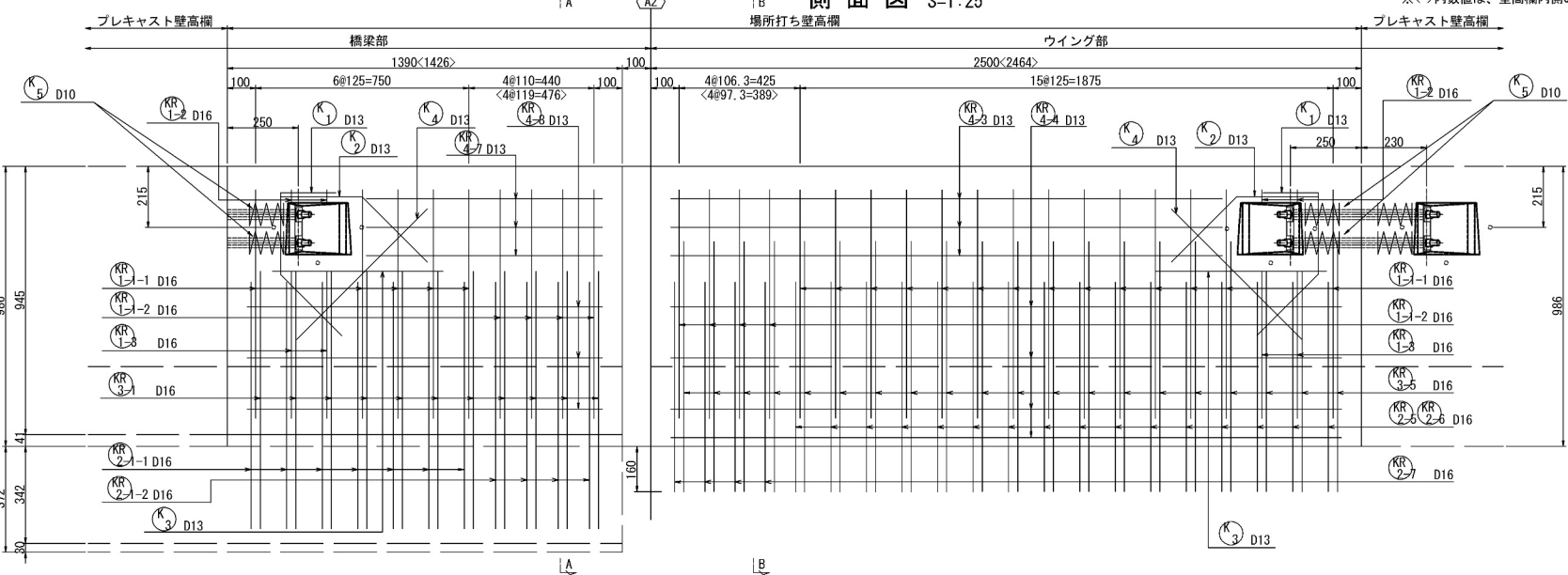
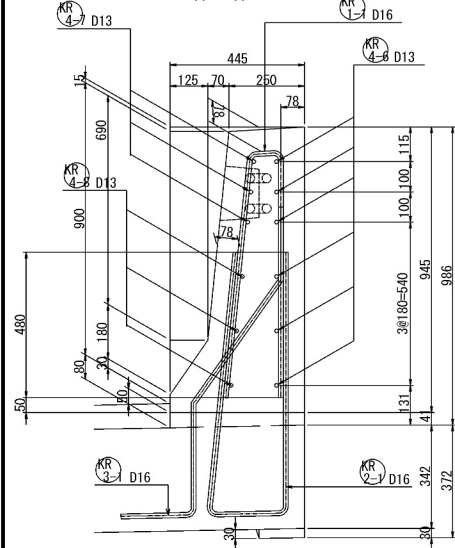


【R側】

平面図 S=1:25



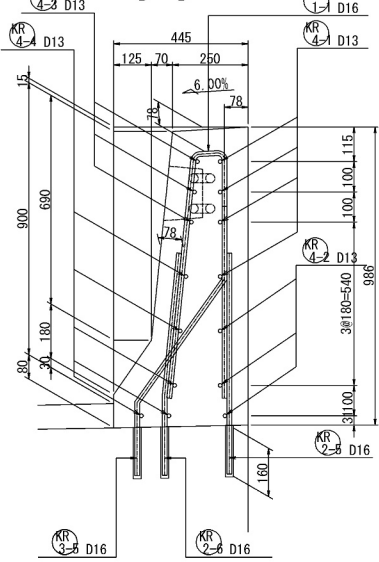
断面図 S=1:25  
A-A



側面図 S=1:25

※<>内数値は、壁高欄内側の寸法とする。

断面図 S=1:25  
B-B



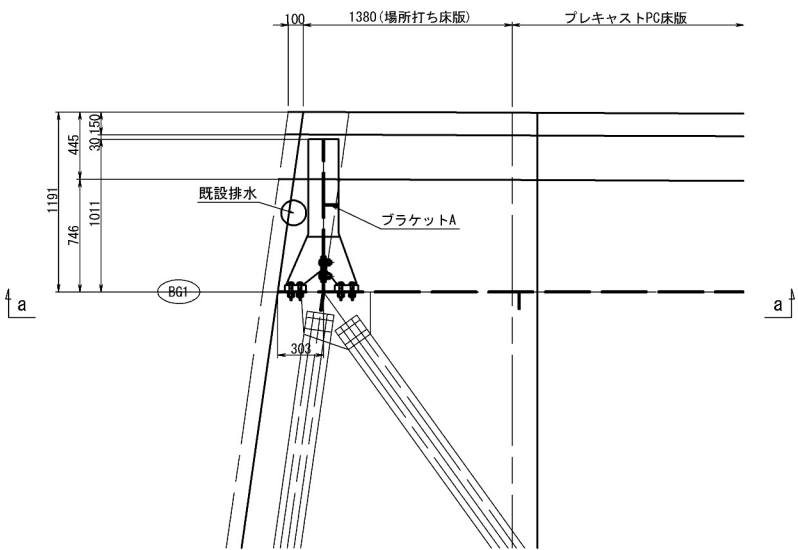
鉄筋質量集計表 (SD345)

径	普通鉄筋	塗装鉄筋	合 計	適 用
D13	59kg		59kg	
D16	243kg		243kg	
D10	4kg		4kg	
合 計	306kg		306kg	

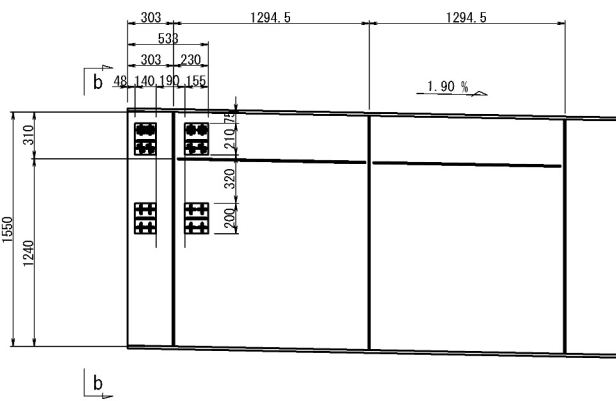
道央自動車道 苦小牧川橋床版取替工事			
苦小牧川橋（上り線） 場所打ちコンクリート防護柵詳細図（その4）			
図面の種類	縮 尺	図 示	図面番号
設計会社名	安藤ハザマ・岩田地崎JV		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 北広島管理事務所		

ブラケットA

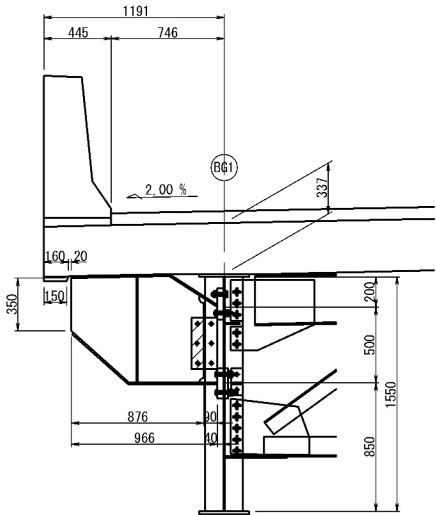
平面図



側面図  
a - a

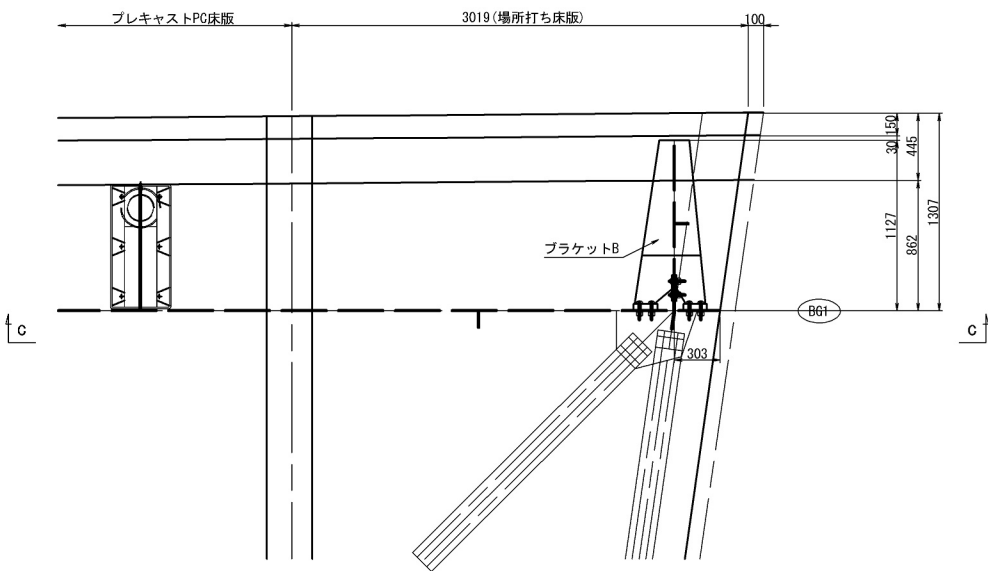


断面図  
b - b

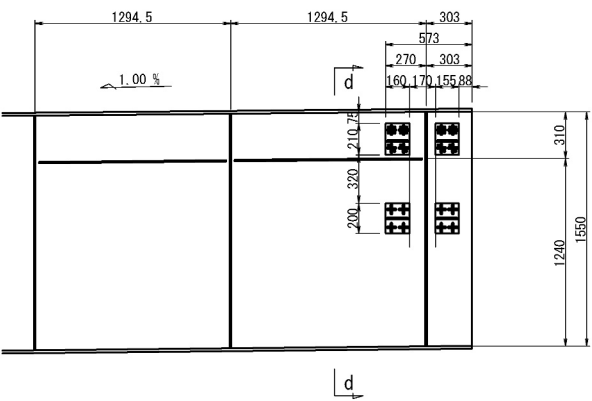


ブラケットB

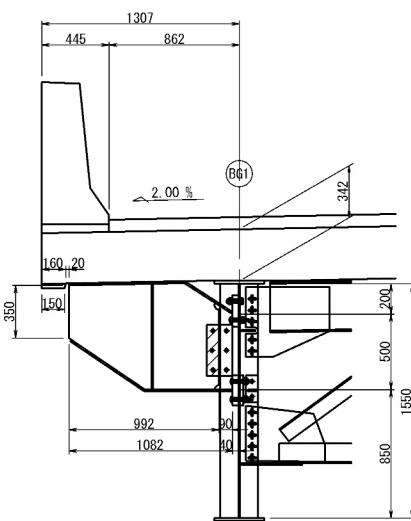
平面図



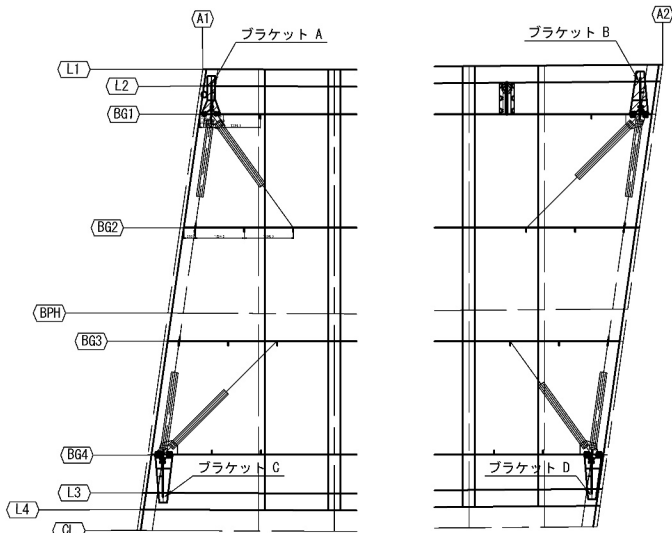
側面図  
c - c



断面図  
d - d



配置図 S=1:200

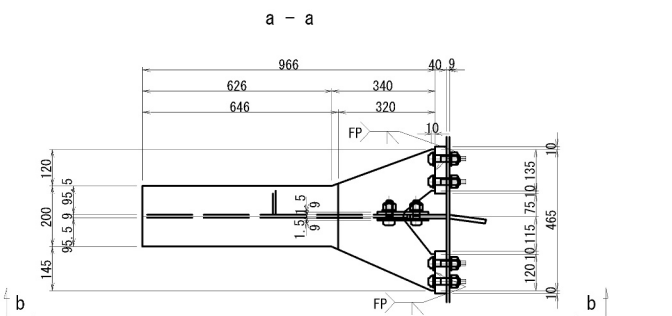


項目	単位	数量	備考
桁端部支間長低減部材B	kg	725	

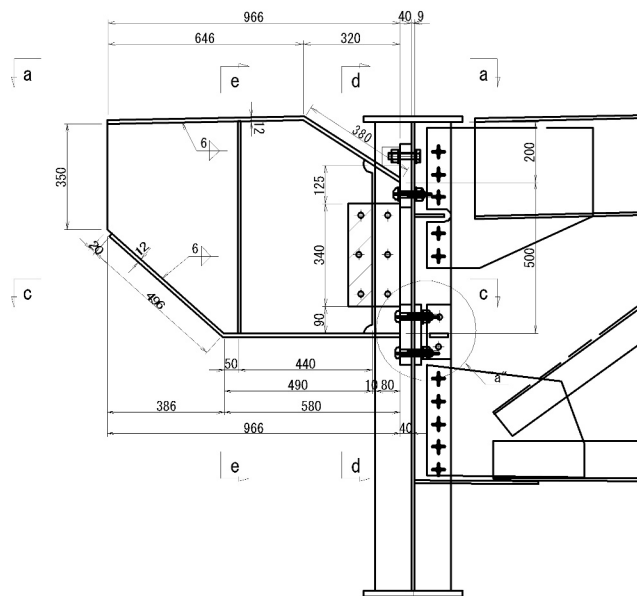
- 特記:
- 金物は、現地確認実測後製作及び取付を行うこと。
  - 現地確認実測後、設計図面と大きく相違が出た場合は監督員と協議の上決定する。
  - 全ての取付金物は、既設橋梁本体と同様の塗装を施す。
  - 高力ボルト接合摩擦面処理は、取り付く金物の+10mmで行うこと。
  - 摩擦接合完了後の補修塗装は、既設橋梁本体と同様の塗装を施す。
  - 表記無き部材は、全てSM400Aとする。
  - 表記無きスカーラップは、全て35Rとする。
  - 中印のボルトは、TCB M22を示す。  
※ 印のボルトは、TCB M22 (2-W)を示す。  
※ 印のボルトは、HTB M22を示す。

道 央 自 動 車 道 苦小牧川橋床版取替工事			
図面の種類	苦小牧川橋(下り線) 桁端ブラケット構造図(その1)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	安藤ハザマ・岩田地崎JV		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 北広島管理事務所		

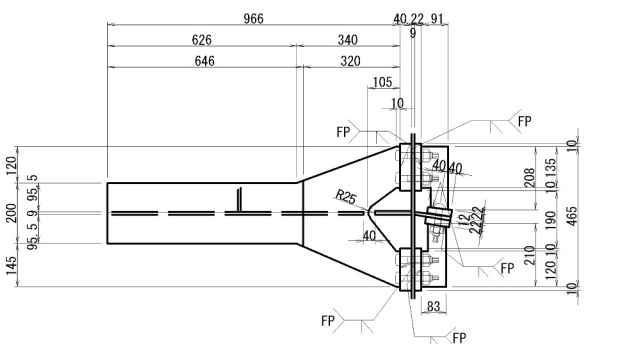
ブラケットA 詳細図



b - b

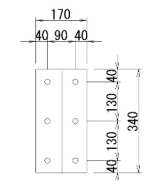


c - c

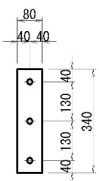


製作数:1組  
1-BASE. PL 155x22x200  
1-BASE. PL 140x22x200  
2-BASE. PL 80x22x200  
1-RIB. PL 91x12x208  
1-RIB. PL 83x12x210  
2-TGB M22x95 (S10T)

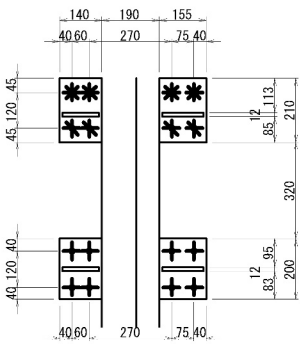
補剛材接合板



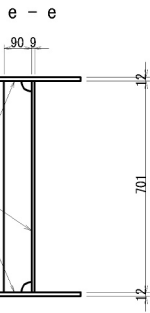
フィラープレート



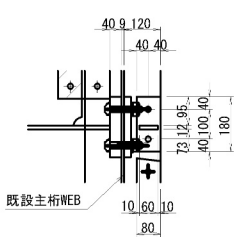
d - d



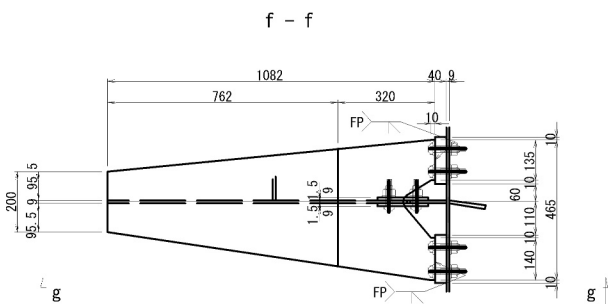
製作数:1組  
1-UFLG. PL 465x12x1026  
1-WEB. PL 877x9x705  
1-LFLG. PL 465x12x1076  
1-BASE. PL 210x40x140 (SM400B)  
1-BASE. PL 210x40x155 (SM400B)  
1-BASE. PL 200x40x140 (SM400B)  
1-BASE. PL 200x40x155 (SM400B)  
2-SPL. PL 170x9x340 (SS400)  
1-STIF. PL 90x9x701  
6-TGB M22x65 (S10T)  
4-TGB M22x90 (S10T) (2-W)  
4-HTB M22x90 (F10T)  
8-TGB M22x110 (S10T)  
2-FILL. PL 80x2.3x340 (SS400)



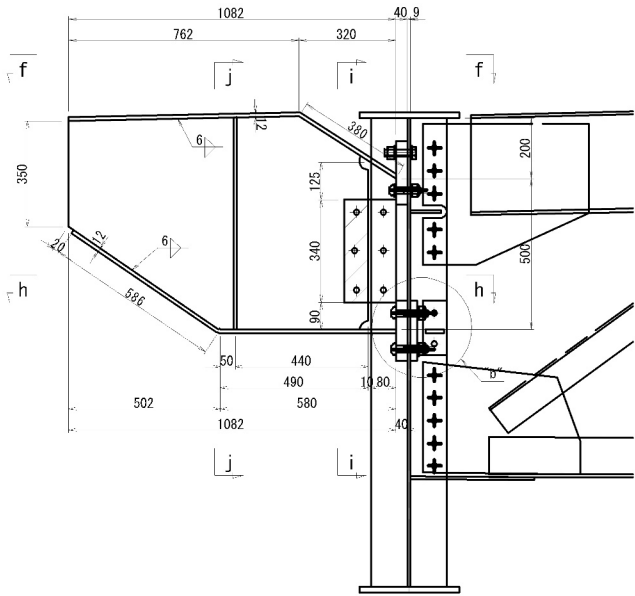
"a"部詳細



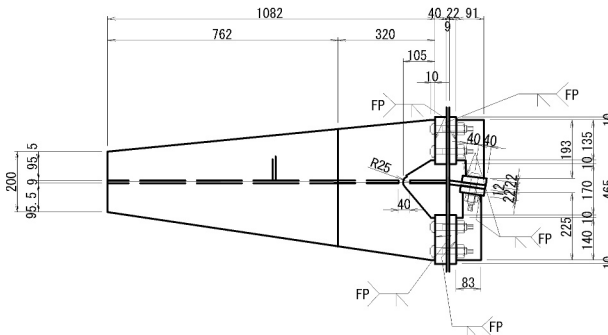
ブラケットB 詳細図



g - g

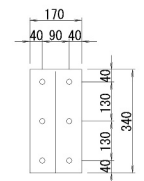


h - h

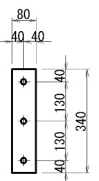


製作数:1組  
1-BASE. PL 155x22x200  
1-BASE. PL 160x22x200  
2-BASE. PL 80x22x200  
1-RIB. PL 91x12x193  
1-RIB. PL 83x12x225  
2-TGB M22x95 (S10T)

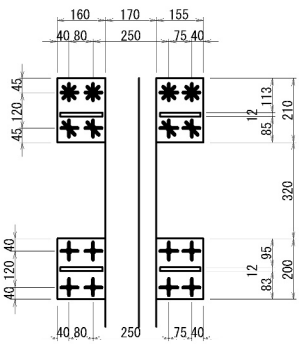
補剛材接合板



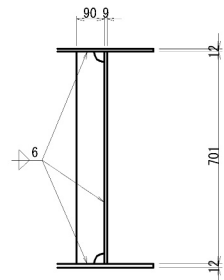
フィラープレート



i - i

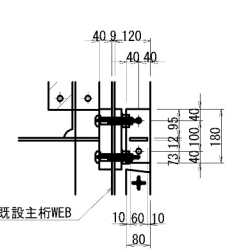


j - j



製作数:1組  
1-UFLG. PL 465x12x1142  
1-WEB. PL 992x9x705  
1-LFLG. PL 465x12x1166  
1-BASE. PL 210x40x160 (SM400B)  
1-BASE. PL 210x40x155 (SM400B)  
1-BASE. PL 200x40x160 (SM400B)  
1-BASE. PL 200x40x155 (SM400B)  
2-SPL. PL 170x9x340 (SS400)  
1-STIF. PL 90x9x701  
6-TGB M22x65 (S10T)  
4-TGB M22x90 (S10T) (2-W)  
4-HTB M22x90 (F10T)  
8-TGB M22x110 (S10T)  
2-FILL. PL 80x2.3x340 (SS400)

"b"部詳細



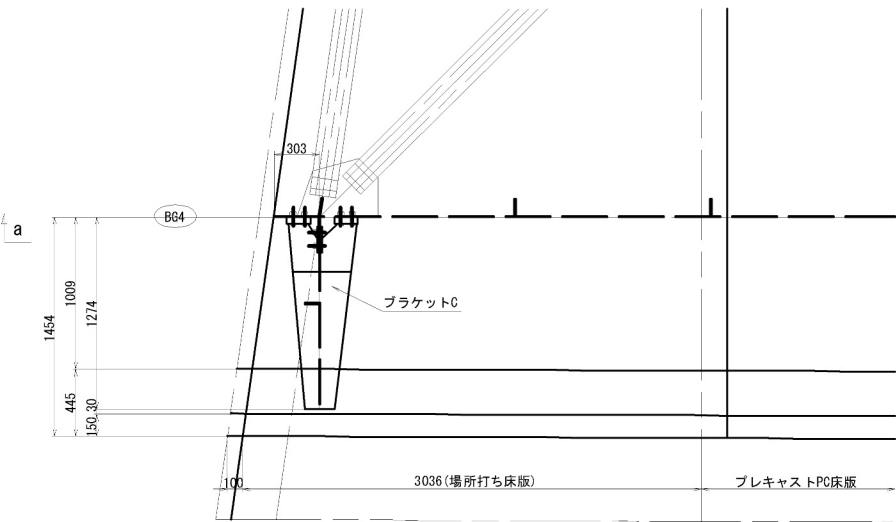
- 特記:
- 金物は、現地確認実測後製作及び取付を行うこと。
  - 現地確認実測後、設計図面と大きく相違が出た場合は監督員と協議の上決定する。
  - 全ての取付金物は、既設橋梁本体と同様の塗装を施す。
  - 高力ナット接合摩擦面処理は、取り付く金物の+10mmで行うこと。
  - 摩擦接合完了後の補修塗装は、既設橋梁本体と同様の塗装を施す。
  - 表記無き部材は、全てSM400Aとする。
  - 表記無きスカーラップは、全て35Rとする。
  - ※ 印のボルトは、TGB M22を示す。  
※ 印のボルトは、TGB M22 (2-W)を示す。  
※ 印のボルトは、HTB M22を示す。
  - ボルト孔明けについて、以下の通りとする。  
TGB M22→φ24.5(既設)  
TGB M22→φ26.5(新設)

道 央 自 動 車 道			
苦小牧川橋床版取替工事			
図面の種類	苦小牧川橋(下り線) 桁端ブラケット構造図(その2)		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	安藤ハザマ・岩田地崎JV		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 北広島管理事務所		



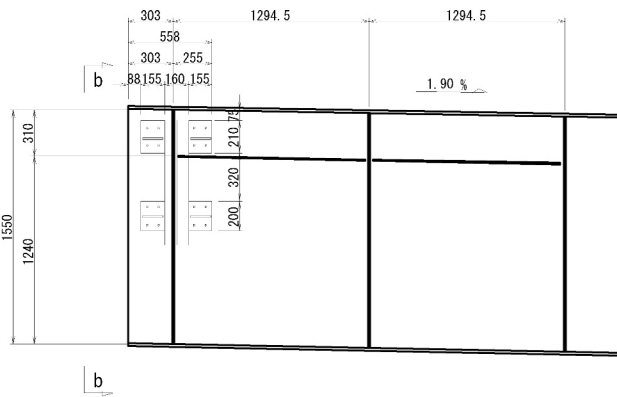
ブラケットC

平面図



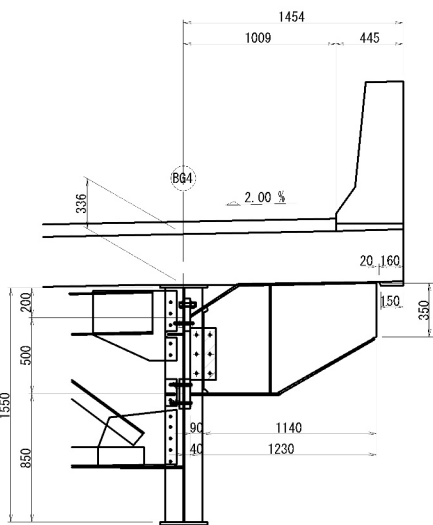
側面図

a - a



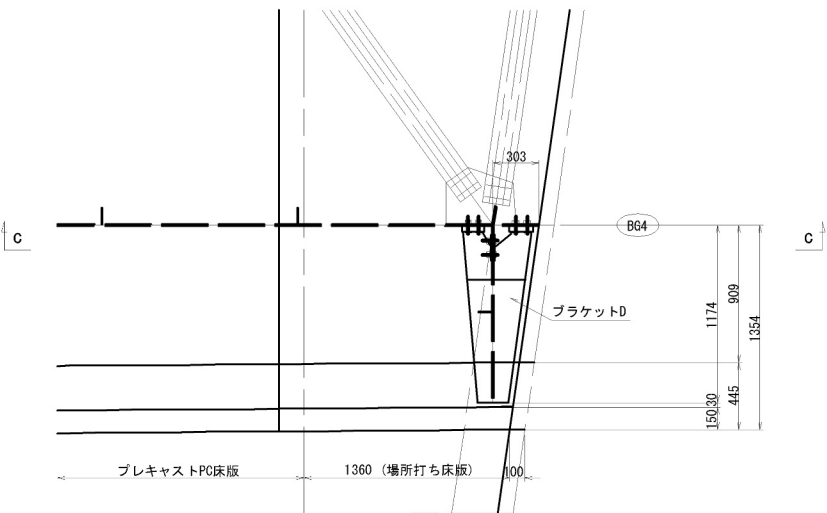
断面図

b - b



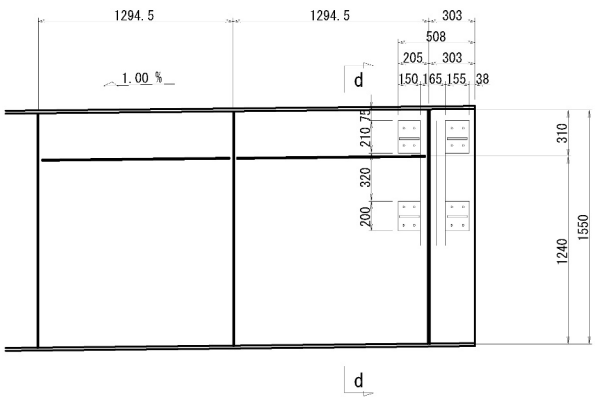
ブラケットD

平面図



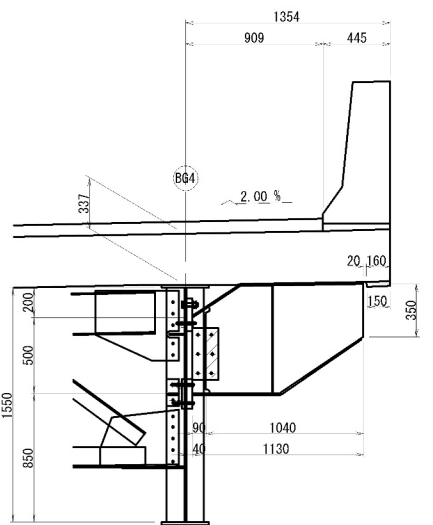
側面図

c - c

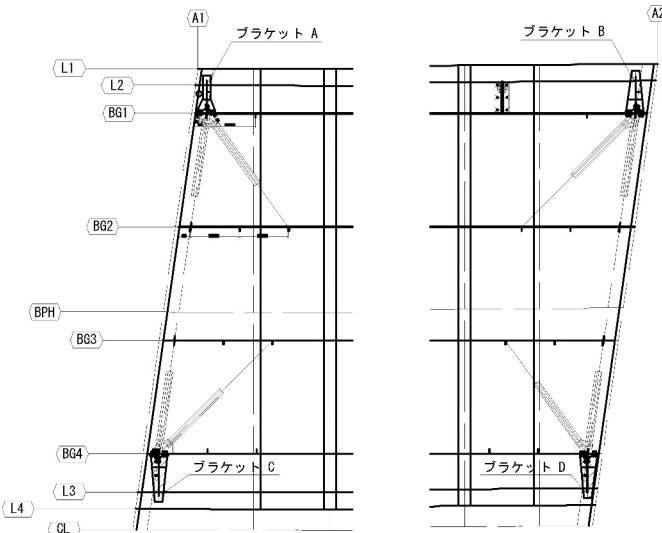


断面図

d - d



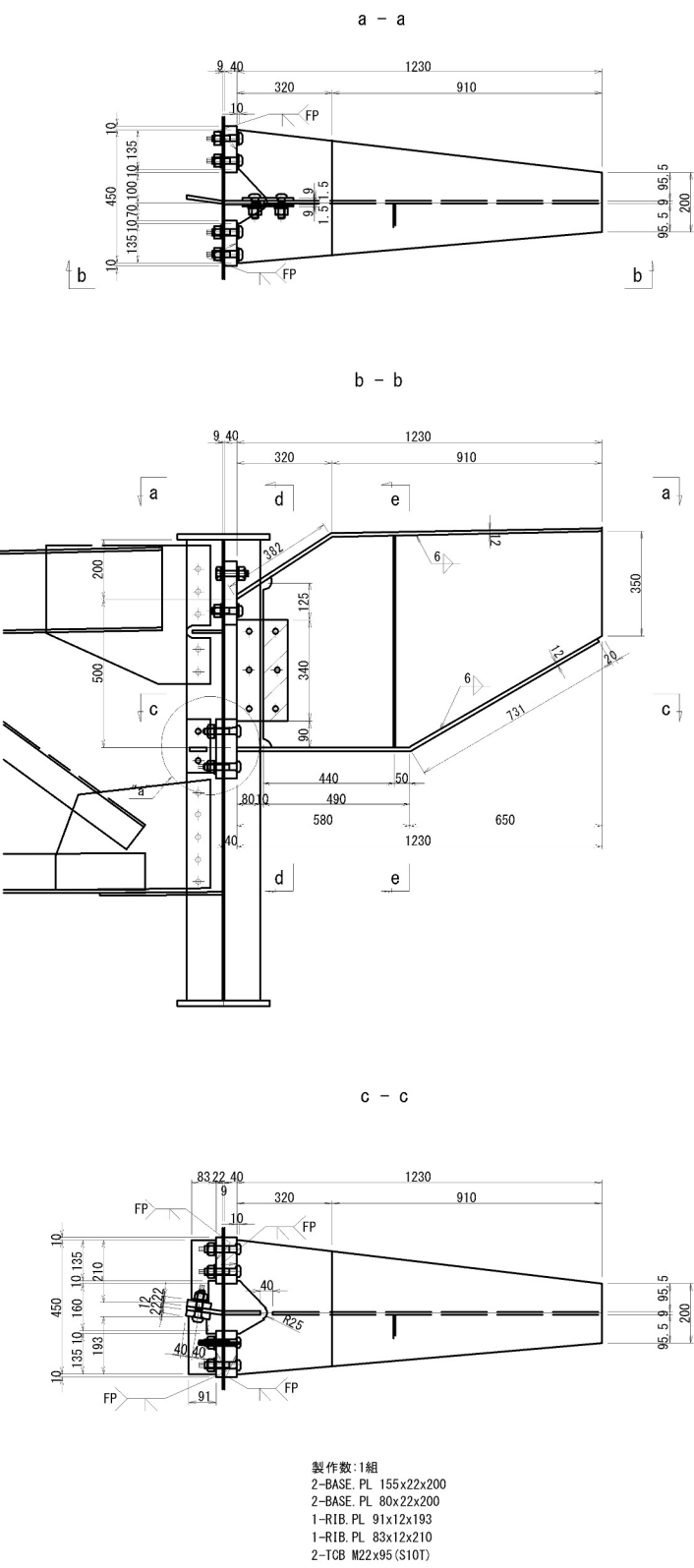
配置図 S=1:200



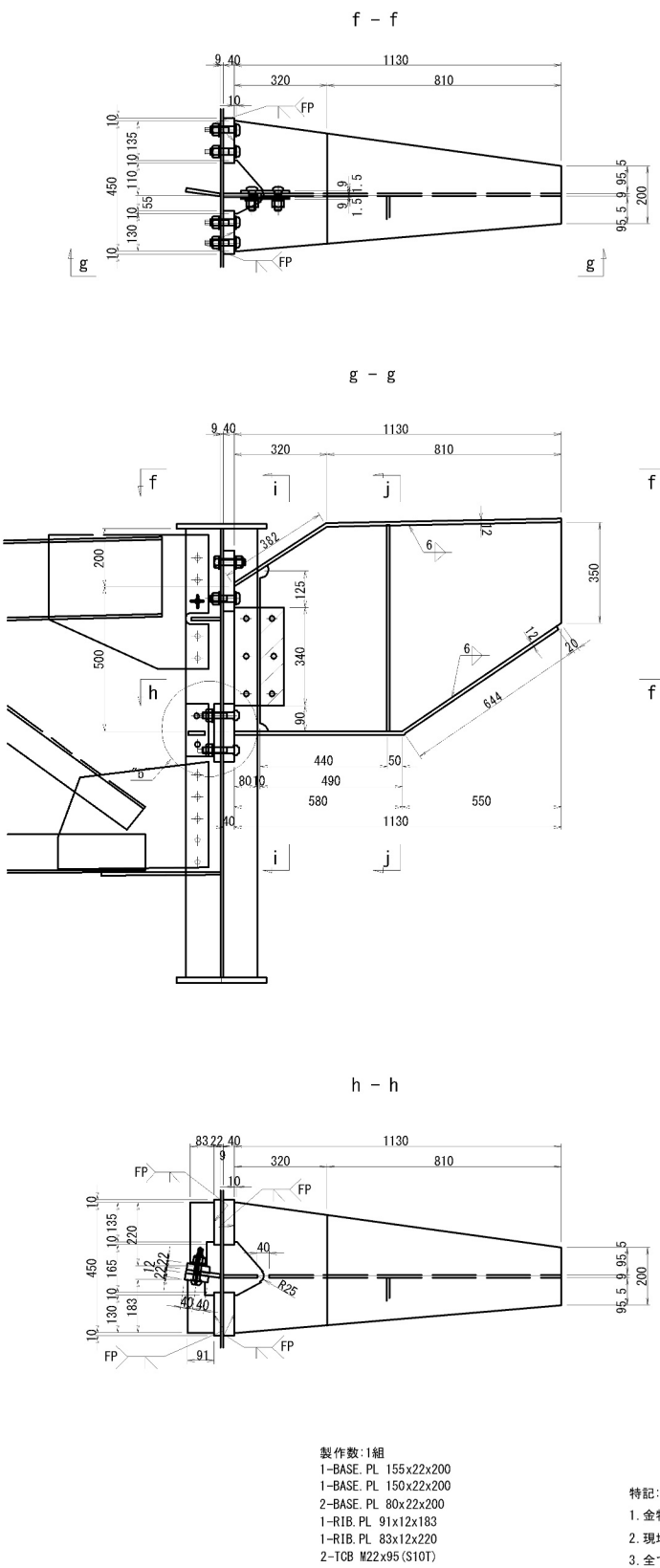
- 特記:
- 金物は、現地確認実測後製作及び取付を行うこと。
  - 現地確認実測後、設計図面と大きく相違が出た場合は監督員と協議の上決定する。
  - 全ての取付金物は、既設橋梁本体と同様の塗装を施す。
  - 高力ボルト接合摩擦面処理は、取り付く金物の+10mmで行うこと。
  - 摩擦接合完了後の補修塗装は、既設橋梁本体と同様の塗装を施す。
  - 表記無き部材は、全てSM400Aとする。
  - 表記無きスカーラップは、全て35Rとする。
  - ⊕印のボルトは、TCB M22を示す。  
※印のボルトは、TOB M22 (2-N)を示す。  
※印のボルトは、HTB M22を示す。

道 央 自 動 車 道			
苦小牧川橋床版取替工事			
図面の種類	苦小牧川橋(下り線) 桁端ブラケット構造図(その3)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	安藤ハザマ・岩田地崎JV		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 北広島管理事務所		

ブラケットC 詳細図

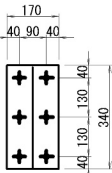


ブラケットD 詳細図

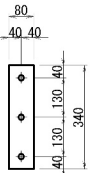


- 特記:
- 金物は、現地確認実測後製作及び取付を行うこと。
  - 現地確認実測後、設計図面と大きく相違が出た場合は監督員と協議の上決定する。
  - 全ての取付金物は、既設橋梁本体と同様の塗装を施す。
  - 高力ナット接合摩擦面処理は、取り付く金物の+10mmで行うこと。
  - 摩擦接合完了後の補修塗装は、既設橋梁本体と同様の塗装を施す。
  - 表記無き部材は、全てSM400Aとする。
  - 表記無きスカーラップは、全て35Rとする。
  - ※ 印のボルトは、TCB M22を示す。  
※ 印のボルトは、TCB M22 (2-W)を示す。  
※ 印のボルトは、HTB M22を示す。
  - ボルト孔明けについて、以下の通りとする。  
TCB M22→φ24.5 (既設)  
TCB M22→φ26.5 (新設)

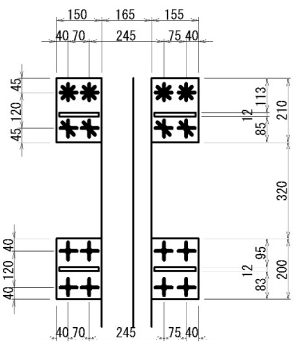
補剛材接合板



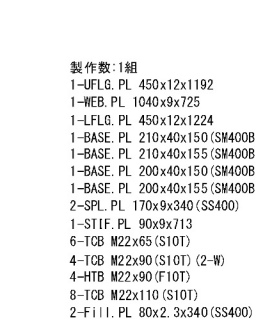
フィラープレート



補剛材接合板

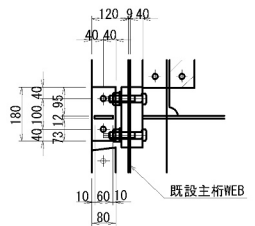


フィラープレート



製作数:1組  
1-UFLG. PL 450x12x1192  
1-WEB. PL 1040x9x725  
1-LFLG. PL 450x12x1224  
1-BASE. PL 210x40x150 (SM400B)  
1-BASE. PL 210x40x155 (SM400B)  
1-BASE. PL 200x40x150 (SM400B)  
1-BASE. PL 200x40x155 (SM400B)  
2-SPL. PL 170x9x340 (SS400)  
1-STIF. PL 90x9x713  
6-TCB M22x65 (S10T)  
4-TCB M22x90 (S10T) (2-W)  
4-HTB M22x90 (F10T)  
8-TCB M22x110 (S10T)  
2-Fill. PL 80x2.3x340 (SS400)

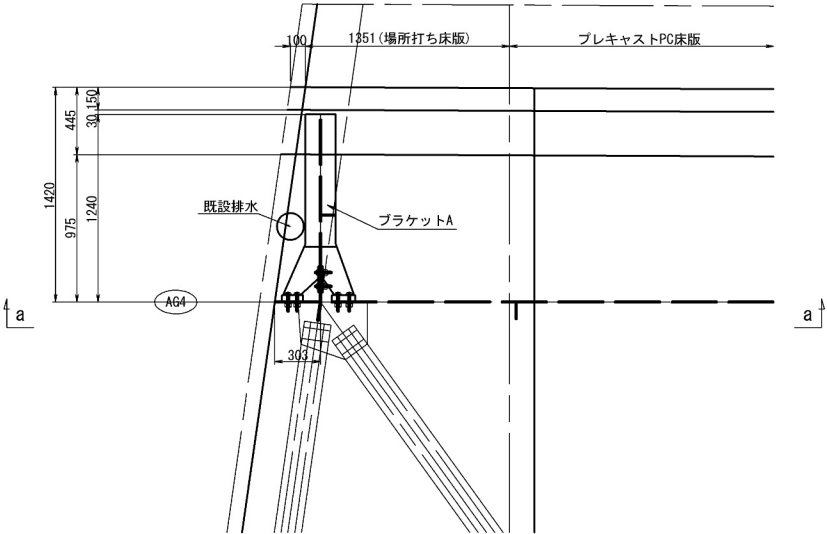
“b”部詳細



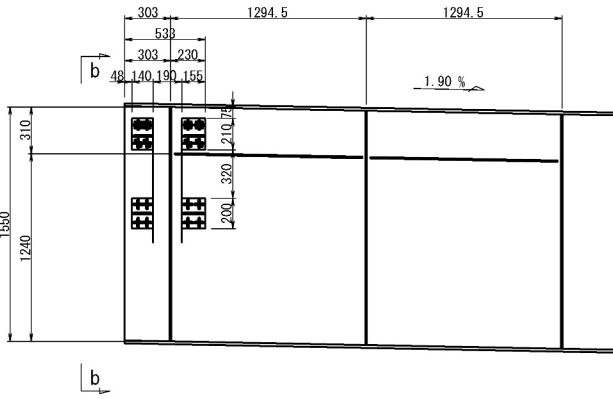
既設主桁WEB

ブラケットA

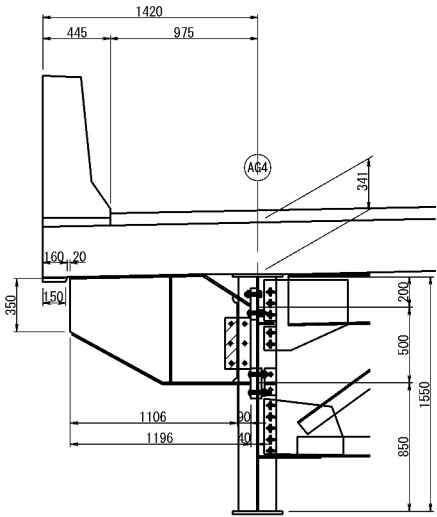
平面図



側面図  
a - a

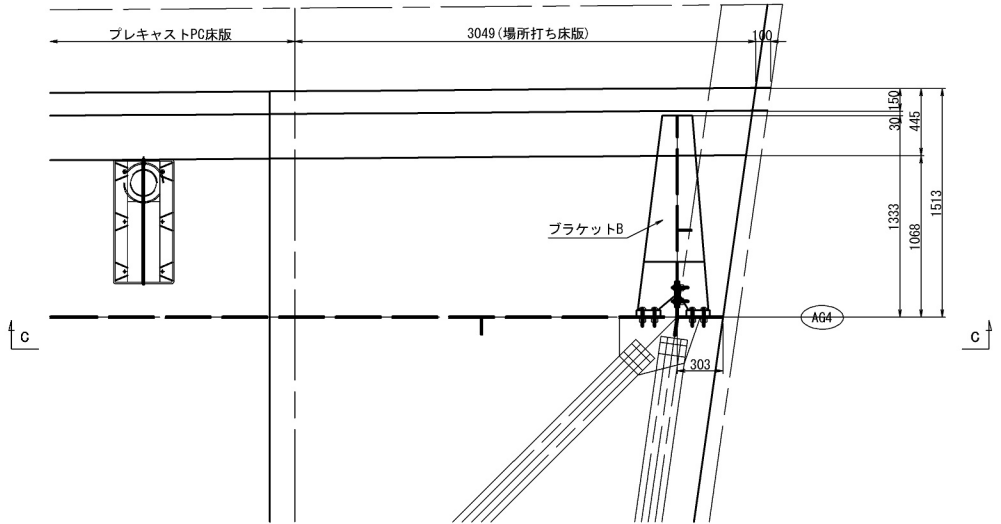


断面図  
b - b

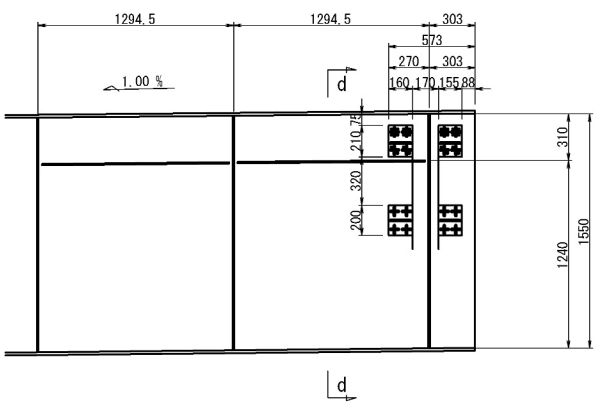


ブラケットB

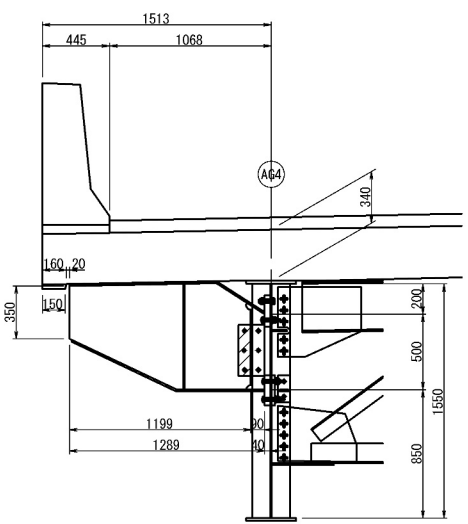
平面図



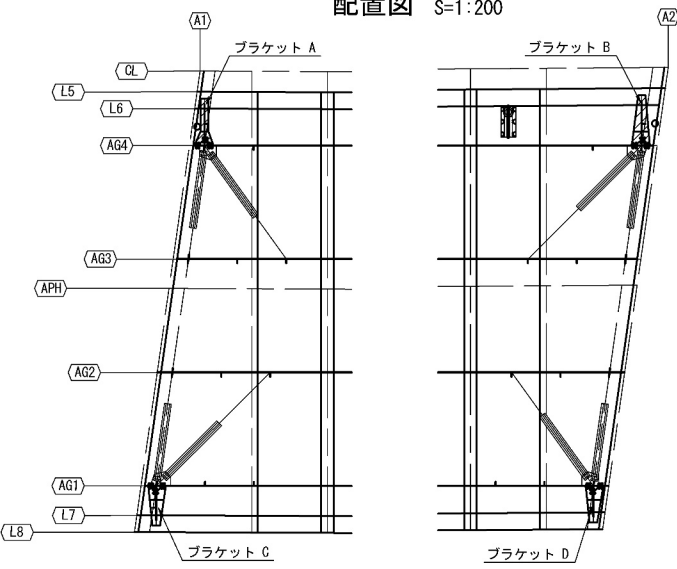
側面図  
c - c



断面図  
d - d



配置図 S=1:200

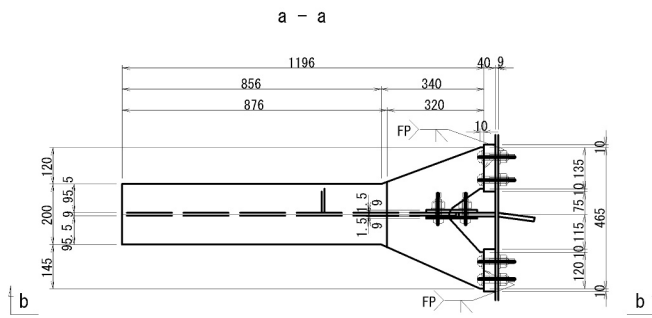


項目	単位	数量	備考
桁端部支間長低減部材B	kg	720	

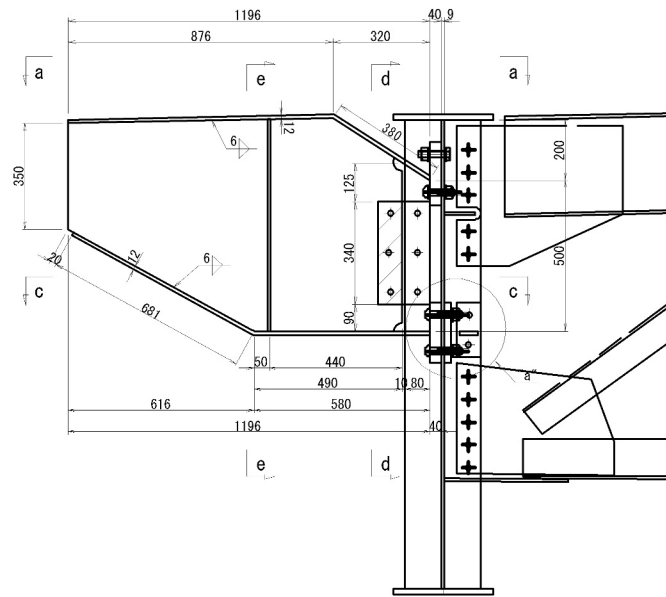
- 特記:
- 金物は、現地確認実測後製作及び取付を行うこと。
  - 現地確認実測後、設計図面と大きく相違が出た場合は監督員と協議の上決定する。
  - 全ての取付金物は、既設橋梁本体と同様の塗装を施す。
  - 高力ボルト接合摩擦面処理は、取り付く金物の+10mmで行うこと。
  - 摩擦接合完了後の補修塗装は、既設橋梁本体と同様の塗装を施す。
  - 表記無き部材は、全てSM400Aとする。
  - 表記無きスカーラップは、全て35Rとする。
  - 中 印のボルトは、TCB M22を示す。  
※ 印のボルトは、TCB M22 (2-W)を示す。  
※ 印のボルトは、HTB M22を示す。

道 央 自 動 車 道 苦小牧川橋床版取替工事			
図面の種類	苦小牧川橋(上り線) 桁端ブラケット構造図(その1)		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	安藤ハザマ・岩田地崎JV		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 北広島管理事務所		

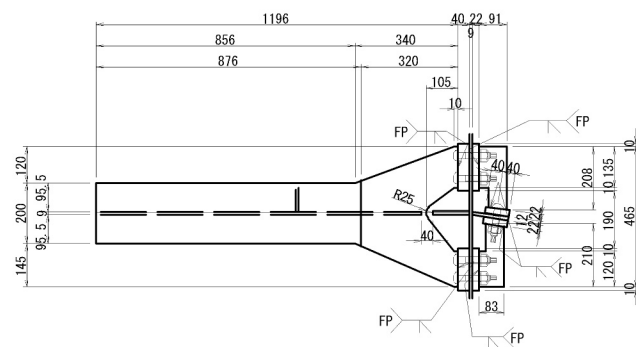
### ブラケットA 詳細図



b - b

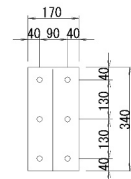


C - C

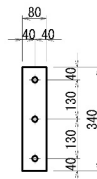


製作数:1組  
1-BASE. PL 155x22x200  
1-BASE. PL 140x22x200  
2-BASE. PL 80x22x200  
1-RIB. PL 91x12x208  
1-RIB. PL 83x12x210  
2-TCB M22x95 (S10T)

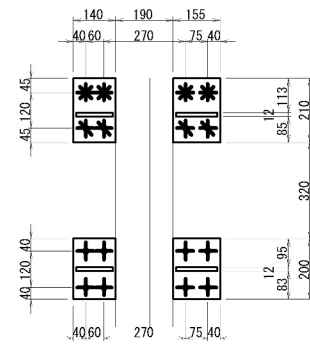
補剛材接合板



フィラープレート

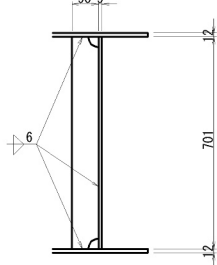


d - d

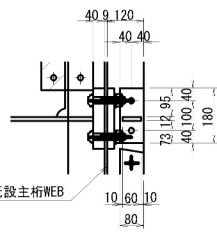


製作数:1組

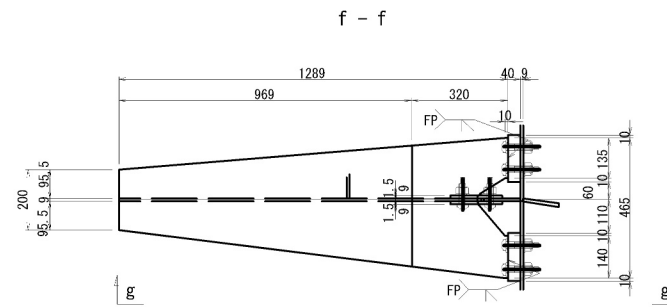
- 1-WFLG. PL 465x12x1256
- 1-UEB. PL 1106x9x705
- 1-LFLG. PL 465x12x1261
- 1-BASE. PL 210x40x140 (SM400B)
- 1-BASE. PL 210x40x155 (SM400B)
- 1-BASE. PL 200x40x140 (SM400B)
- 1-BASE. PL 200x40x155 (SM400B)
- 2-SPL. PL 170x9x340 (SS400)
- 1-STIF. PL 90x9x701
- 6-TGB M22x65 (S10T)
- 4-TGB M22x90 (S10T) (2-W)
- 4-HTB M22x90 (F10T)
- 8-TGB M22x110 (S10T)
- 2-F11. PL 80x2. 3x340 (SS400)

$$e - e$$


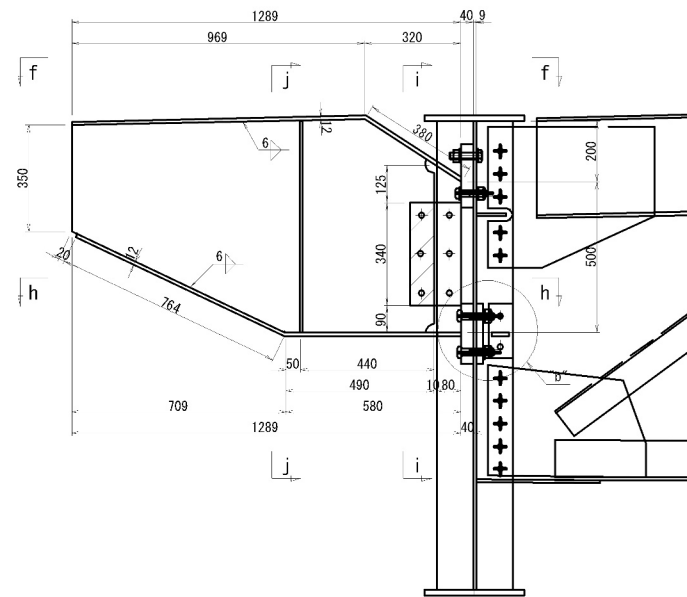
## “a”部詳細



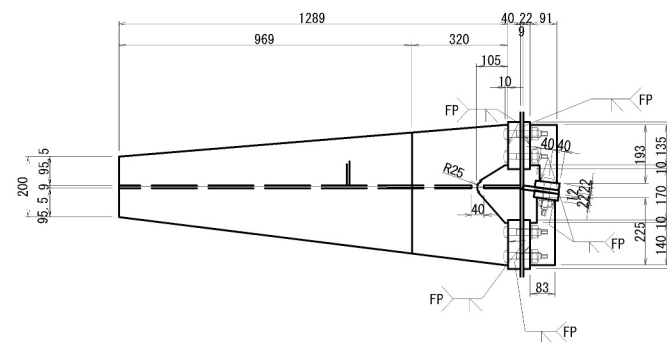
### ブラケットB 詳細図



89 - 89



## h - h

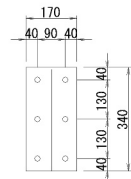


製作数:1組  
1-BASE. PL 155x22x200  
1-BASE. PL 160x22x200  
2-BASE. PL 80x22x200  
1-RIB. PL 91x12x193  
1-RIB. PL 83x12x225  
2-TCB M22x95 (S10T)

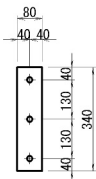
特記:

- |                                          |    |
|------------------------------------------|----|
| 1. 金物は、現地確認実測後製作及び取付を行うこと。               |    |
| 2. 現地確認実測後、設計図面と大きく相違が出た場合は監督員と協議の上決定する。 |    |
| 3. 全ての取付金物は、既設橋梁本体と同様の塗装を施す。             |    |
| 4. 高力ボルト接合摩擦面処理は、取り付く金物のφ10mmで行うこと。      |    |
| 5. 摩擦接合完了後の補修塗装は、既設橋梁本体と同様の塗装を施す。        |    |
| 6. 表記無き部材は、全てSM400Aとする。                  |    |
| 7. 表記無きスカーラップは、全て35Rとする。                 | 図面 |
| 8. ※ 印のボルトは、TCB M22を示す。                  | 縮  |
| ※ 印のボルトは、TCB M22(2-割)を示す。                | 設計 |
| ※ 印のボルトは、HTB M22を示す。                     | 施工 |
| 9. ボルト孔明けについて、以下の通りとする。                  | 事務 |
| TCB M22→φ24.5(既設)                        |    |
| TCB M22→φ26.5(新設)                        |    |

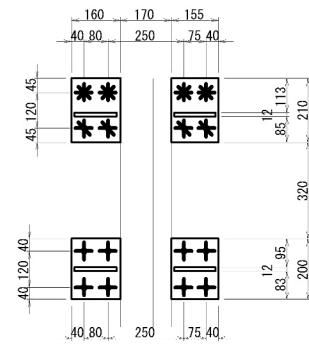
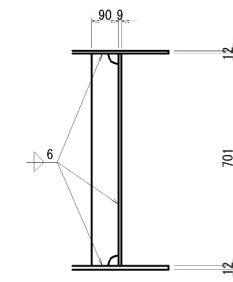
補剛材接合板



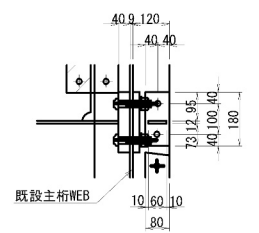
フィラープレート



i - i


$$j - j$$


## “b”部詳細



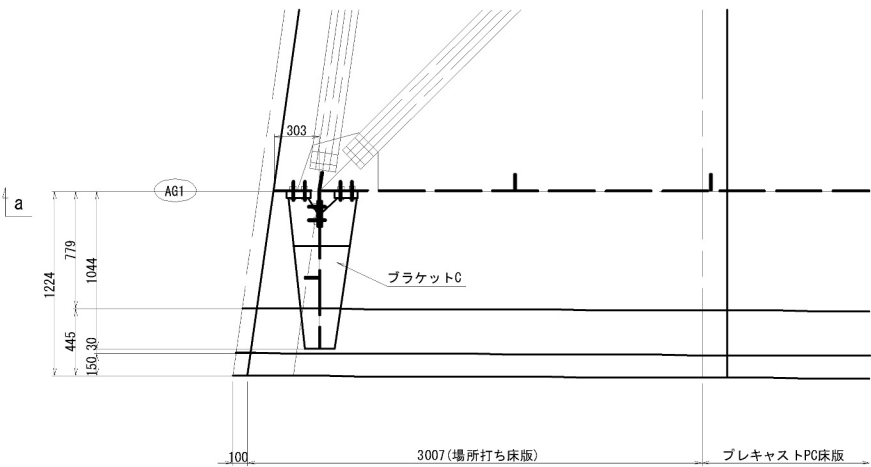
製作数:1組

- 1-UFLG. PL 465x12x1349
- 1-WEB. PL 705x9x1199
- 1-LFLG. PL 465x12x1344
- 1-BASE. PL 210x40x160 (SM400B)
- 1-BASE. PL 210x40x155 (SM400C)
- 1-BASE. PL 200x40x160 (SM400D)
- 1-BASE. PL 200x40x155 (SM400E)
- 2-SPL. PL 170x9x340 (SS400)
- 1-STIF. PL 90x9x701
- 6-TGB M22x65 (S10T)
- 4-TGB M22x90 (S10T) (2-W)
- 4-HTB M22x90 (F10T)
- 8-TGB M22x110 (S10T)
- 2-Fill. PL 80x2. 3x340 (SS400)

道 央 自 動 車 道			
苫小牧川橋床版取替工事			
図面の種類	苫小牧川橋(上り線) 桁端ブラケット構造図(その2)		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	安藤ハザマ・岩田地崎JV		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 北広島管理事務所		

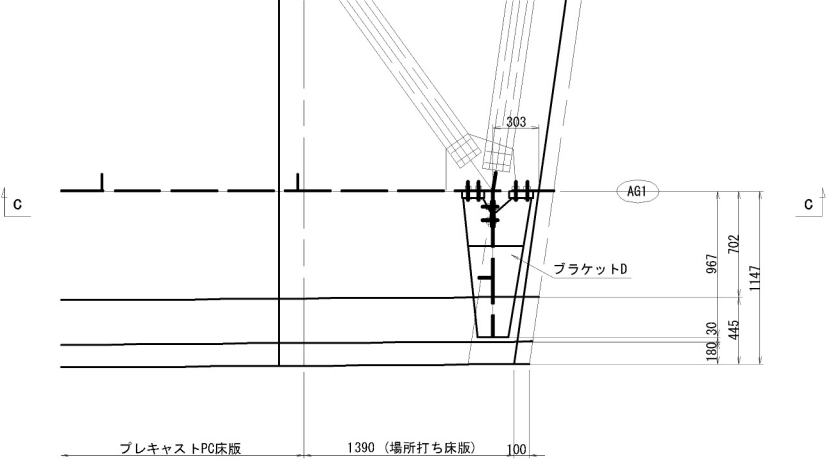
ブラケットC

平面図



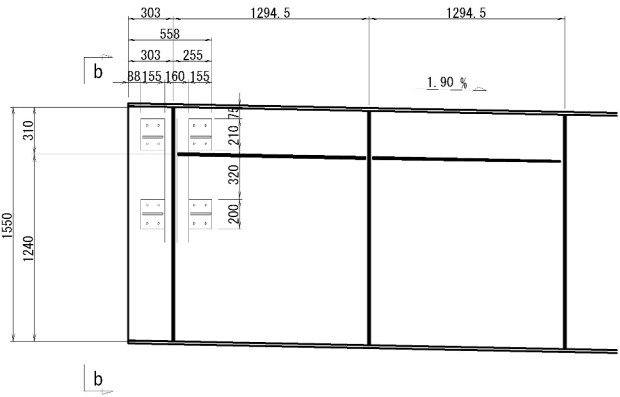
ブラケットD

平面図



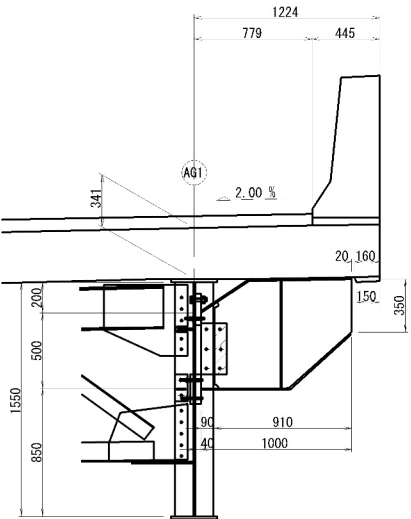
側面図

a - a



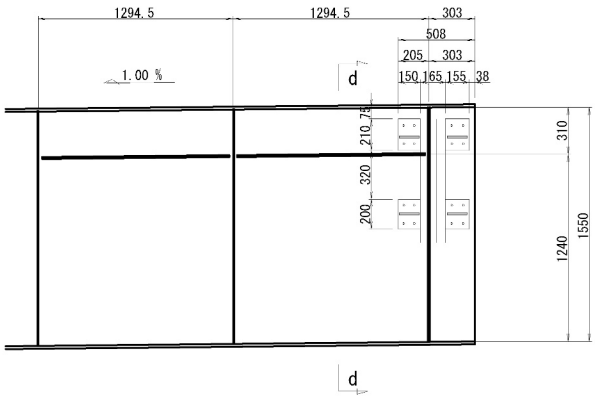
断面図

b - b



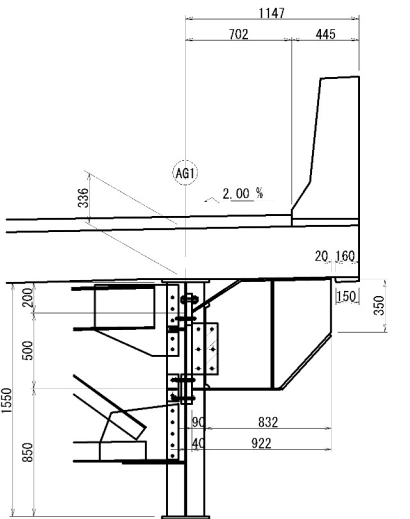
側面図

c - c

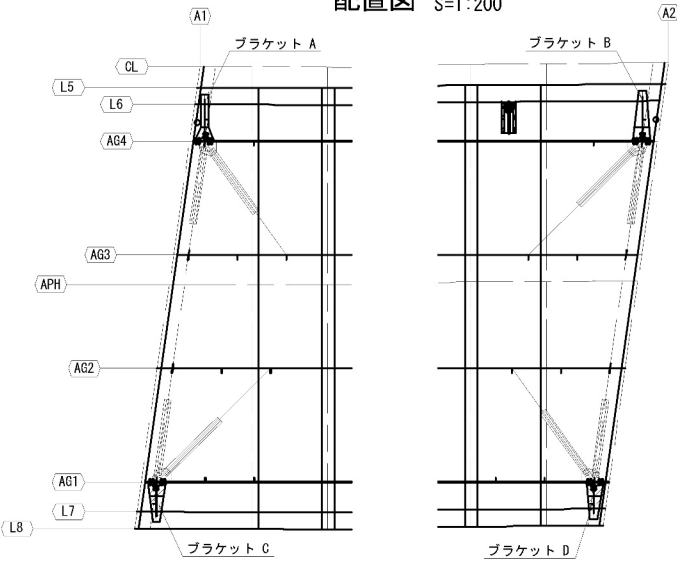


断面図

d - d



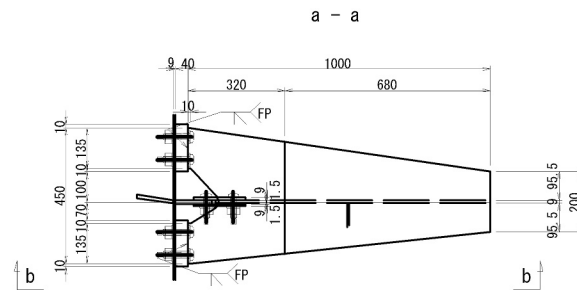
配置図 S=1:200



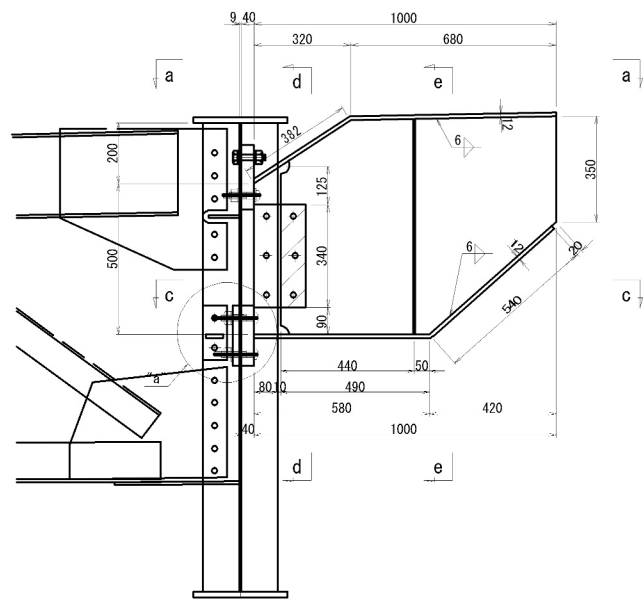
- 特記:
- 金物は、現地確認実測後製作及び取付を行うこと。
  - 現地確認実測後、設計図面と大きく相違が出た場合は監督員と協議の上決定する。
  - 全ての取付金物は、既設橋梁本体と同様の塗装を施す。
  - 高力ボルト接合摩擦面処理は、取り付く金物の+10mmで行うこと。
  - 摩擦接合完了後の補修塗装は、既設橋梁本体と同様の塗装を施す。
  - 表記無き部材は、全てSM400Aとする。
  - 表記無きスカーラップは、全て35Rとする。
  - ⊕印のボルトは、TCB M22を示す。  
※印のボルトは、TCB M22 (2-N)を示す。  
※印のボルトは、HTB M22を示す。

道 央 自 動 車 道			
苦小牧川橋床版取替工事			
図面の種類	苦小牧川橋(上り線) 桁端ブラケット構造図(その3)		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	安藤ハザマ・岩田地崎JV		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 北広島管理事務所		

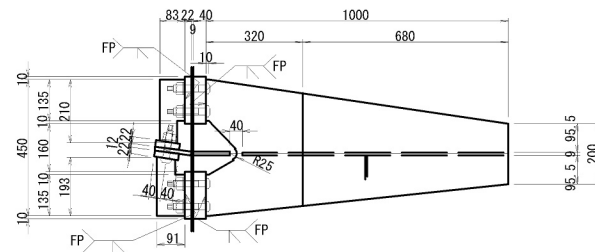
## ブラケットC 詳細図



b - b

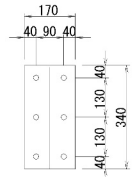


C - C

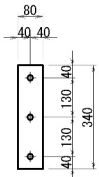


製作数:1組  
2-BASE. PL 155x22x200  
2-BASE. PL 80x22x200  
1-RIB. PL 91x12x193  
1-RIB. PL 83x12x210  
2-TCB M22x95 (S10T)

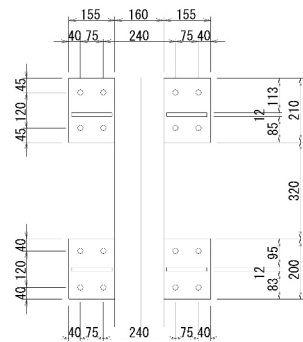
補剛材接合板



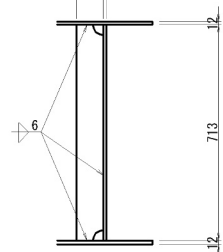
フィラープレート



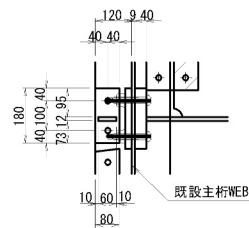
d - d



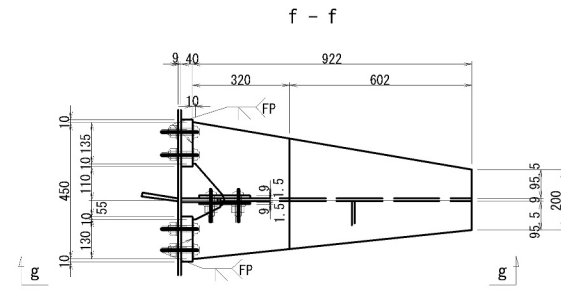
製作数:1組  
1-UFLG. PL 450x12x1062  
1-WEB. PL 910x9x722  
1-LFLG. PL 450x12x1120  
2-BASE. PL 210x40x155(SM400B)  
2-BASE. PL 200x40x155(SM400B)  
2-SPL. PL 170x9x340(SS400)  
1-STIF. PL 90x9x713  
6-TCB M22x65(S10T)  
4-TCB M22x90(S10T)(2-W)  
4-HTB M22x90(F10T)  
8-TCB M22x110(S10T)  
2-Fill. PL 80x2.3x340(SS400)

$$e - e$$


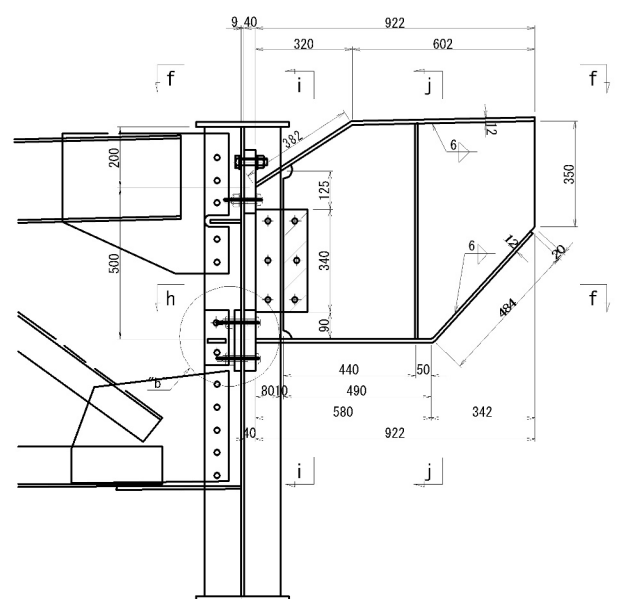
## "a"部詳細



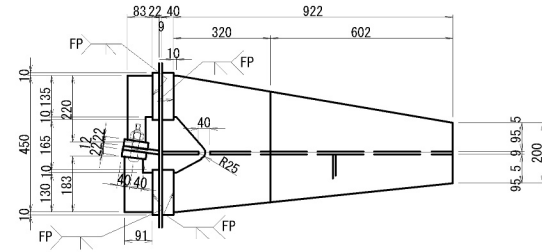
### ブラケットD 詳細図



00 - 00



## h - h

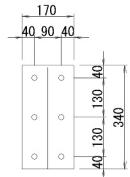


製作数:1組  
1-BASE. PL 155x22x200  
1-BASE. PL 150x22x200  
2-BASE. PL 80x22x200  
1-RIB. PL 91x12x183  
1-RIB. PL 83x12x220  
2-TCB M22x95 (S10T)

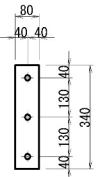
特記:

- |                                          |                                                                                                                                               |    |   |    |    |    |
|------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|---|----|----|----|
| 1. 金物は、現地確認実測後製作及び取付を行うこと。               |                                                                                                                                               |    |   |    |    |    |
| 2. 現地確認実測後、設計図面と大きく相違が出た場合は監督員と協議の上決定する。 |                                                                                                                                               |    |   |    |    |    |
| 3. 全ての取付金物は、既設橋梁本体と同様の塗装を施す。             |                                                                                                                                               |    |   |    |    |    |
| 4. 高力ボルト接合摩擦面処理は、取り付く金物の+10mmで行うこと。      |                                                                                                                                               |    |   |    |    |    |
| 5. 摩擦接合完了後の補修塗装は、既設橋梁本体と同様の塗装を施す。        |                                                                                                                                               |    |   |    |    |    |
| 6. 表記無き部材は、全てSM400Aとする。                  |                                                                                                                                               |    |   |    |    |    |
| 7. 表記無きスカーラップは、全て35Rとする。                 |                                                                                                                                               |    |   |    |    |    |
| 8. ※ 印のボルトは、TCB M22 を示す。                 | <table border="1"> <tr> <td>図面</td> </tr> <tr> <td>縮</td> </tr> <tr> <td>設計</td> </tr> <tr> <td>施工</td> </tr> <tr> <td>事務</td> </tr> </table> | 図面 | 縮 | 設計 | 施工 | 事務 |
| 図面                                       |                                                                                                                                               |    |   |    |    |    |
| 縮                                        |                                                                                                                                               |    |   |    |    |    |
| 設計                                       |                                                                                                                                               |    |   |    |    |    |
| 施工                                       |                                                                                                                                               |    |   |    |    |    |
| 事務                                       |                                                                                                                                               |    |   |    |    |    |
| ※ 印のボルトは、HTB M22 を示す。                    |                                                                                                                                               |    |   |    |    |    |
| 9. ボルト孔明けについて、以下の通りとする。                  |                                                                                                                                               |    |   |    |    |    |
| TCB M22→φ24.5 (既設)                       |                                                                                                                                               |    |   |    |    |    |
| TCB M22→φ26.5 (新設)                       |                                                                                                                                               |    |   |    |    |    |

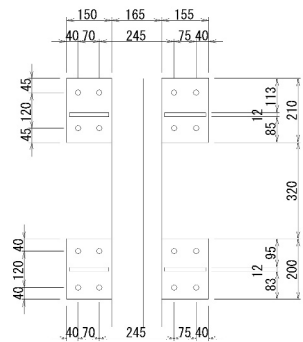
補剛材接合板



フィラープレート



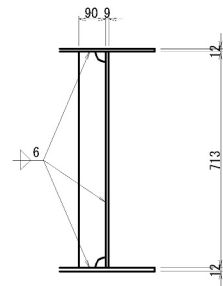
i - i



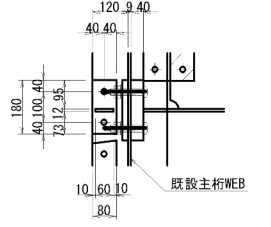
製作数:1組

- 1-UFLG. PL 450x12x984
- 1-WEB. PL 832x9x720
- 1-LFLG. PL 450x12x1064
- 1-BASE. PL 210x40x150 (SW400B)
- 1-BASE. PL 210x40x155 (SW400B)
- 1-BASE. PL 200x40x150 (SW400B)
- 1-BASE. PL 200x40x155 (SW400B)
- 2-SPL. PL 170x9x340 (SS400)
- 1-STIF. PL 90x9x713
- 6-TCB M22x56 (S10T)
- 4-TCB M22x90 (S10T) (2-W)
- 4-HTB M22x90 (S10T)
- 8-TCB M22x110 (S10T)
- 2-Fill. PL 80x2. 3x340 (SS400)

j - j



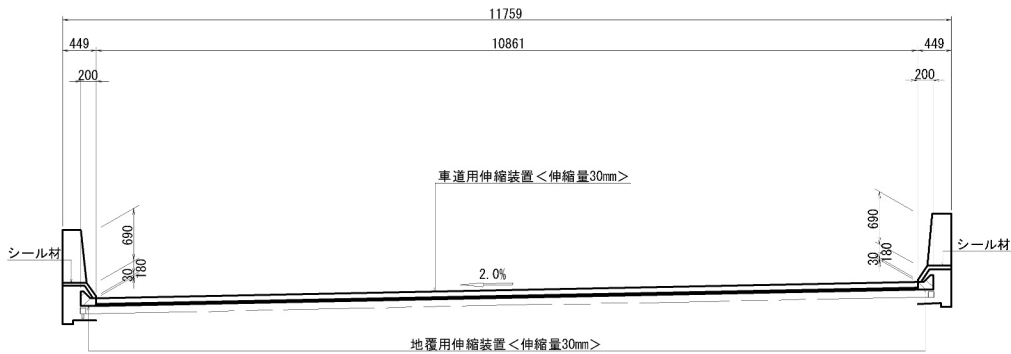
## "b"部詳細



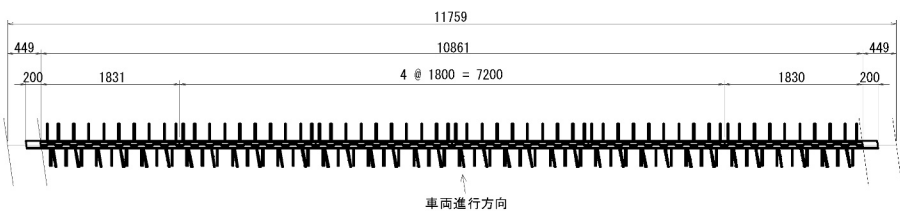
道 央 自 動 車 道			
苫小牧川橋床版取替工事			
図面の種類	苫小牧川橋(上り線) 桁端ブラケット構造図(その4)		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	安藤ハザマ・岩田地崎JV		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 北広島管理事務所		

苦小牧川橋(下り線) 伸縮装置詳細図(その1)  
(A1橋台)

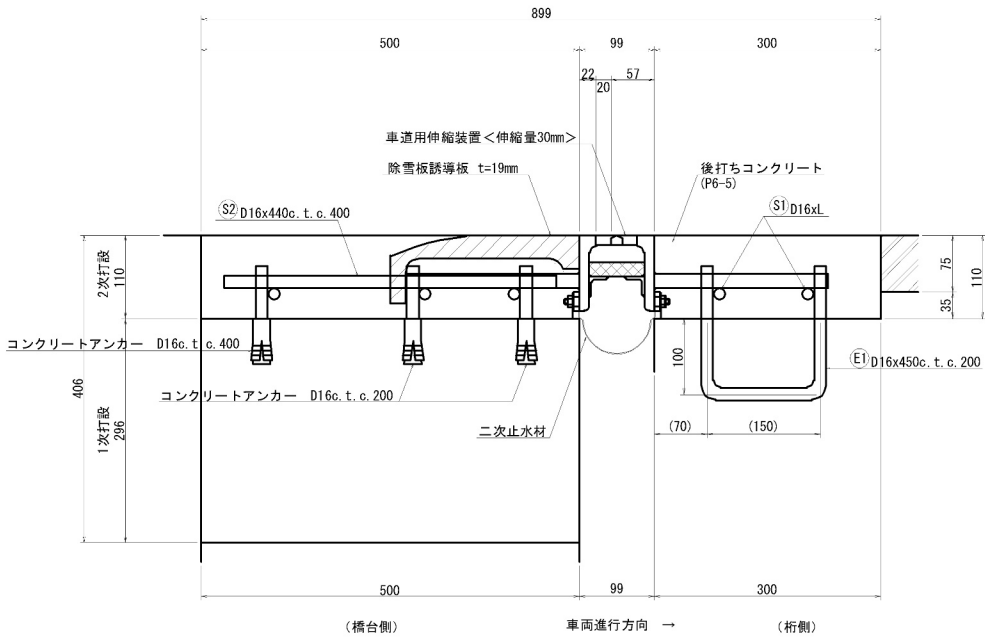
断面図 S=1:100



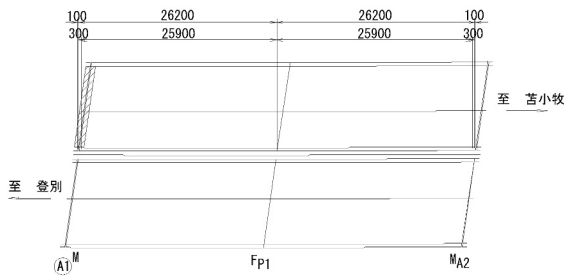
平面図 S=1:100



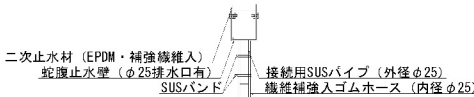
取付断面図 S=1:10  
遊間直角方向



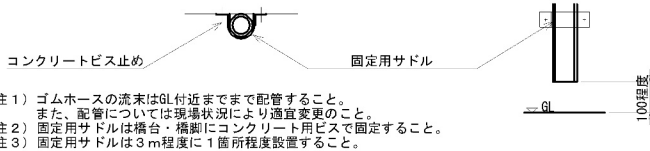
位置図



二次止水材端部部材名称

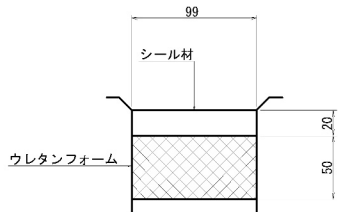


繊維補強入ゴムホース（内径φ25）取付図



- 注1) カッター幅及び研り深さについては、現場の状況により変更の事。  
注2) 既設鉄筋が利用可能な場合は、あと施工アンカーを使用せず加工鉄筋等を使用の事。  
注3) 除雪板誘導板については、車輛進行方向に対し平行に伸縮装置の手前に設置の事。  
注4) 二次止水材は施工境界部に継目が無い構造である事。  
注5) E1鉄筋は橋軸方向に配筋する事。  
注6) 除雪板誘導板は製作工場においてすみ肉溶接にて取付する事。

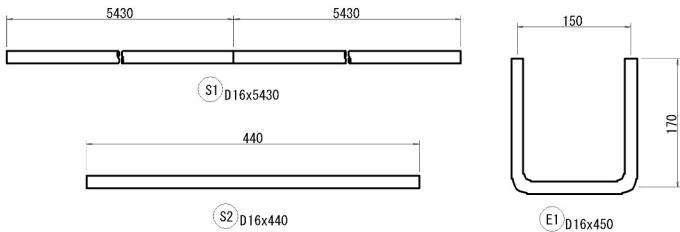
シール材詳細図 S=1:6



旧伸縮継手及び既設コンクリート

A1	
旧伸縮継手	鋼製フィンガージョイント
既設コンクリート	鉄筋コンクリート (σ <sub>ck</sub> =24N/mm <sup>2</sup> )

鉄筋加工図

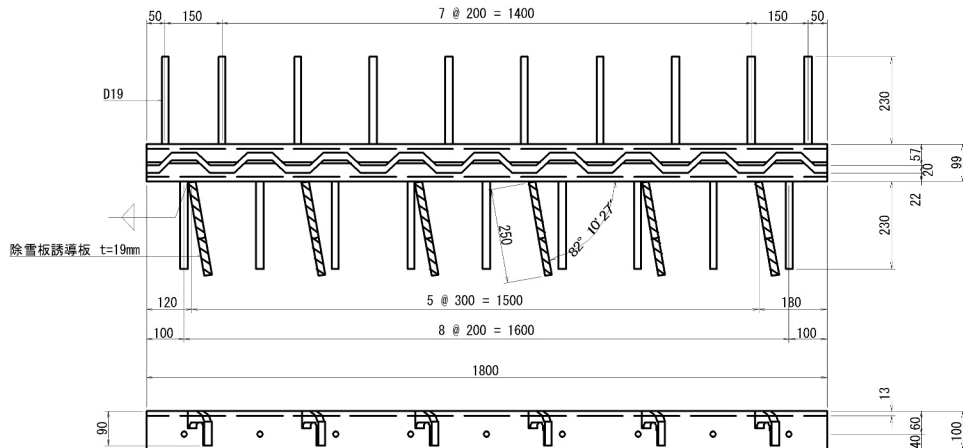


材料表

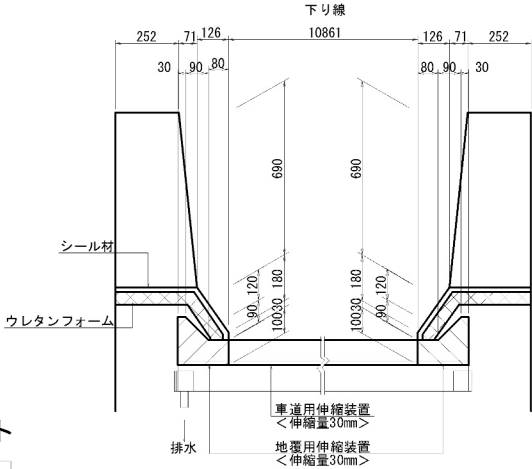
品名	仕様	単位	A1 下り線	備考
車道用伸縮装置	伸縮量30mm	m	10.861	車道部
地覆用伸縮装置	伸縮量30mm	m	0.400	地覆部
二次止水材	連続止水材本体取付型	m	11.261	
後打ちコンクリート	σ <sub>ck</sub> =50N/mm <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	2.69	P6-5
シール材		L	2.3	
補強鉄筋	S1 D16x5430	kg	84.7	
	S2 D16x440	kg	18.5	27本
	計	kg	103.2	
アンカー鉄筋	E1 D16x450	kg	37.9	54本
コンクリートアンカー	D16	本	135	

製品図 S=1:20

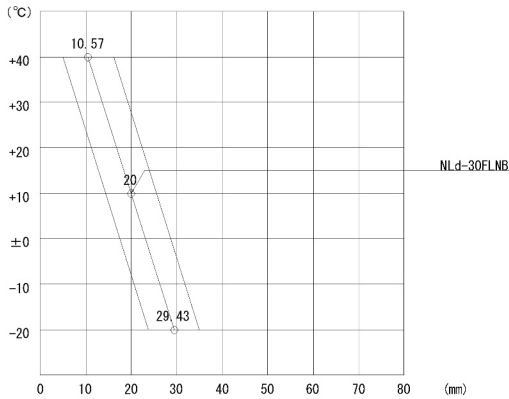
車道用伸縮装置<伸縮量30mm>



地覆部止水処理図 S=1:30



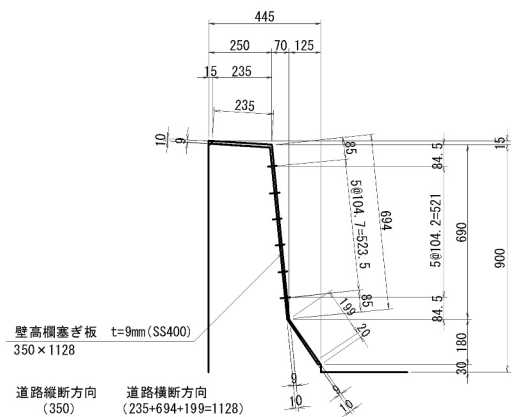
伸縮装置遊間設定表



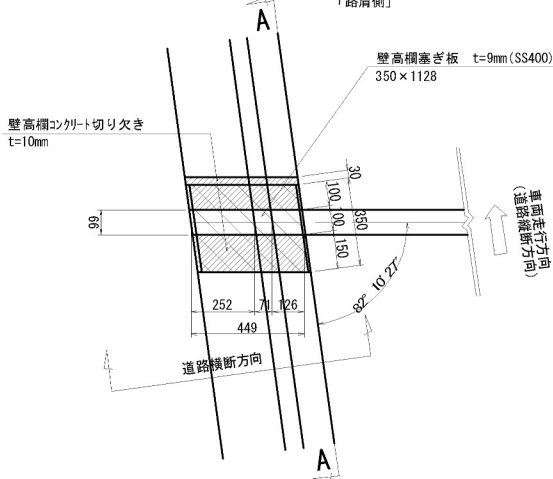
道央自動車道 苦小牧川橋床版取替工事			
図面の種類	苦小牧川橋(下り線) 伸縮装置詳細図(その1)		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	安藤ハザマ・岩田地崎JV		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 北海道支社		
事務所名	北広島管理事務所		

苫小牧川橋(下り線) 伸縮装置詳細図(その2)  
(A1橋台 塞ぎ板)

道路横断方向～断面図



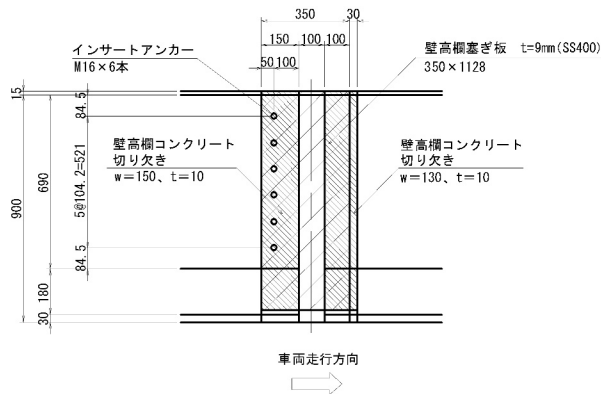
平面図 1:30



側面図 1:30

A-A

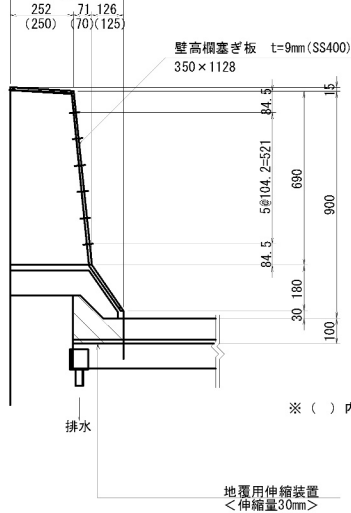
「路肩側」



断面図 1:30

下り線

「路肩側」

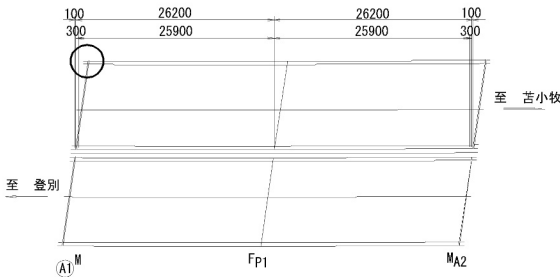


A1橋台数量

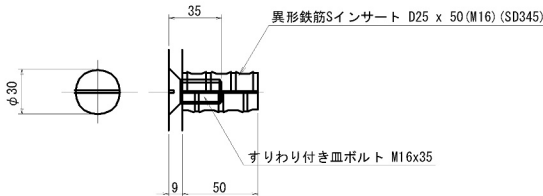
- ※ 1-PL 350 x 9 x 1128 (SS400)
- ※ 6-異形鉄筋Sインサート D25 x 50 (M16) (SD345)
- ※ 6-皿ボルト M16 x 35 (SS400)

注) 鋼材の表面処理は、溶融亜鉛メッキ(JIS H8641)とし、鋼板はHDZ177、ボルト・ナット類はHDZ149とする。

位置図



取付ボルト詳細 S=1:5

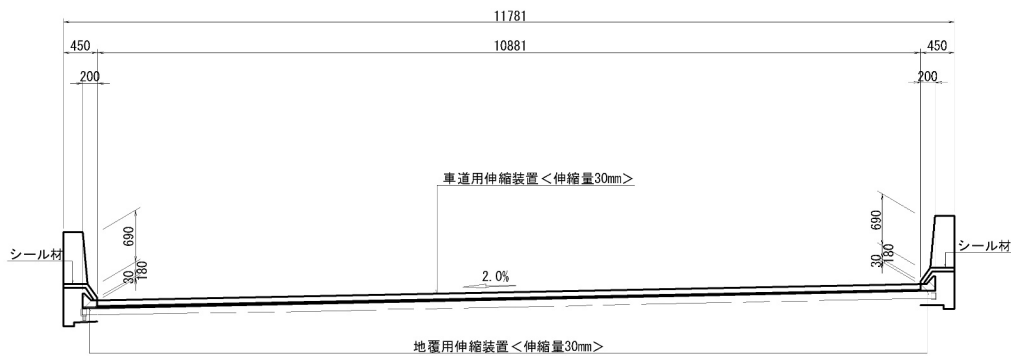


道 央 自 動 車 道 苫小牧川橋床版取替工事				
図面の種類	苫小牧川橋(下り線) 伸縮装置詳細図(その2)			
	縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	安藤ハザマ・岩田崎JV			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 北広島管理事務所			

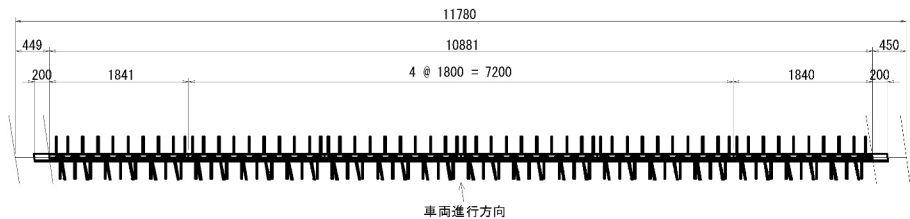


苦小牧川橋(下り線) 伸縮装置詳細図(その3)  
(A2橋台)

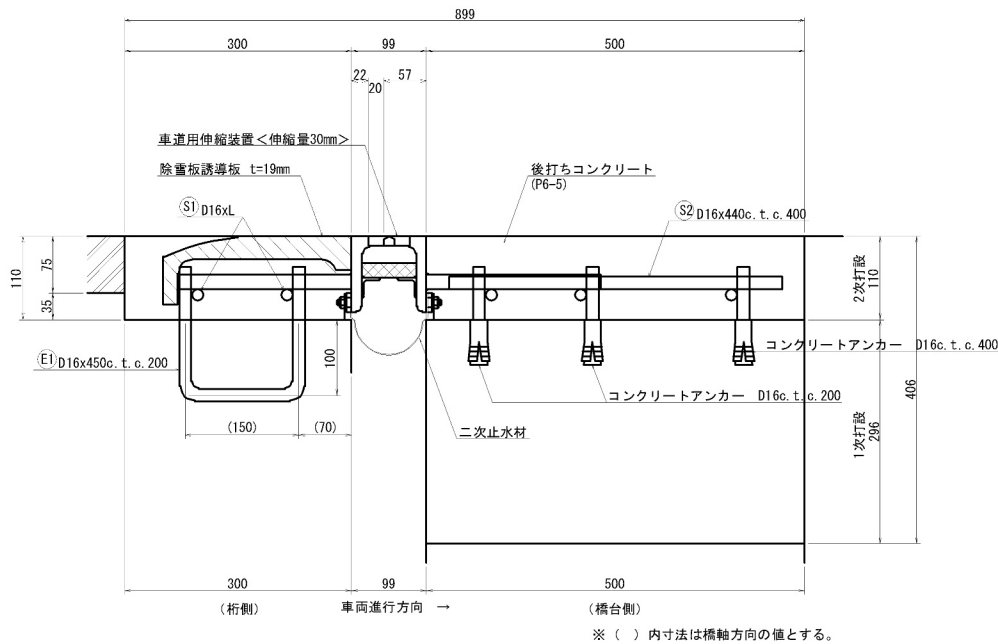
断面図 S=1:100



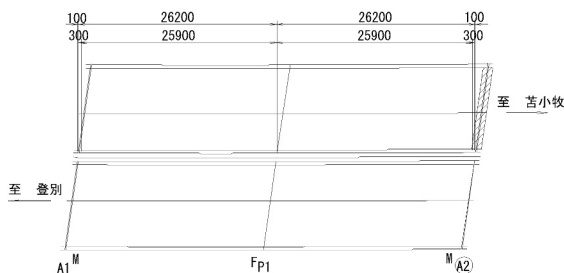
平面図 S=1:100



取付断面図 S=1:10  
遊間直角方向



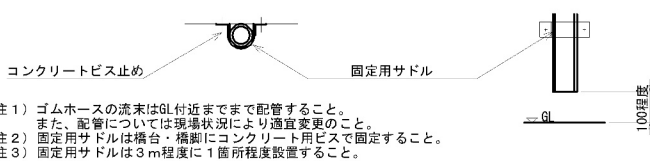
位置図



二次止水材端部部材名称

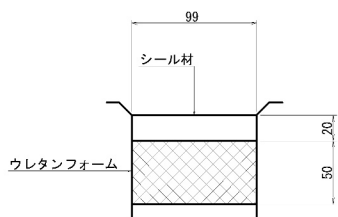


繊維補強入ゴムホース (内径φ25) 取付図



- 注1) カッター幅及び研り深さについては、現場の状況により変更の事。  
注2) 既設鉄筋が利用可能な場合は、あと施工アンカーを使用せず加工鉄筋等を使用の事。  
注3) 除雪板誘導板については、車輛進行方向に対し平行に伸縮装置の手前に設置の事。  
注4) 二次止水材は施工境界部に継目が無い構造である事。  
注5) E1鉄筋は橋軸方向に配筋する事。  
注6) 除雪板誘導板は製作工場においてすみ肉溶接にて取付する事。

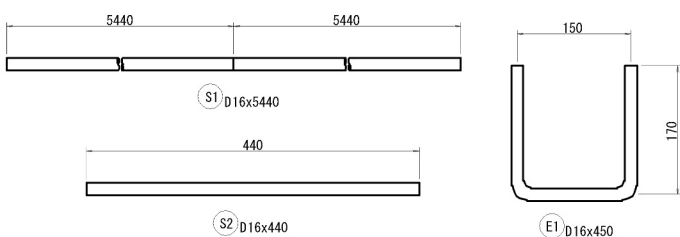
シール材詳細図 S=1:6



旧伸縮継手及び既設コンクリート

A2	
旧伸縮継手	鋼製フィンガージョイント
既設コンクリート	鉄筋コンクリート (σ <sub>ok</sub> =24N/mm <sup>2</sup> )

鉄筋加工図

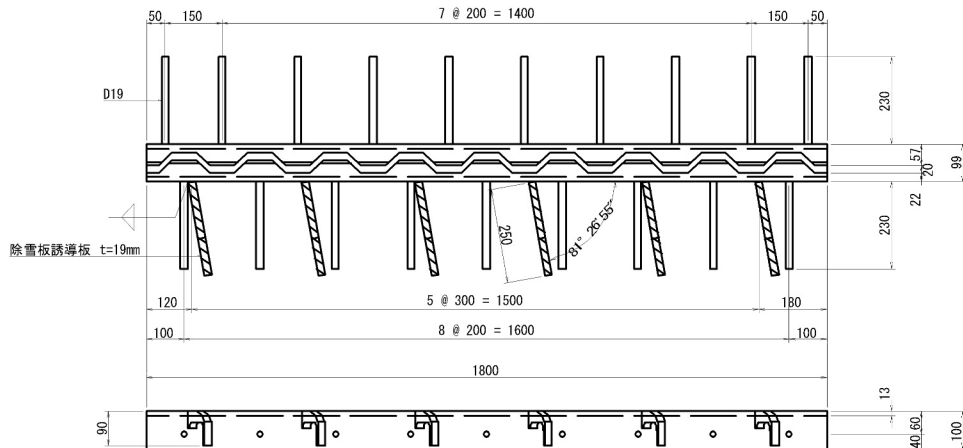


材料表

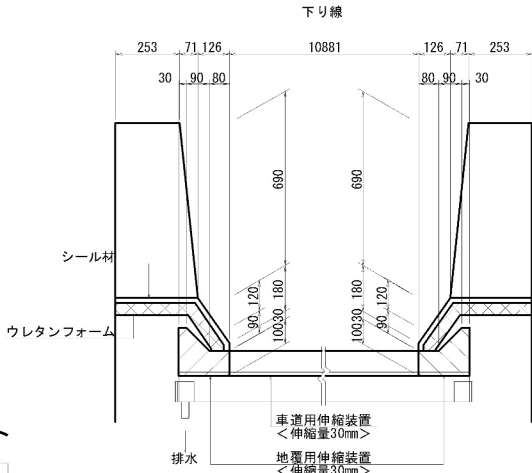
品名	仕様	単位	A2 下り線	備考
車道用伸縮装置	伸縮量30mm	m	10.881	車道部
地覆用伸縮装置	伸縮量30mm	m	0.400	地覆部
二次止水材	連続止水材本体取付型	m	11.281	
後打ちコンクリート	σ <sub>ok</sub> =50N/mm <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	2.69	P6-5
シール材		L	2.3	
補強鉄筋	S1 D16x5440	kg	84.9	
	S2 D16x440	kg	18.5	27本
計		kg	103.4	
アンカー鉄筋	E1 D16x450	kg	37.9	54本
コンクリートアンカー	D16	本	135	

製品図 S=1:20

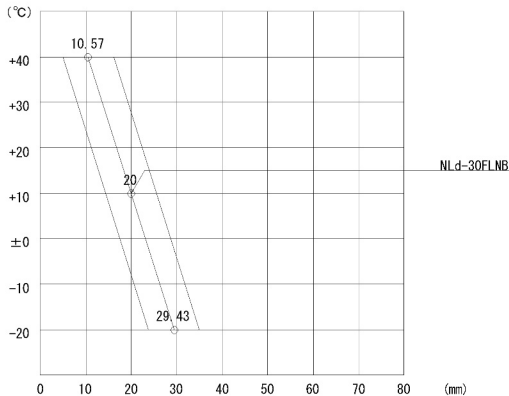
車道用伸縮装置<伸縮量30mm>



地覆部止水処理図 S=1:30



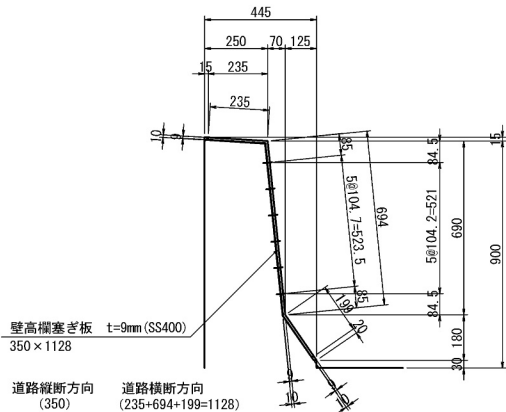
伸縮装置遊間設定表



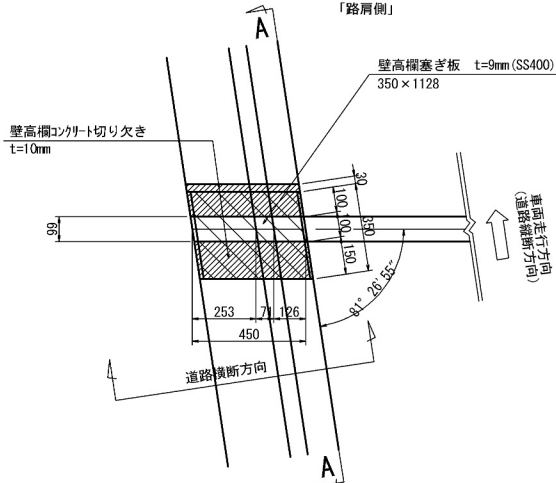
道央自動車道 苦小牧川橋床版取替工事		
図面の種類	苦小牧川橋(下り線) 伸縮装置詳細図(その3)	
縮尺	図示	図面番号
設計会社名	安藤ハザマ・岩田地崎JV	
施工会社名	東日本高速道路株式会社 北海道支社	
事務所名	北広島管理事務所	

苦小牧川橋(下り線) 伸縮装置詳細図(その4)  
(A2橋台 塞ぎ板)

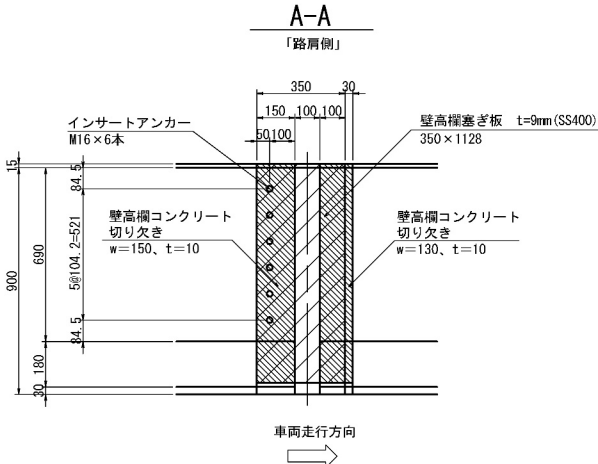
道路横断方向～断面図



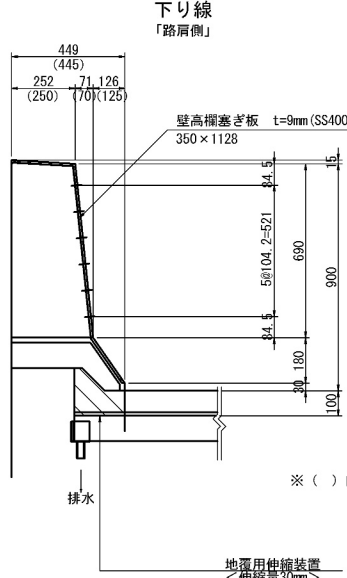
平面图 1:30



側 面 図 1:30



断面図 1:30



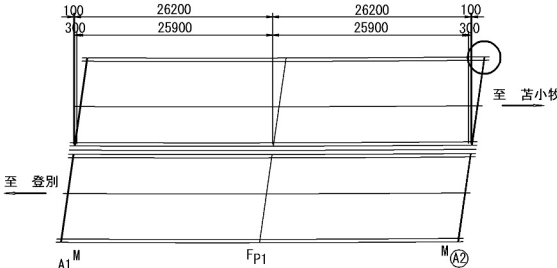
※ ( ) 内寸法は、道路横断方向を示す

A2橋台数量

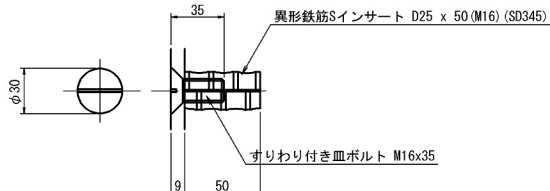
- ※ 1-PL 350 x 9 x 1128(SS400)  
 ※ 6-異形鉄筋Sインサート D25 x 50 (M16) (SD345)  
 ※ 6-皿ボルト M16 x 35(SS400)

注) 鋼材の表面処理は、溶融亜鉛メッキ(JIS H8641)とし、鋼板はHDZT77、ボルト・ナット類はHDZT49とする。

## 位置図



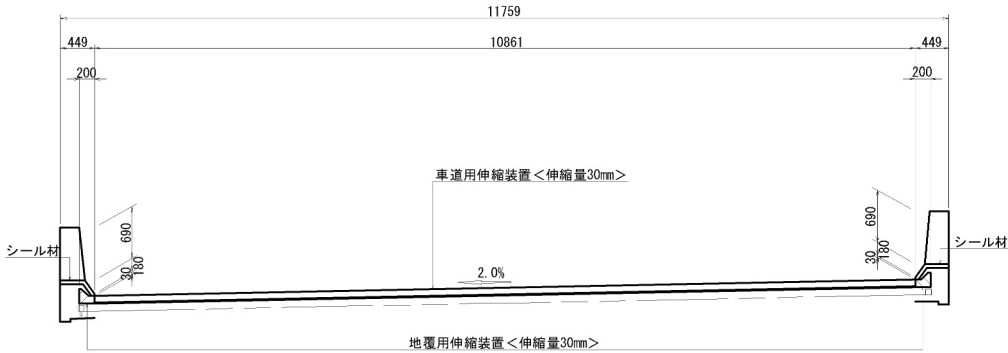
取付ボルト詳細 S=1:5



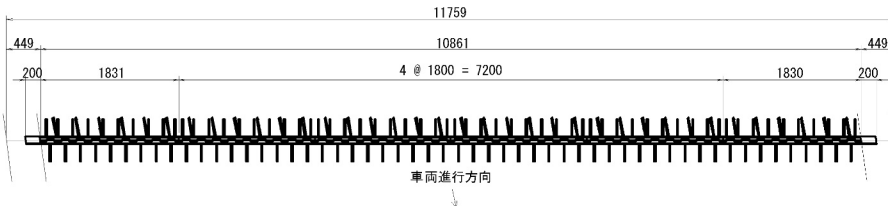
道 央 自 動 車 道			
苫小牧川橋床版取替工事			
図面の種類	苫小牧川橋(下り線) 伸縮装置詳細図(その4)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	安藤ハザマ・岩田地嶋JV		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 北広島管理事務所		

苦小牧川橋(上り線) 伸縮装置詳細図(その1)  
(A1橋台)

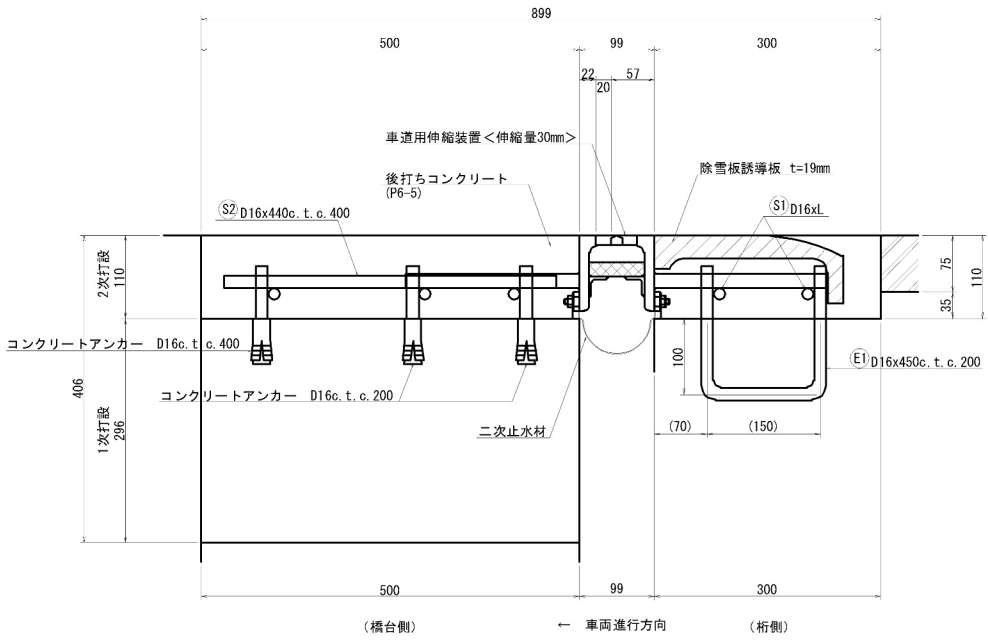
断面図 S=1:100



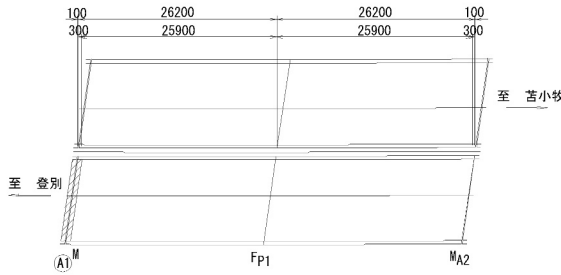
平面图 S=1:100



取付断面図 S=1:10  
遊間直角方向



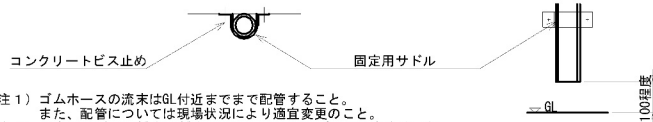
## 位置図



二次止水材端部部材名称

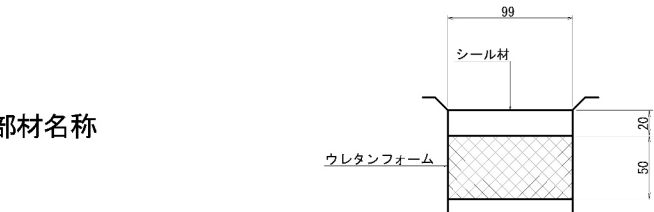


### 繊維補強入ゴムホース（内径φ25）取付図



- 注1) カッター幅及び研り深さについては、現場の状況により変更する。
- 注2) 既設鉄筋が利用可能な場合は、あと施工アンカーを要せず加工鉄筋等を使用の事。
- 注3) 除雪板誘導板は、車庫進行方向に対して平行に伸縮溝の直前に設置の事。
- 注4) 2次止水材は施工境界部に継目が無い構造である事。
- 注5) E1鉄筋は横軸方向に配筋する。
- 注6) 除雪板誘導板は製工場においてすみ肉溶接にて取付する事。

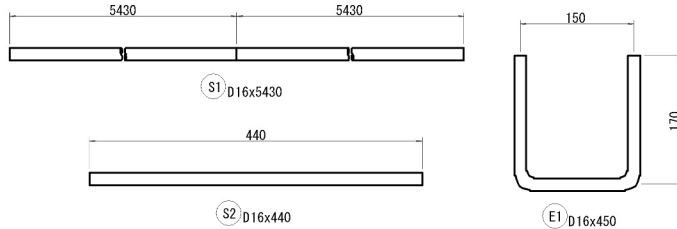
シール材詳細図 S=1:6



## 旧伸縮継手及び既設コンクリート

	A1
旧伸縮継手	鋼製フィンガージョイント
既設コンクリート	鉄筋コンクリート ( $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ )

鉄筋加工図

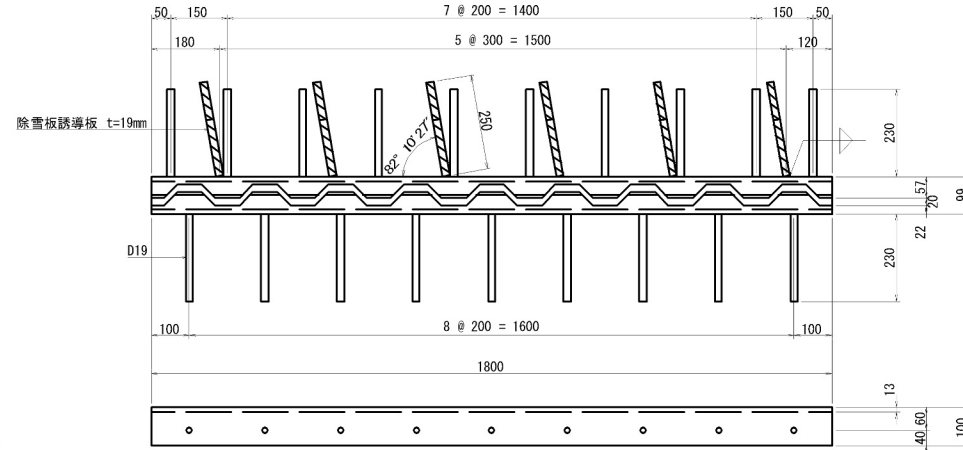


## 材料表

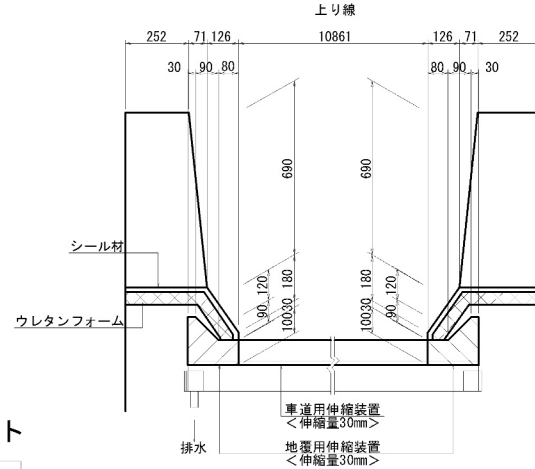
品 名		仕 様	単位	A1 上り線	備 考
車道用伸縮装置		伸縮量30mm	m	10.861	車道部
地覆用伸縮装置		伸縮量30mm	m	0.400	地覆部
二次止水材		連続止水材本体取付型	m	11.261	
後打ちコンクリート		$\sigma$ ck=50N/mm <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	2.69	P6-5
シール材			L	2.3	
補強鉄筋	S1	D16x5430	kg	84.7	
	S2	D16x440	kg	18.5	27本
	計		kg	103.2	
アンカー鉄筋		D16x450	kg	37.9	54本
コンクリートアンカー		D16	本	135	

製品図 S=1:20

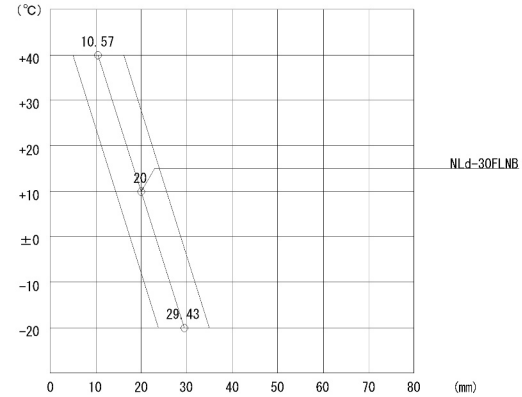
車道用伸縮装置＜伸縮量30mm＞



地覆部止水处理图 S=1:30



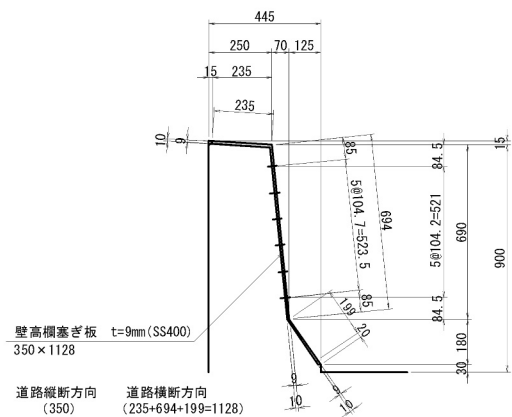
### 伸縮装置遊間設定表



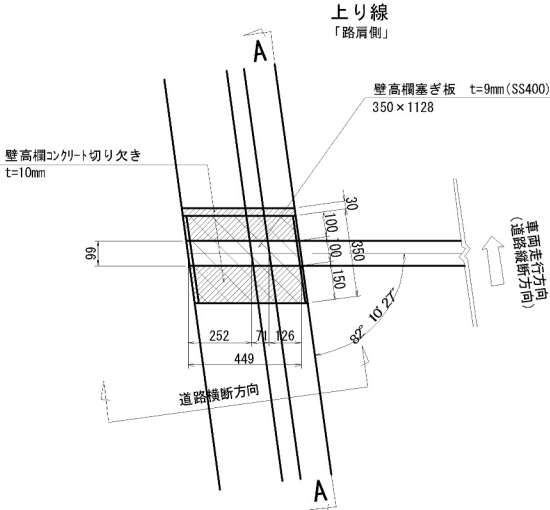
道 央 自 動 車 道 苫小牧川橋仮設替工事		
図面の種類	苫小牧川橋(上り線) 伸縮装置詳細図(その1)	
縮 尺	図 示	図面番号
設計会社名	安藤ハザマ・岩田地崎JV	
施工会社名		
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 北広島管理事務所	

苫小牧川橋(上り線) 伸縮装置詳細図(その2)  
(A1橋台 塞ぎ板)

道路横断方向～断面図



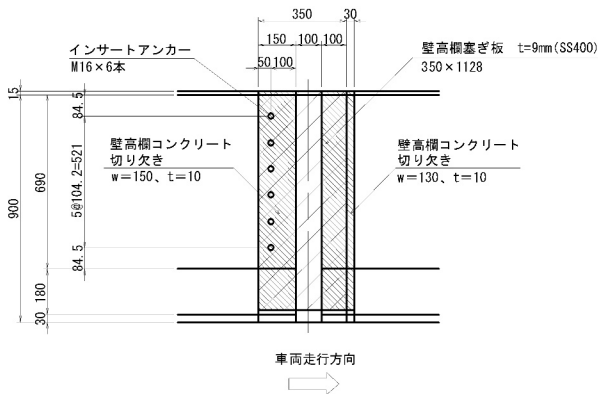
平面図 1:30



側面図 1:30

A-A

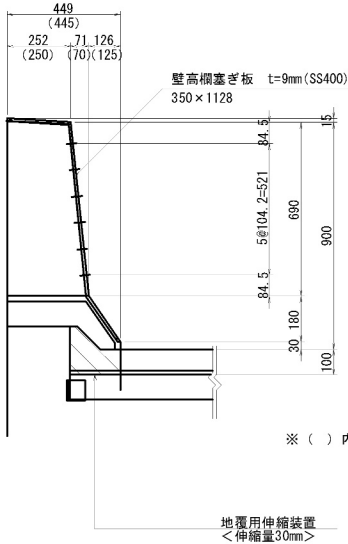
「路肩側」



断面図 1:30

上り線

「路肩側」

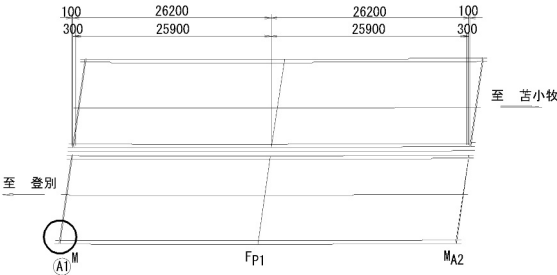


A1橋台数量

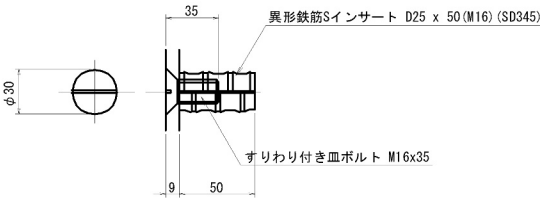
- ※ 1-PL 350 x 9 x 1128 (SS400)
- ※ 6-異形鉄筋Sインサート D25 x 50 (M16) (SD345)
- ※ 6-皿ボルト M16 x 35 (SS400)

注) 鋼材の表面処理は、溶融亜鉛メッキ(JIS H8641)とし、鋼板はHDZ177、ボルト・ナット類はHDZ149とする。

位置図

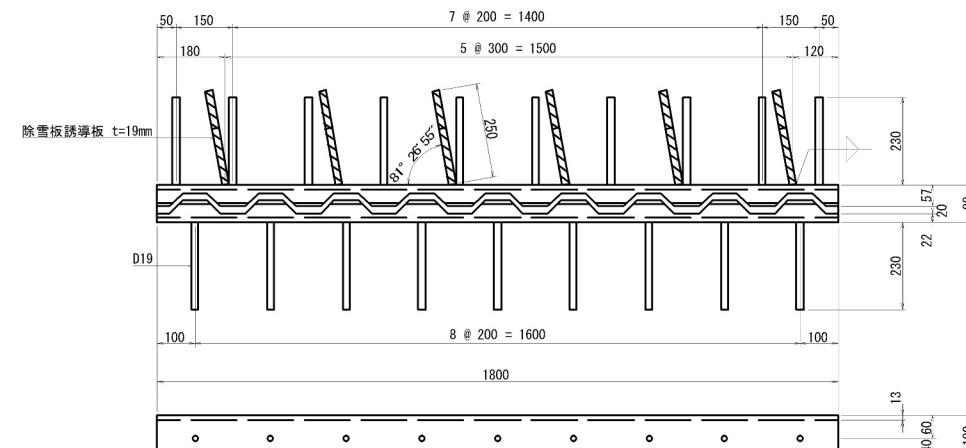


取付ボルト詳細 S=1:5

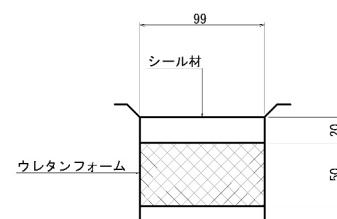


道 央 自 動 車 道 苫小牧川橋床版取替工事				
図面の種類	苫小牧川橋(上り線) 伸縮装置詳細図(その2)			
	縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	安藤ハザマ・岩田崎JV			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 北広島管理事務所			

製品図 S=1:20  
車道用伸縮装置<伸縮量30mm>



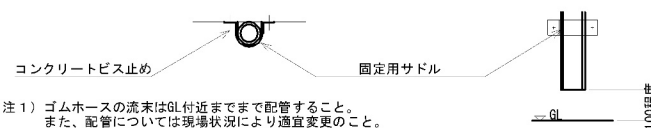
シーリング材詳細図 S=1:6



二次止水材端部部材名称



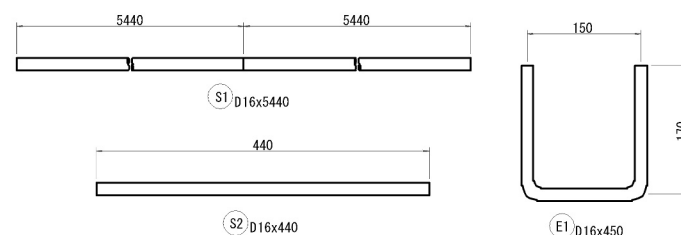
繊維補強入ゴムホース（内径φ25）取付図



旧伸縮継手及び既設コンクリート

	A2
旧伸縮継手	鋼製フィンガージョイント
既設コンクリート	鉄筋コンクリート ( $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ )

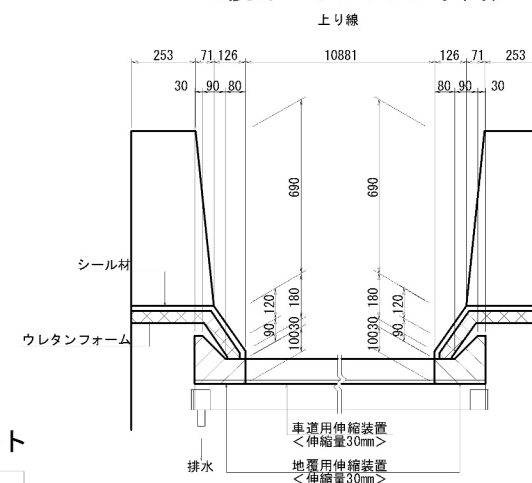
鉄筋加工図



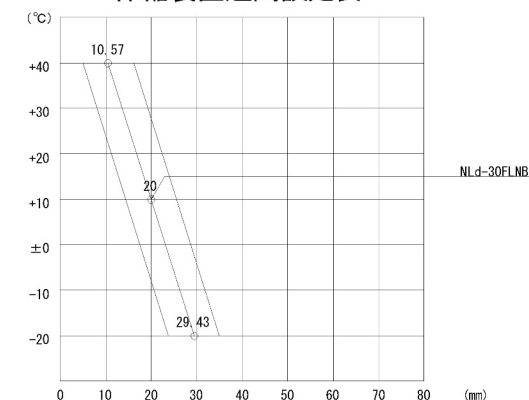
## 材料表

品 名		仕 様	単位	A2 上り線	備 考	
車道用伸縮装置		伸縮量30mm	m	10.881	車道部	
地堰用伸縮装置		伸縮量30mm	m	0.400	地堰部	
二次止水材		連続止水材本体取付型	m	11.281		
後打ちコンクリート		σ ck=50N/mm2	m3	2.69	P6-5	
シール材			L	2.3		
補強鉄筋	S1	D16x5440	kg	84.9	27本	
	S2	D16x440	kg	18.5		
	計		kg	103.4		
アンカー鉄筋		E1	D16x450	kg	37.9	54本
コンクリートアンカー		D16	本	135		

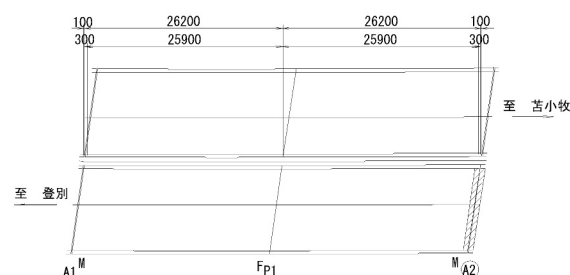
地覆部止水処理図 S=1:30



### 伸縮装置遊間設定表



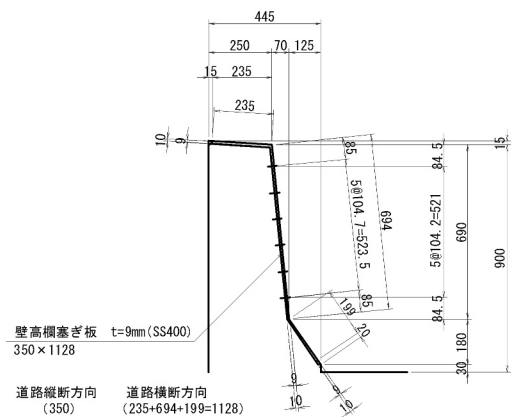
位置図



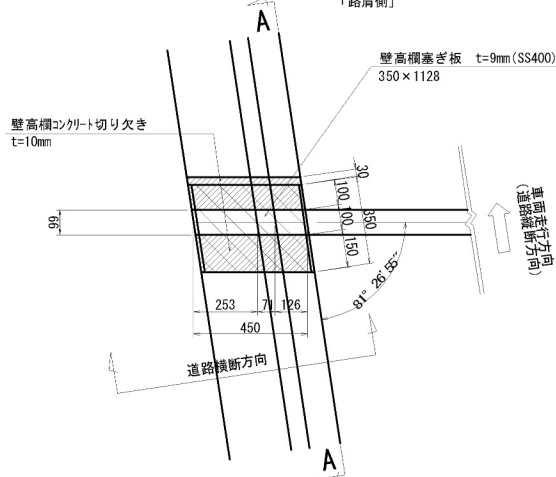
道 央 自 動 車 道			
苫小牧川橋床版取替工事			
図面の種類	苫小牧川橋(上り線) 伸縮装置詳細(その3)		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	安藤ハザマ・岩田地崎JV		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 北広島管理事務所		

苫小牧川橋(上り線) 伸縮装置詳細図(その4)  
(A2橋台 塞ぎ板)

道路横断方向～断面図



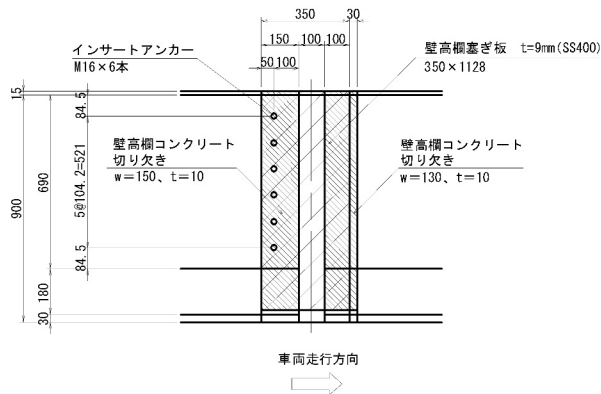
平面図 1:30



側面図 1:30

A-A

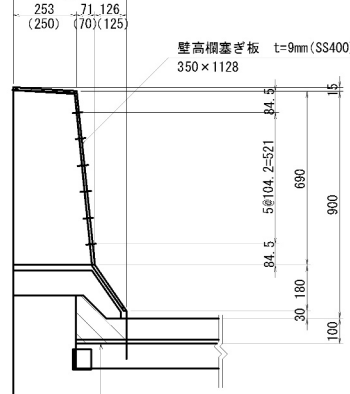
「路肩側」



断面図 1:30

上り線

「路肩側」

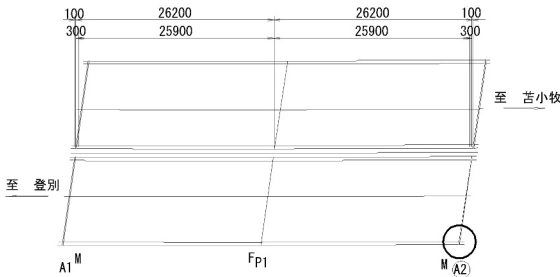


A2橋台数量

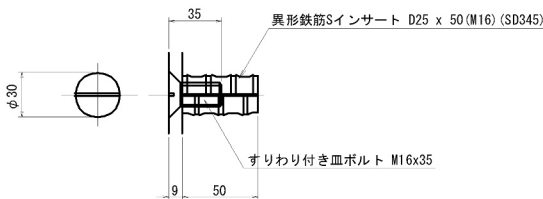
- ※ 1-PL 350 x 9 x 1128 (SS400)
- ※ 6-異形鉄筋Sインサート D25 x 50 (M16) (SD345)
- ※ 6-皿ボルト M16 x 35 (SS400)

注) 鋼材の表面処理は、溶融亜鉛メッキ(JIS H8641)とし、鋼板はHDZ177、ボルト・ナット類はHDZ149とする。

位置図



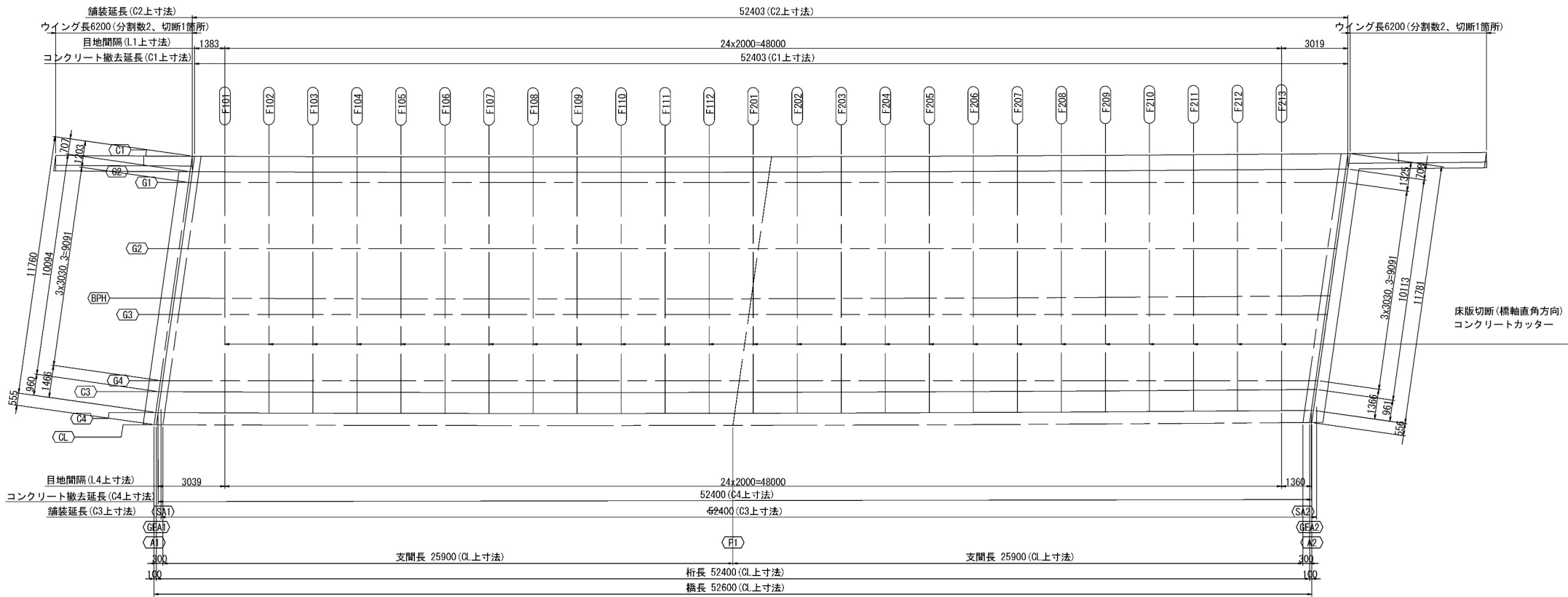
取付ボルト詳細 S=1:5



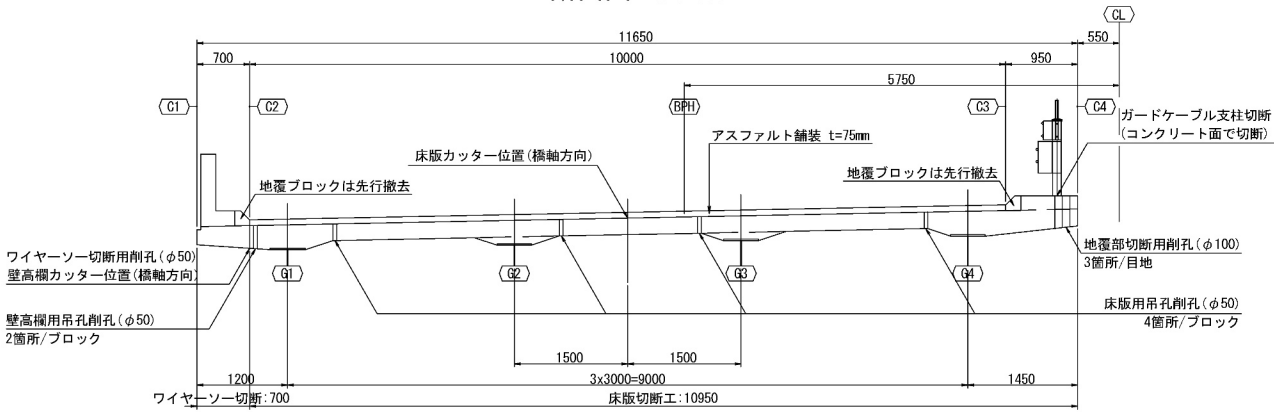
道央自動車道 苫小牧川橋床版取替工事				
図面の種類	苫小牧川橋(上り線) 伸縮装置詳細図(その4)			
	縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	安藤ハザマ・岩田崎JV			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 北広島管理事務所			

苦小牧川橋(下り線) 撤去概要図

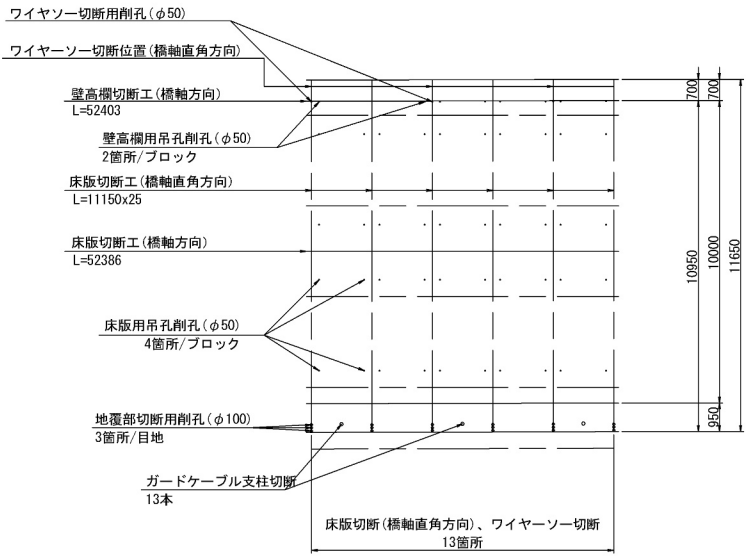
平面図 S=1:250



断面図 S=1:100



切断・削孔箇所 平面位置図 S=1:250



撤去数量

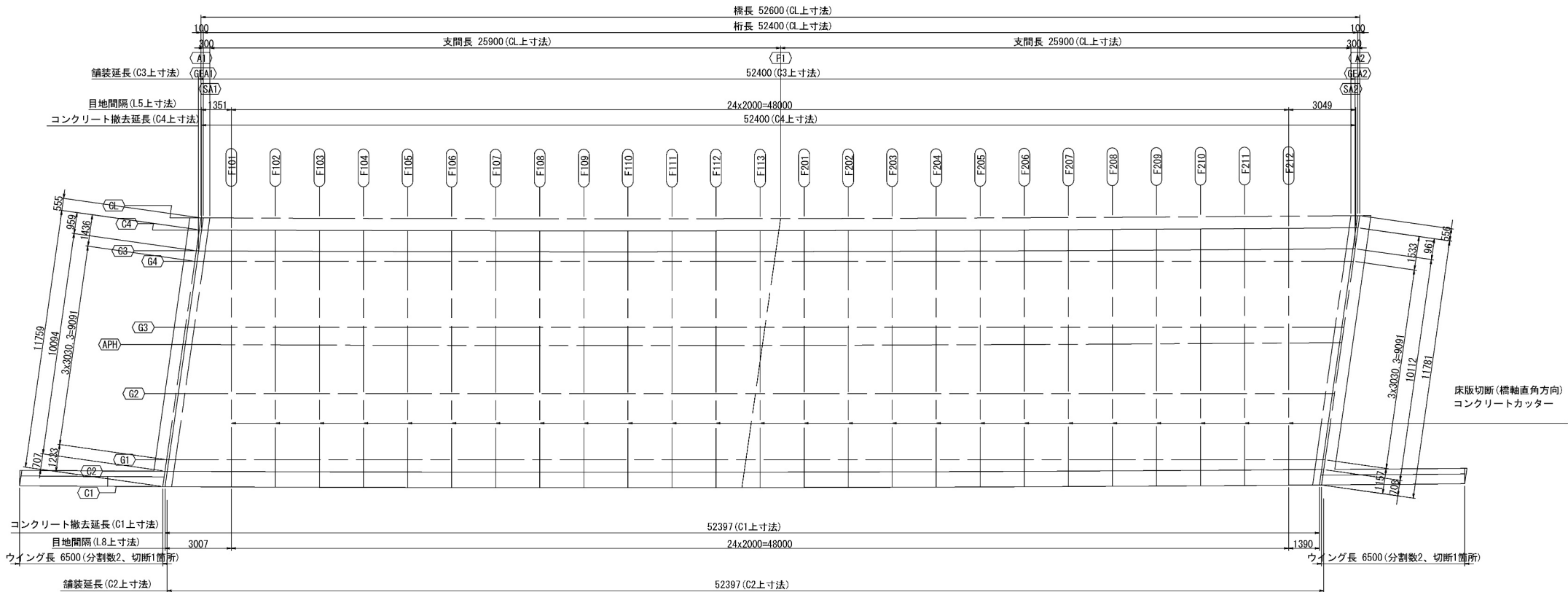
項目		単位		備考
アスファルト 舗装版取壊し	撤去面積	m2	524.0	t=75mm
	撤去体積	m3	39.3	
	撤去質量	t	92.4	
床版切断工	橋軸方向	m	52.4	コンクリートカッター
	橋軸直角方向	〃	273.8	〃
壁高欄切断工 (橋梁部)	橋軸方向	〃	52.4	〃
	橋軸直角方向	m2	10.8	ワイヤーソー
壁高欄切断工 (ウイング部)	橋軸方向	〃	6.2	〃 水平方向、L=12.4m、B=0.5m
	橋軸直角方向	〃	0.48	〃
コンクリート 撤去工	床版部	撤去体積	m3	153.0
		撤去質量	t	382.5
	地覆ブロック	撤去体積	m3	3.3
		撤去質量	t	8.3
	壁高欄部 (橋梁部)	撤去体積	m3	22.5
		撤去質量	t	56.3
	壁高欄部 (ウイング部)	撤去体積	m3	3.0
		撤去質量	t	7.5
	合計	撤去体積	m3	181.8
		撤去質量	t	454.6
コンクリートコア 削孔工	床版	箇所	208	床版用吊孔削孔φ50
	地覆	〃	75	地覆部切断削孔φ100
	〃	〃	13	ワイヤーソー切断用削孔φ50
	壁高欄	〃	28	壁高欄用吊孔削孔φ50
ガードケーブル支柱切断		本	13	φ114mm、L=900mm

項目		単位	数量	備考
既設床版撤去工	床版B	m2	524.0	
	壁高欄B	m	64.8	

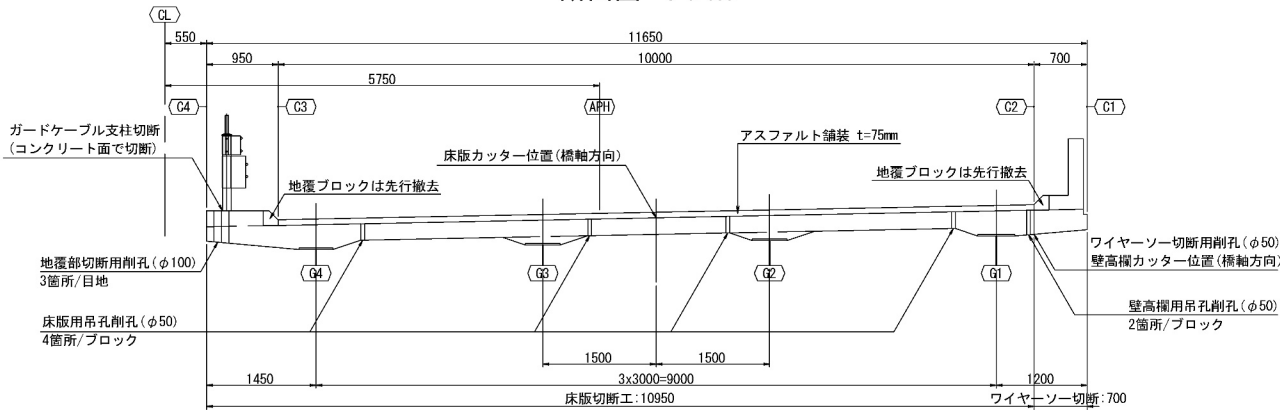
道央自動車道 苦小牧川橋床版取替工事			
図面の種類	苦小牧川橋(下り線) 撤去概要図		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	安藤ハザマ・岩田地崎JV		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 北広島管理事務所		

苦小牧川橋(上り線) 撤去概要図

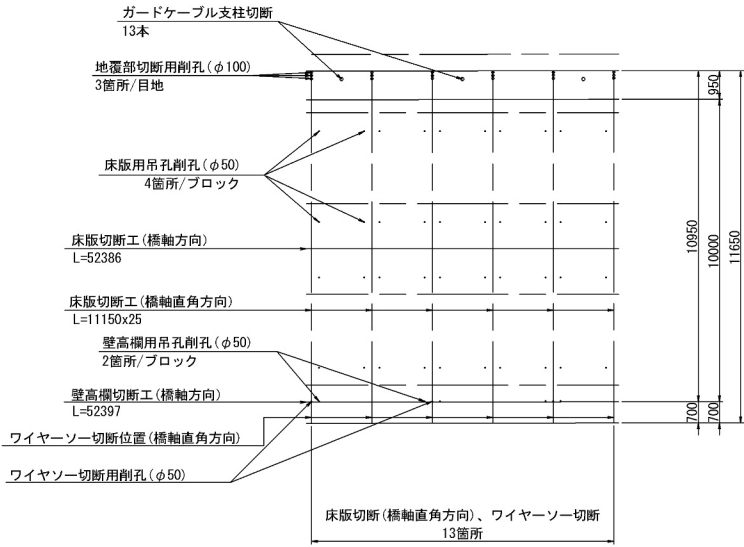
平面図 S=1:250



断面図 S=1:100



切断・削孔箇所 平面位置図 S=1:250



撤去数量

項目		単位		備考
アスファルト 舗装版取壊し	撤去面積	m2	524.0	t=75mm
	撤去体積	m3	39.3	
	撤去質量	t	92.4	
床版切断工	橋軸方向	m	52.4	コンクリートカッター
	橋軸直角方向	〃	273.8	〃
壁高欄切断工(橋梁部)	橋軸方向	〃	52.4	〃
	橋軸直角方向	m2	10.9	ワイヤーソー
壁高欄切断工(ウイング部)	橋軸方向	〃	6.5	水平方向、L=13.0m、B=0.5m
	橋軸直角方向	〃	0.48	〃
コンクリート 撤去工	床版部	撤去体積	m3	152.7
		撤去質量	t	381.8
	地覆ブロック	撤去体積	m3	3.3
		撤去質量	t	8.3
	壁高欄部 (橋梁部)	撤去体積	m3	22.8
		撤去質量	t	57.0
	壁高欄部 (ウイング部)	撤去体積	m3	3.1
		撤去質量	t	7.8
	合計	撤去体積	m3	181.9
		撤去質量	t	454.9
コンクリートコア 削孔工	床版	箇所	208	床版用吊孔削孔φ50
	地覆	〃	75	地覆部切断削孔φ100
	〃	〃	13	ワイヤーソー切断用削孔φ50
	壁高欄	〃	28	壁高欄用吊孔削孔φ50
ガードケーブル支柱切断		本	13	φ114mm、L=900mm

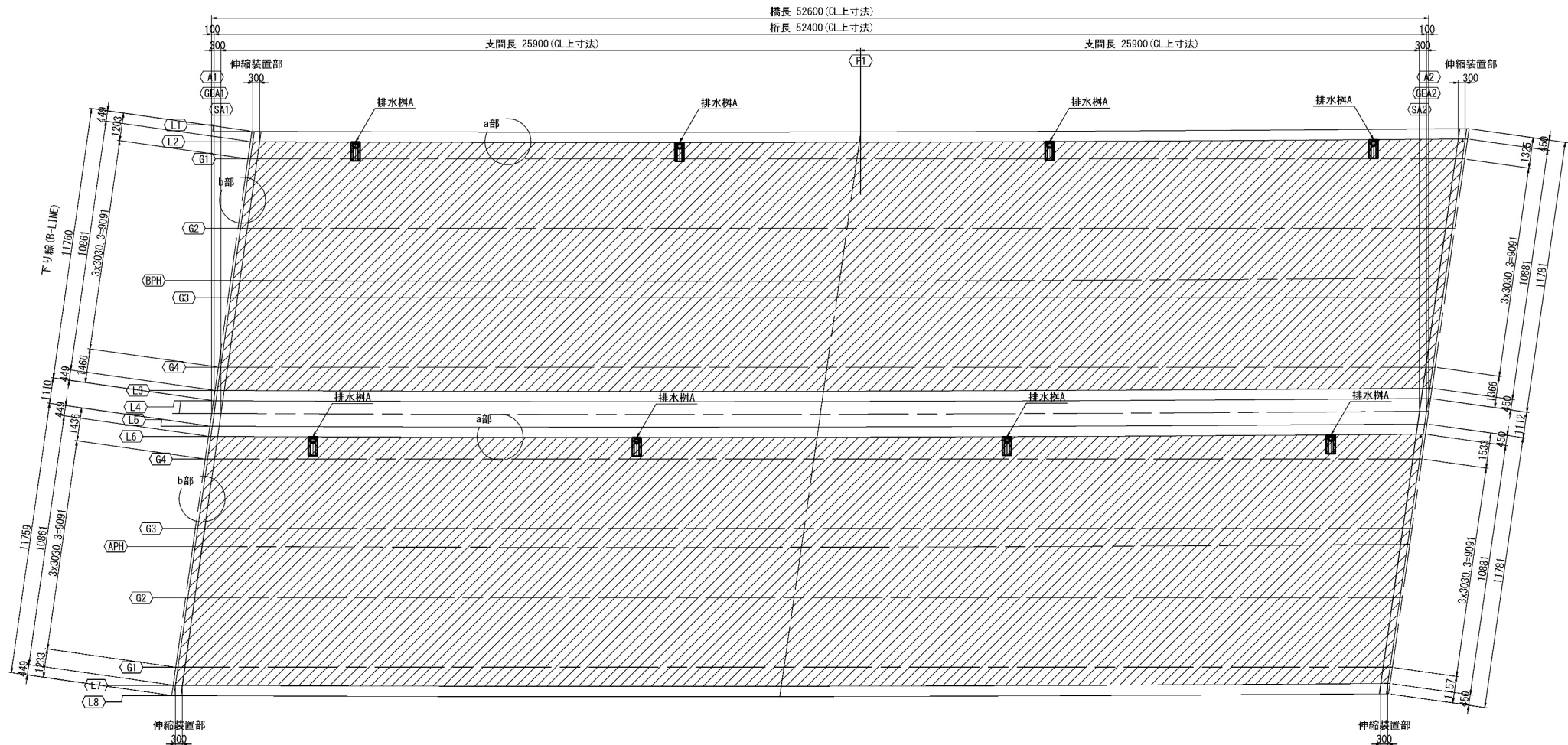
項目	単位	数量	備考
既設床版撤去工	床版B	m2	524.0
	壁高欄B	m	65.4

道央自動車道 苦小牧川橋床版取替工事			
図面の種類	苦小牧川橋(上り線) 撤去概要図		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	安藤ハザマ・岩田地崎JV		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 北広島管理事務所		



苫小牧川橋 アスファルト舗装工・床版防水工詳細図

平面図 S=1:250



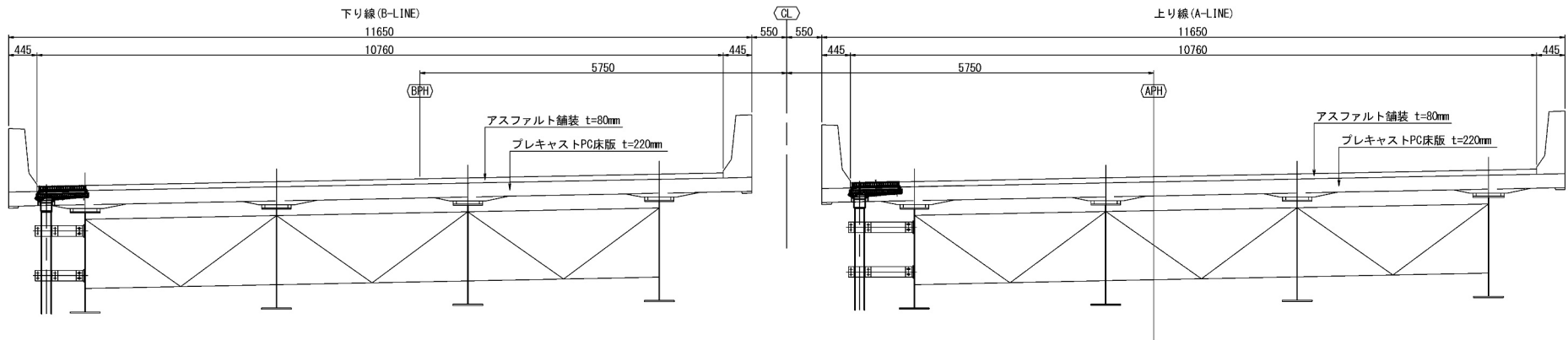
舗装面積(下り線)			単位:㎡
項目	数量	備考	
有効面積	563.8		
控除面積	1.3	排水樹4箇所 0.328㎡/箇所	
	6.5	伸縮装置部 A1 3.258㎡ A2 3.264㎡	
舗装面積	556.0		

数量表(下り線)				
項目		単位	数量	備考
アスファルト舗装工	アスファルトコンクリート表層	㎡	556.0	t=4.0cm
	アスファルトコンクリート橋梁レベリング層	㎡	556.0	t=4.0cm
橋面防水工	A	㎡	556.0	

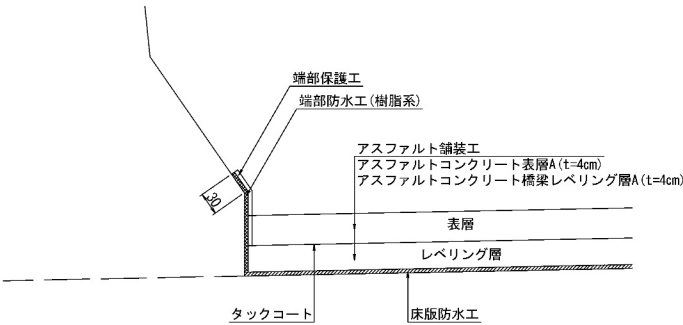
舗装面積(上り線)			単位:㎡
項目	数量	備考	
有効面積	563.8		
控除面積	1.3	排水樹4箇所 0.328㎡/箇所	
	6.5	伸縮装置部 A1 3.258㎡ A2 3.264㎡	
舗装面積	556.0		

数量表(上り線)				
項目		単位	数量	備考
アスファルト舗装工	アスファルトコンクリート表層	㎡	556.0	t=4.0cm
	アスファルトコンクリート橋梁レベリング層	㎡	556.0	t=4.0cm
橋面防水工	A	㎡	556.0	

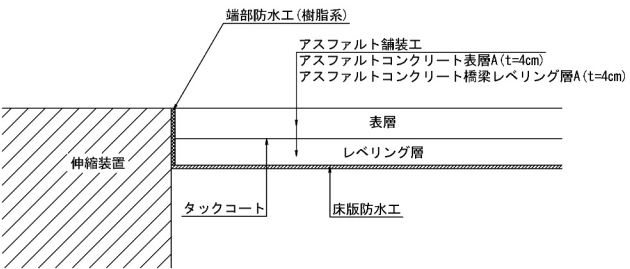
標準断面図 S=1:100



“a”部詳細図 S=1:10



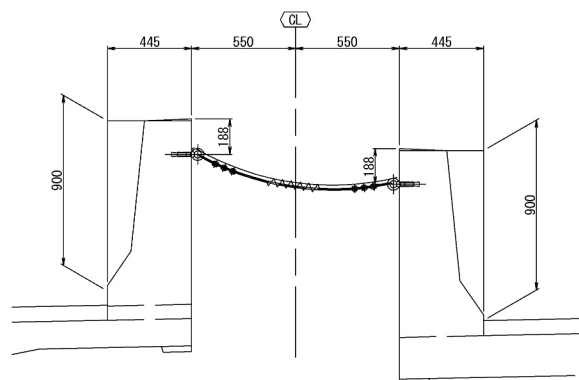
“b”部詳細図 S=1:10



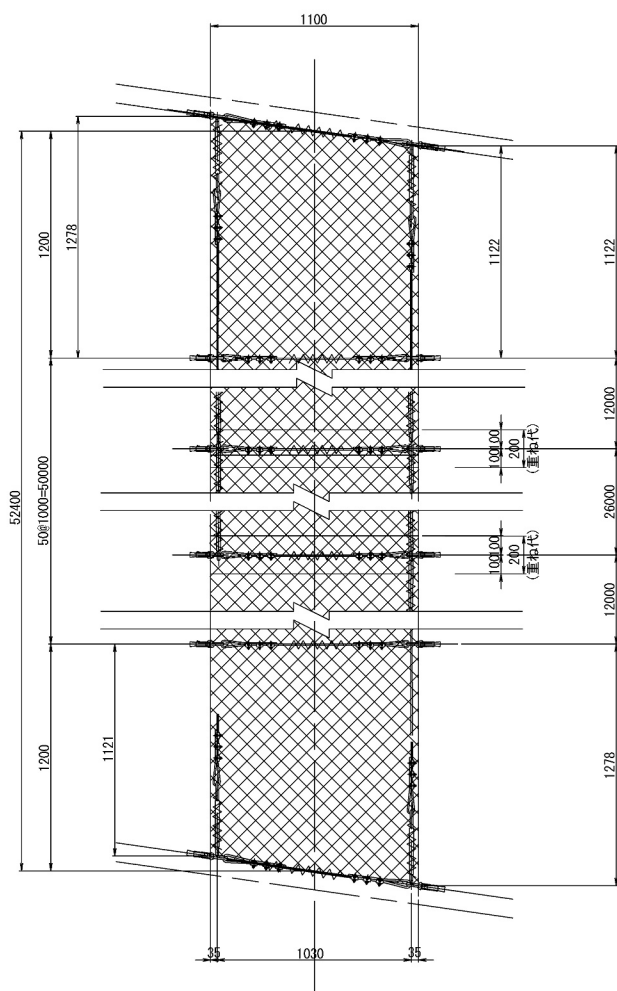
- ※
1. アスファルト舗装工の継ぎ目は、表層とレベリング層で10cmずらして施工すること。
  2. アスファルト舗装工の施工継ぎ目は、わだち位置にならないよう施工すること。

道央自動車道 苫小牧川橋床版取替工事			
図面の種類	苫小牧川橋 アスファルト舗装工・床版防水工詳細図		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	安藤ハザマ・岩田地崎JV		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 北広島管理事務所		

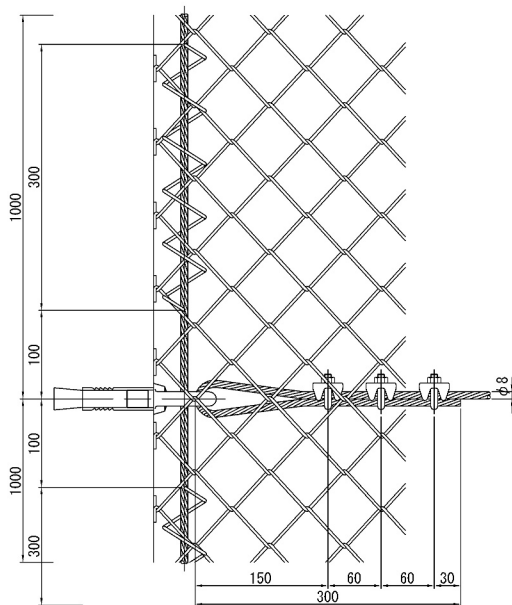
断面図 S=1:40



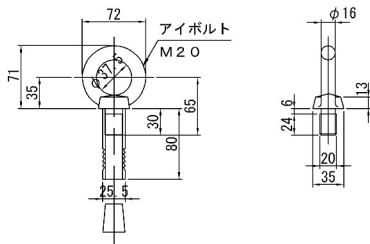
平面図 S=1:40



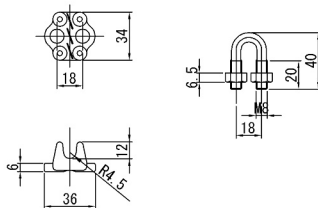
金網およびワイヤーロープ取付詳細図 S=1:8



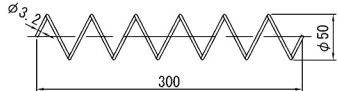
アンカーボルト S=1:8



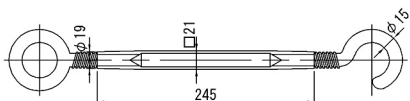
ワイヤークリップ S=1:5



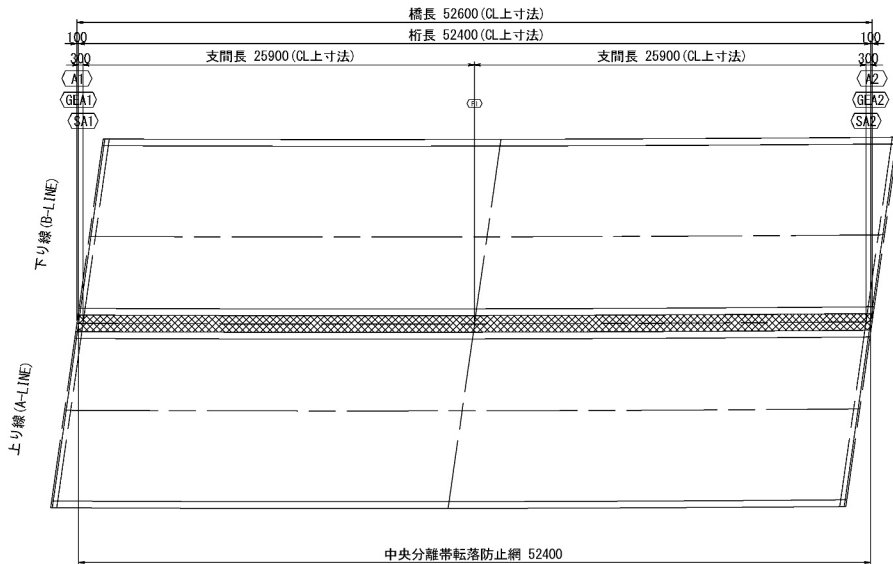
結合コイル S=1:8



ターンバックル S=1:8



配置図 S=1:500



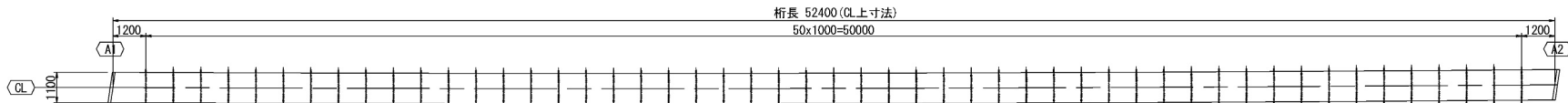
材料表

名称	寸法	摘要
ひし形金網	φ3.2mm×56mm	JIS G 3562 JIS G 3537 (亜鉛メッキ鉄線 4種)
ワイヤーロープ	φ8mm	JIS G 3525 (普通Zより亜鉛メッキ4号ロープ)
結合コイル	φ3.2mm×50mm ×250mm	JIS G 3537 (亜鉛メッキ鉄線 4種)
ワイヤークリップ	FOR φ8mm	
ターンバックル	φ15mm	
アンカーボルト	φ19mm	JIS G 3101 (一般構造用圧延鋼材第二種)

数量表

項目	単位	数量	備考
中央分離帯転落防止網	m <sup>2</sup>	57.6	

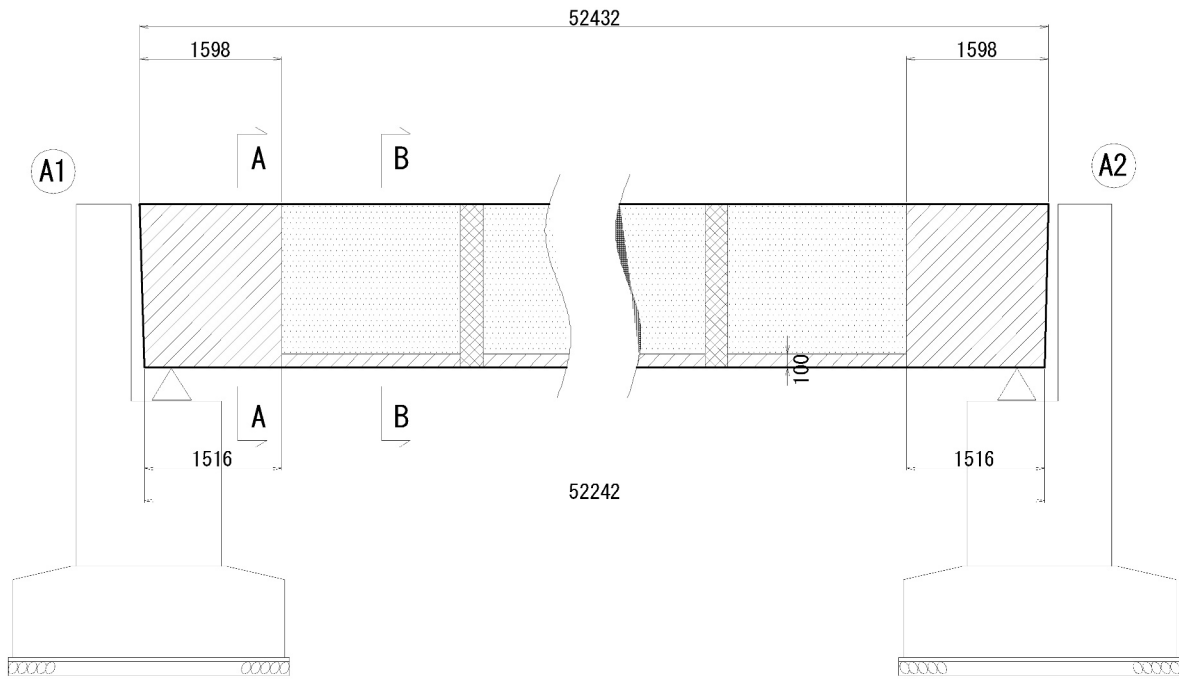
配置図 S=1:250






道央自動車道 苫小牧川橋床版取替工事			
図面の種類	苫小牧川橋 中央分離帯落下防止網工図		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	安藤ハザマ・岩田地崎JV		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 北広島管理事務所		

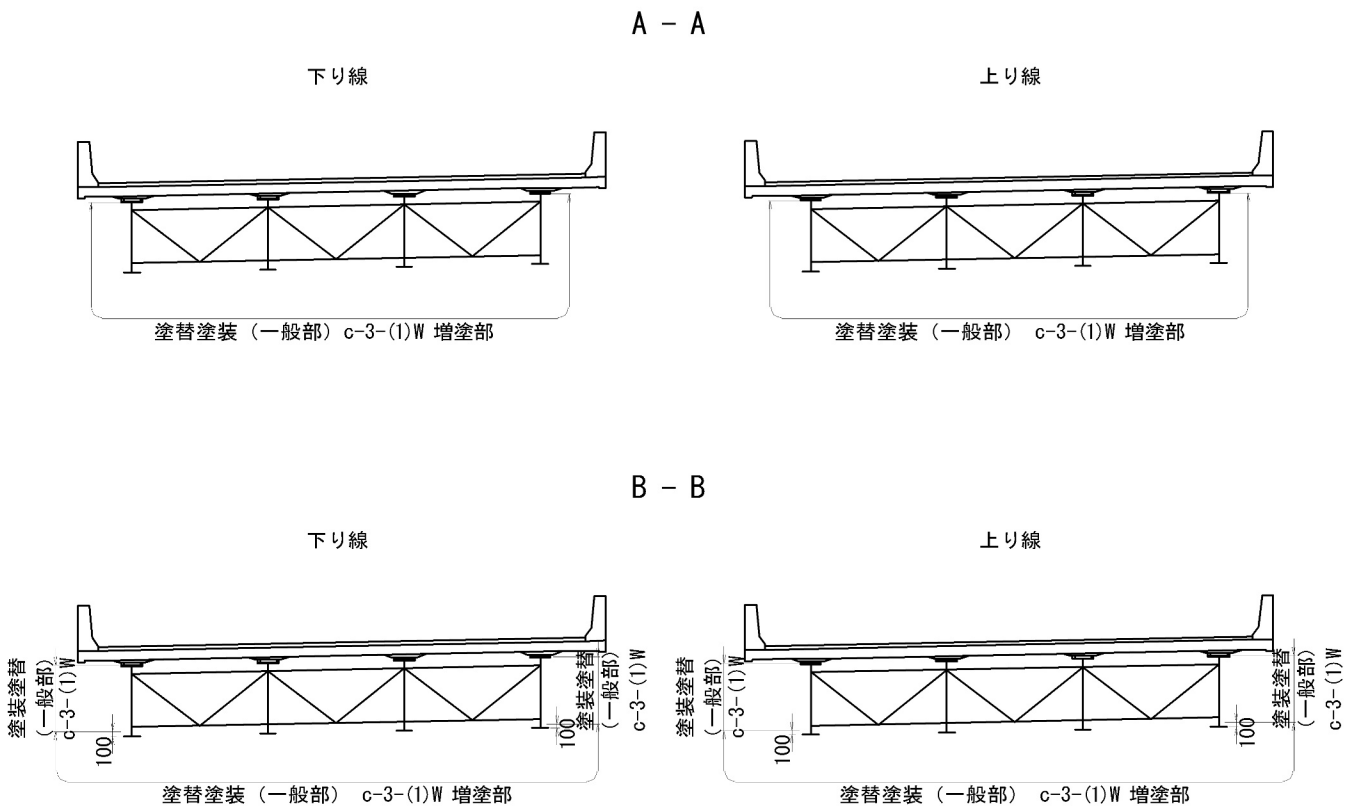


側面図



-  : 塗替塗装 (一般部) c-3-(1)W  
※増塗部
-  : 塗替塗装 (一般部) c-3-(1)W
-  : 塗替塗装 (特殊部) g-3-(1)W  
※添接部

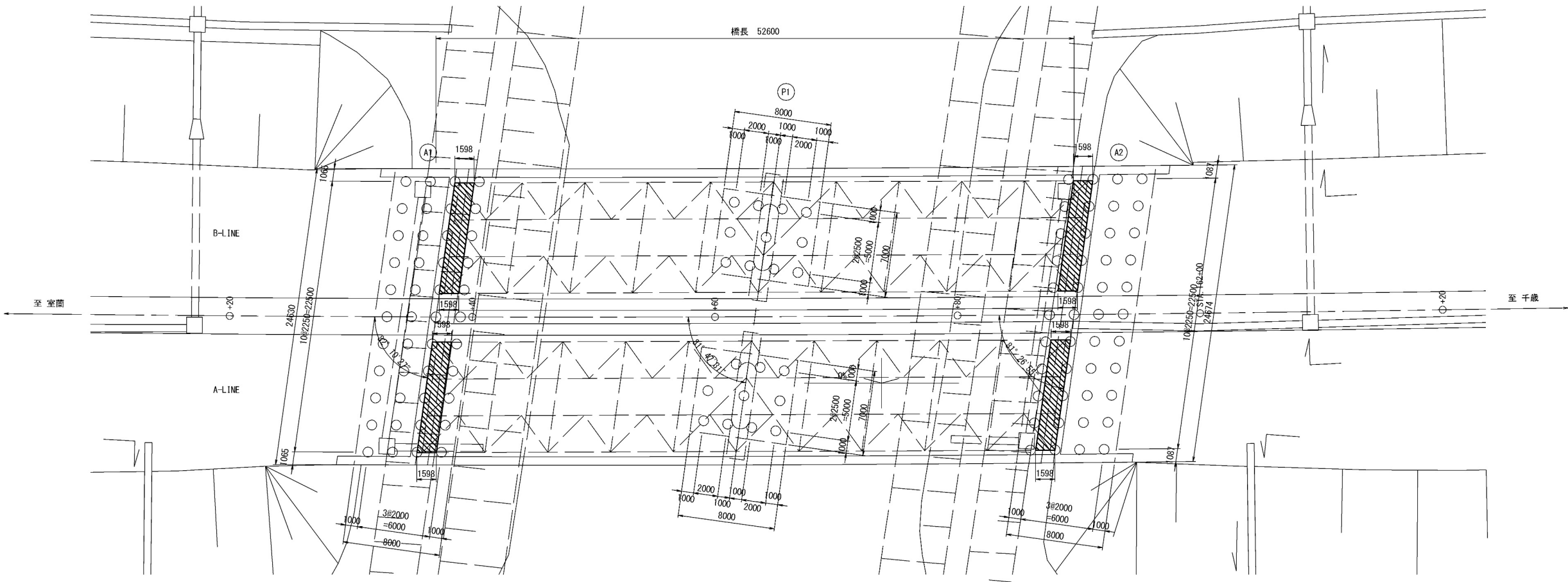
断面図



道央自動車道 苫小牧川橋床版取替工事			
図面の種類	苫小牧川橋 塗替塗装 種別詳細図		
	縮 尺	図 示	図面番号
設計会社名	安藤ハザマ・岩田地崎JV		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 北広島管理事務所		

▨：増塗施工範囲

平面図 縮尺 1:400

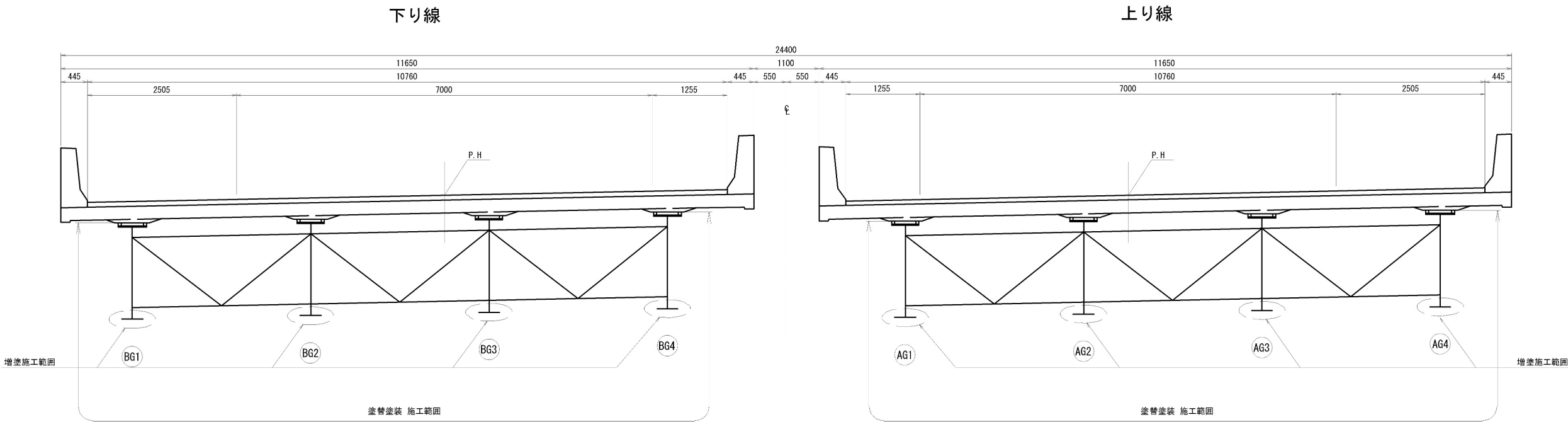


数量表 (A1～A2)

項目			単位	数量		備考
				下り線	上り線	
塗替塗装	一般部	c-3-(1)W	m <sup>2</sup>	1373.7	1377.8	
	特殊部	g-3-(1)W	m <sup>2</sup>	88.9	88.9	
	曲面加工	(R面取り)	m	1674.8	1674.8	

※対象範囲内の部材（主桁・横桁・対傾構等）は、すべて増塗とする。ただし、特殊部は除く。

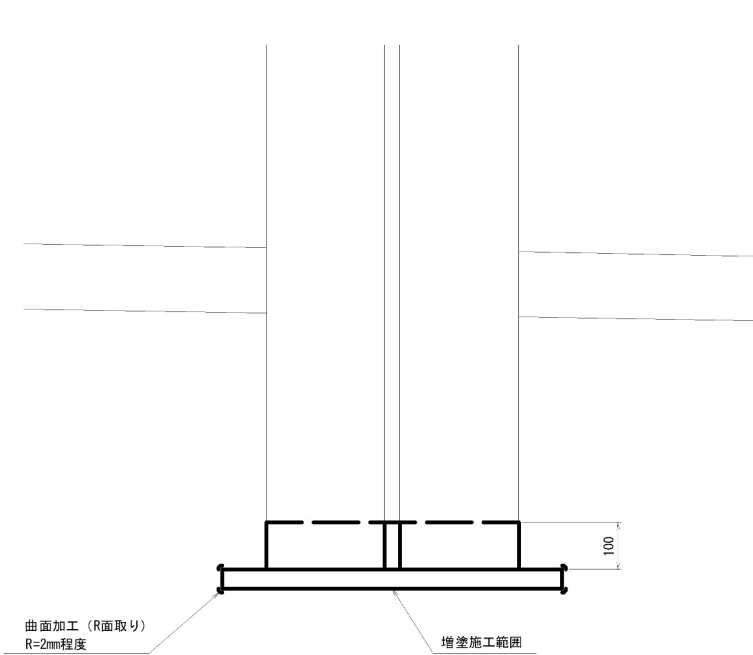
道央自動車道 苦小牧川橋床版取替工事			
図面の種類	苦小牧川橋		
	塗替塗装	増塗・桁端部詳細図	
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	安藤ハザマ・岩田地崎JV		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 北広島管理事務所		



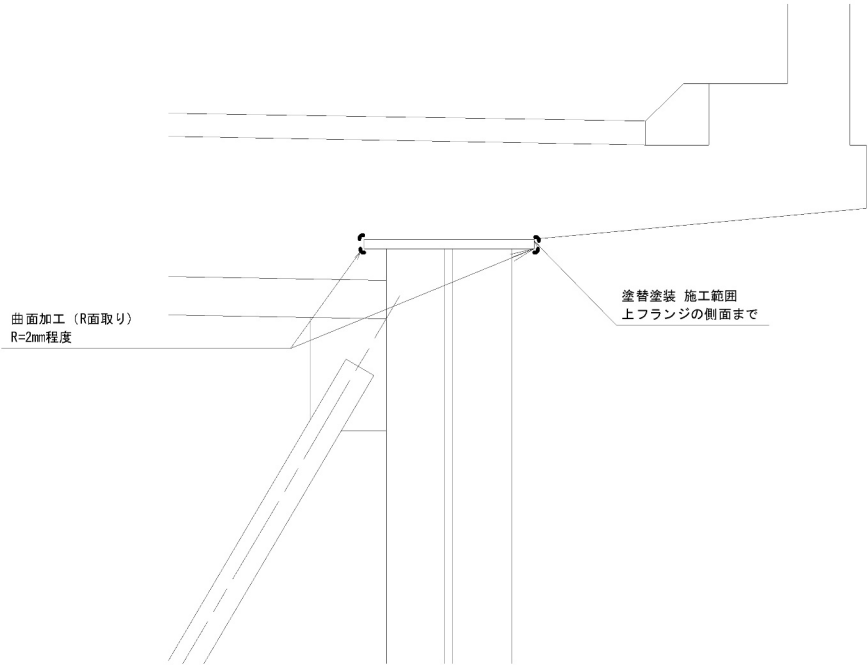
※増塗、曲面加工（R面取り）について

- ・下フランジと接するウェブの立ち上がり部分10cm及び桁端部については、塗替塗装系の最終下塗り層を1層増塗することとする。
- ・主桁の下フランジ角部には、曲面加工（R面取り）を行うこととする。
- ・主桁の上フランジ角部には、曲面加工（R面取り）を行うこととする。
- ・増塗の下フランジ範囲は、上面・下面・小口とする。ただし、添接部は除く。

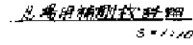
下フランジ増塗部、曲面加工部 詳細図



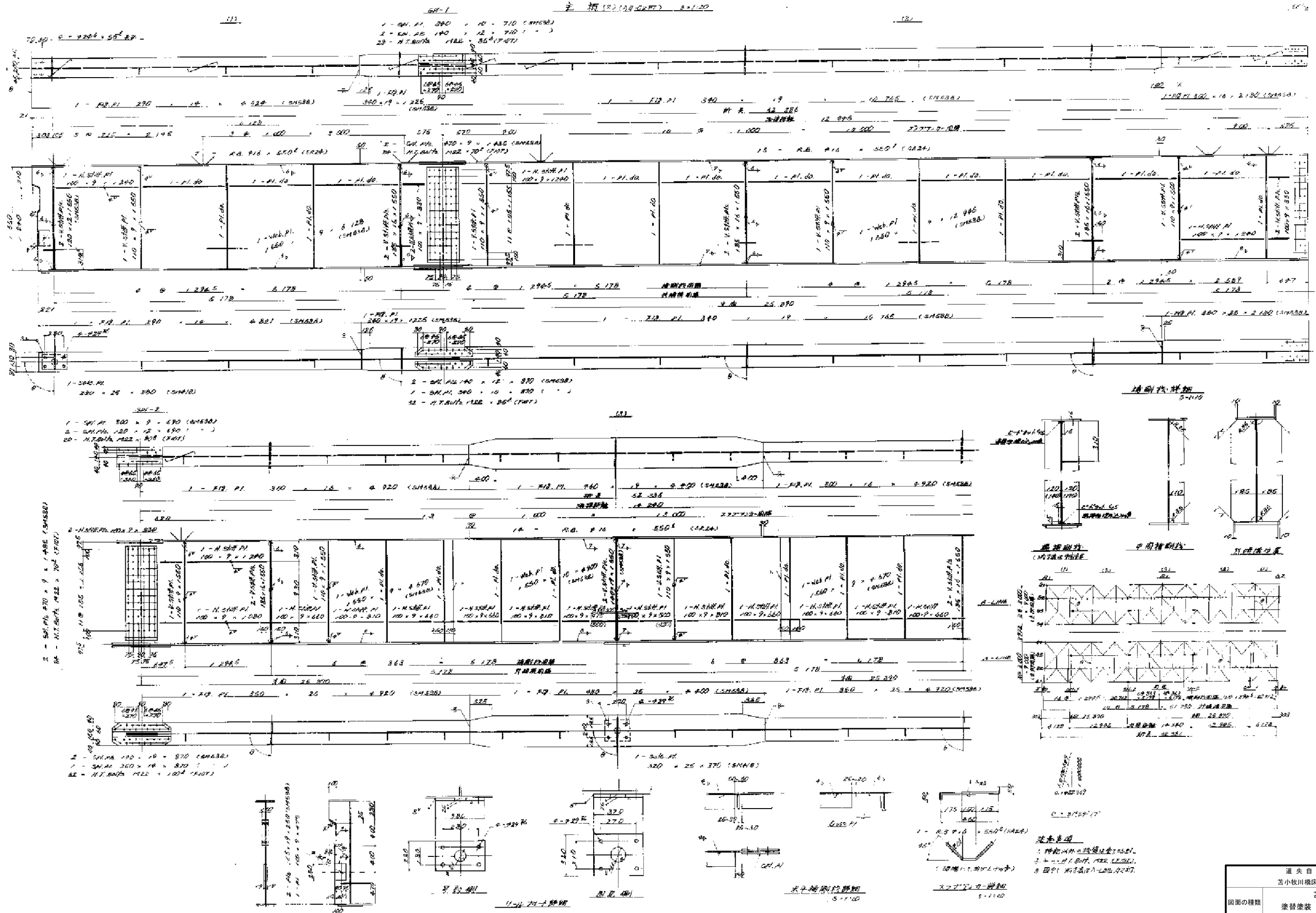
上フランジ部、塗替塗装部 詳細図



道央自動車道 苦小牧川橋床版取替工事			
図面の種類	苦小牧川橋		
	塗替塗装 標準横断面図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	安藤ハザマ・岩田地崎JV		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 北広島管理事務所		

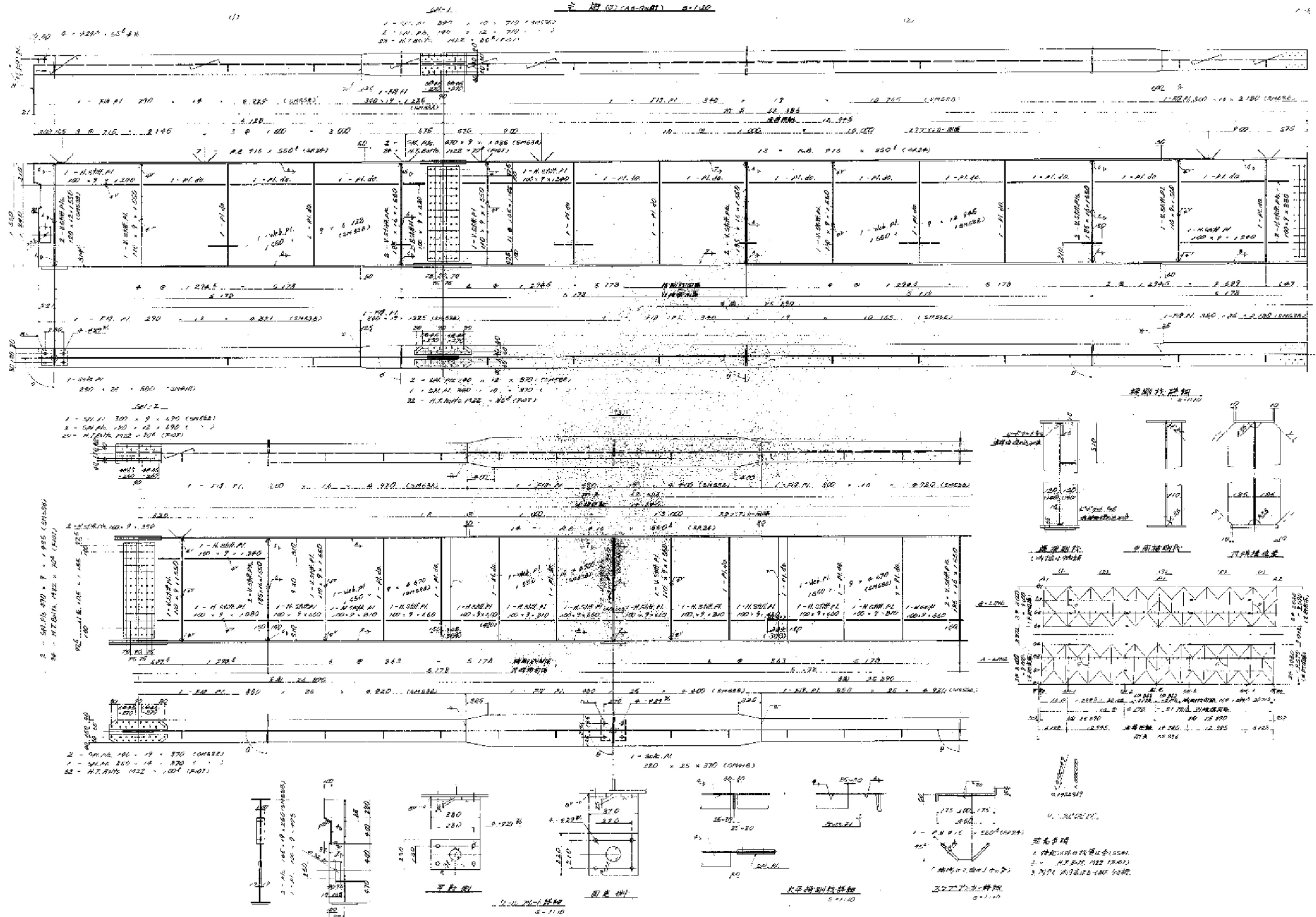


道 央 自 動 車 道			
苫小牧川橋床版取替工事			
図面の種類	苫小牧川橋 塗替塗装 主桁(1) (A-G1桁)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	安藤ハザマ・岩田地磯JV		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 北広島管理事務所		



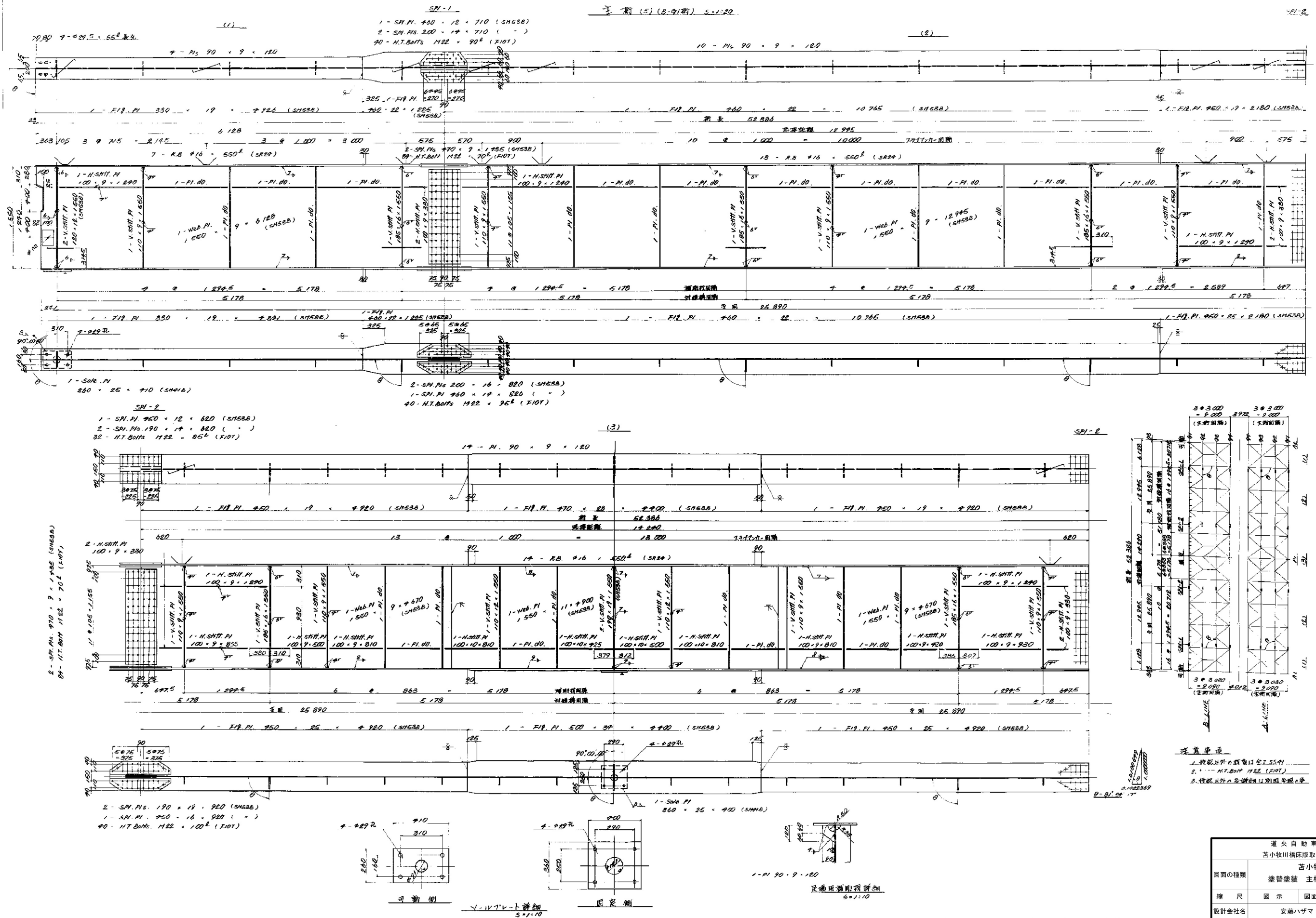
道央自動車道	吉小牧川橋床版取替工事
図面の種類	吉小牧川橋 塗替塗装 主桁(2) (AB-G2桁)
縮尺	図示 図面番号
設計会社名	安藤ハザマ・岩田地崎JV
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 北広島管理事務所





道央自動車道 苦小牧川橋床版取替工事			
図面の種類	苦小牧川橋		
	塗替塗装 主桁(3) (AB-G3桁)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	安藤ハザマ・岩田地崎JV		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 北広島管理事務所		





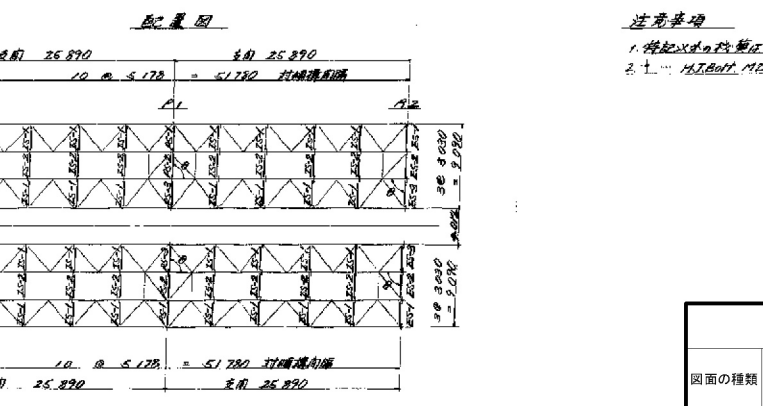
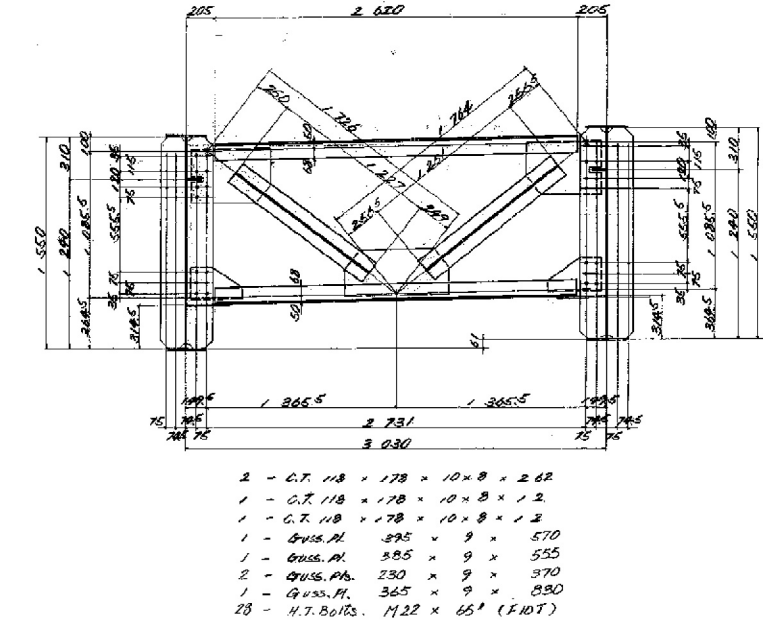
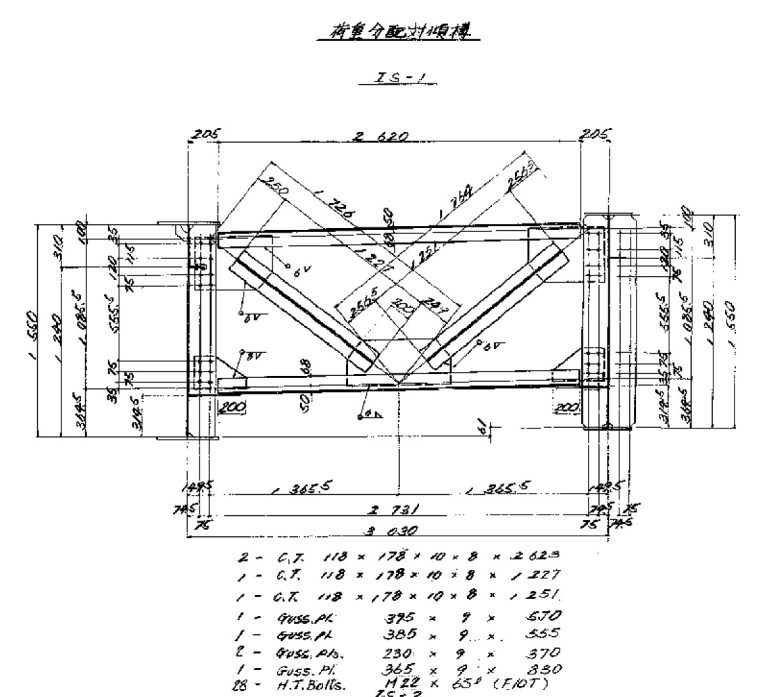
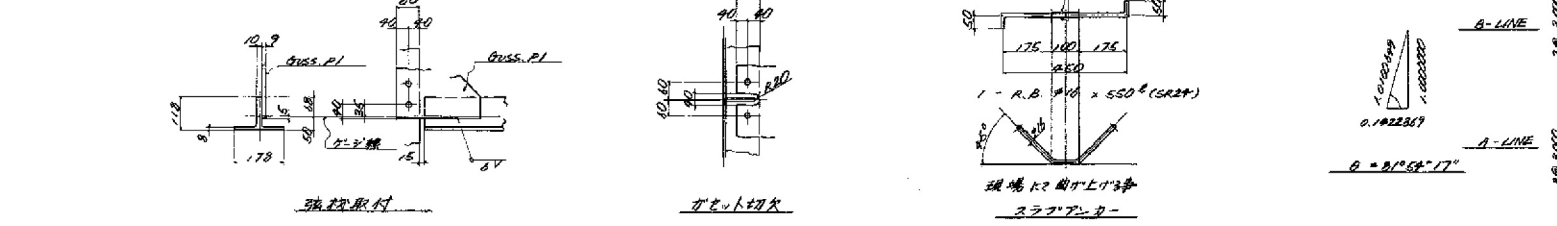
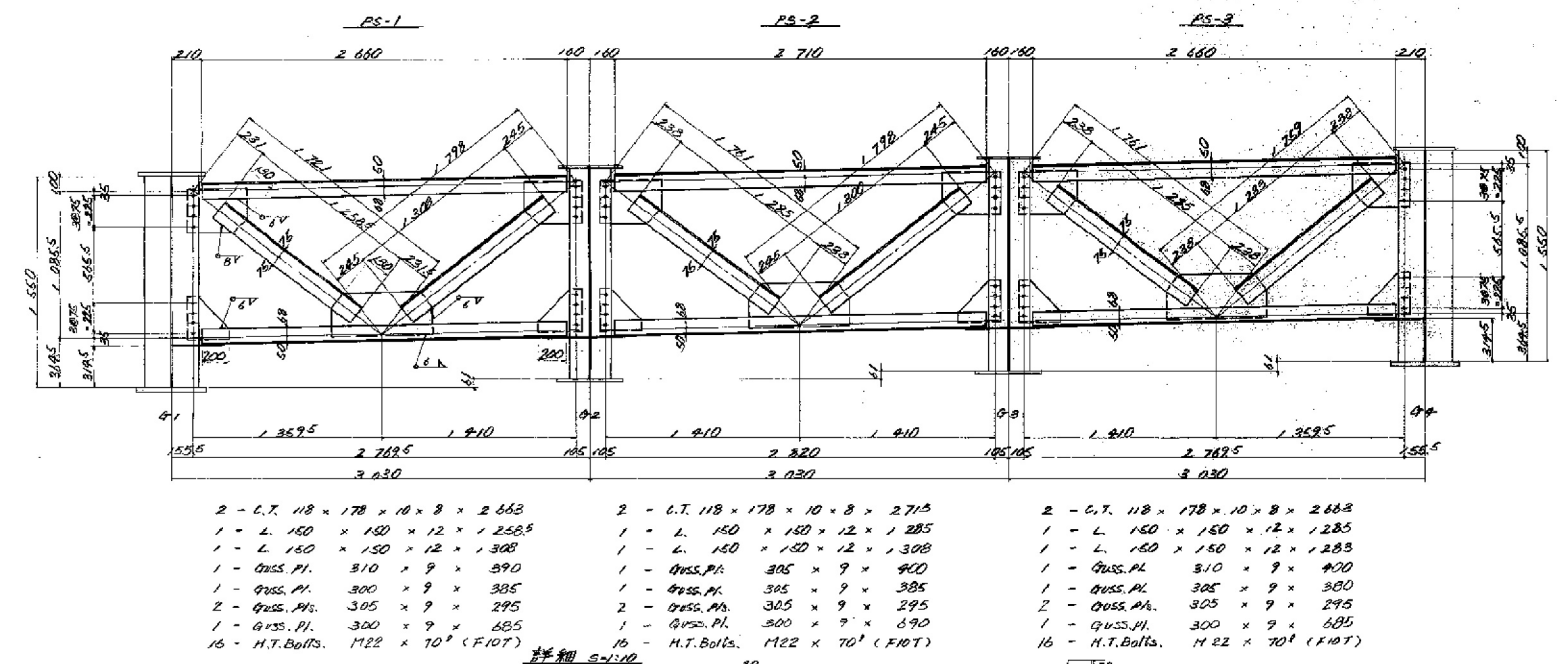
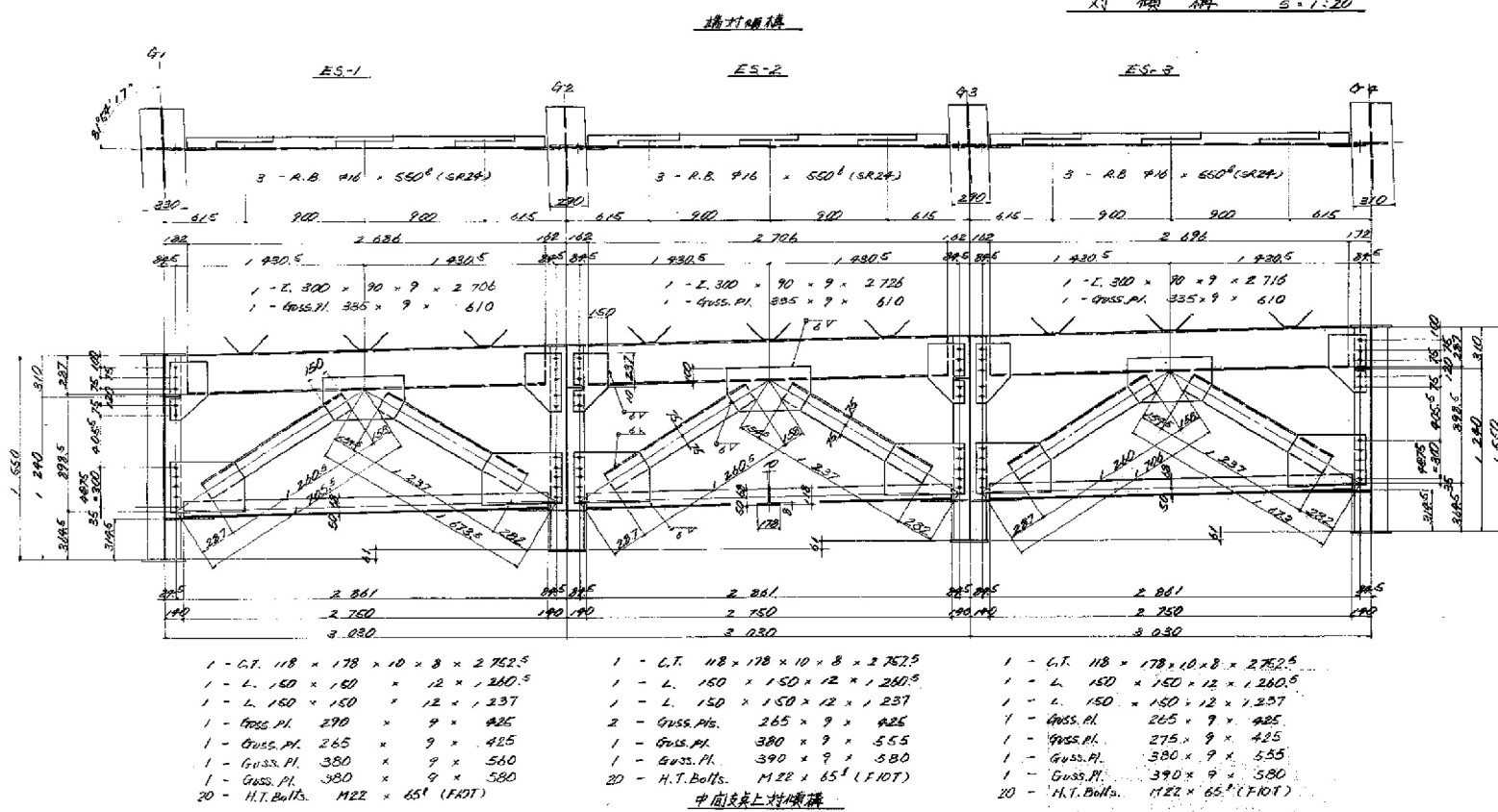
塗替塗装  
1. 鉄板以外の部材は全てSS41  
2. HT. BOLT. M22 (F107)  
3. 鉄板以外の部材は別途要領を参照

道央自動車道	吉小牧川橋床版取替工事
図面の種類	吉小牧川橋 塗替塗装 主桁(5) (B-G1桁)
縮尺	図示 図面番号
設計会社名	安藤ハザマ・岩田地味JV
施工会社名	東日本高速道路株式会社 北海道支社
事務所名	北広島管理事務所



道 央 自 動 車 道			
吉小牧川橋版取替工事			
図面の種類	吉小牧川橋 塗替塗装 主桁(6)(B-G4桁)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	安藤ハザマ・岩田地磯JV		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 北広島管理事務所		

対傾構 5=1:20



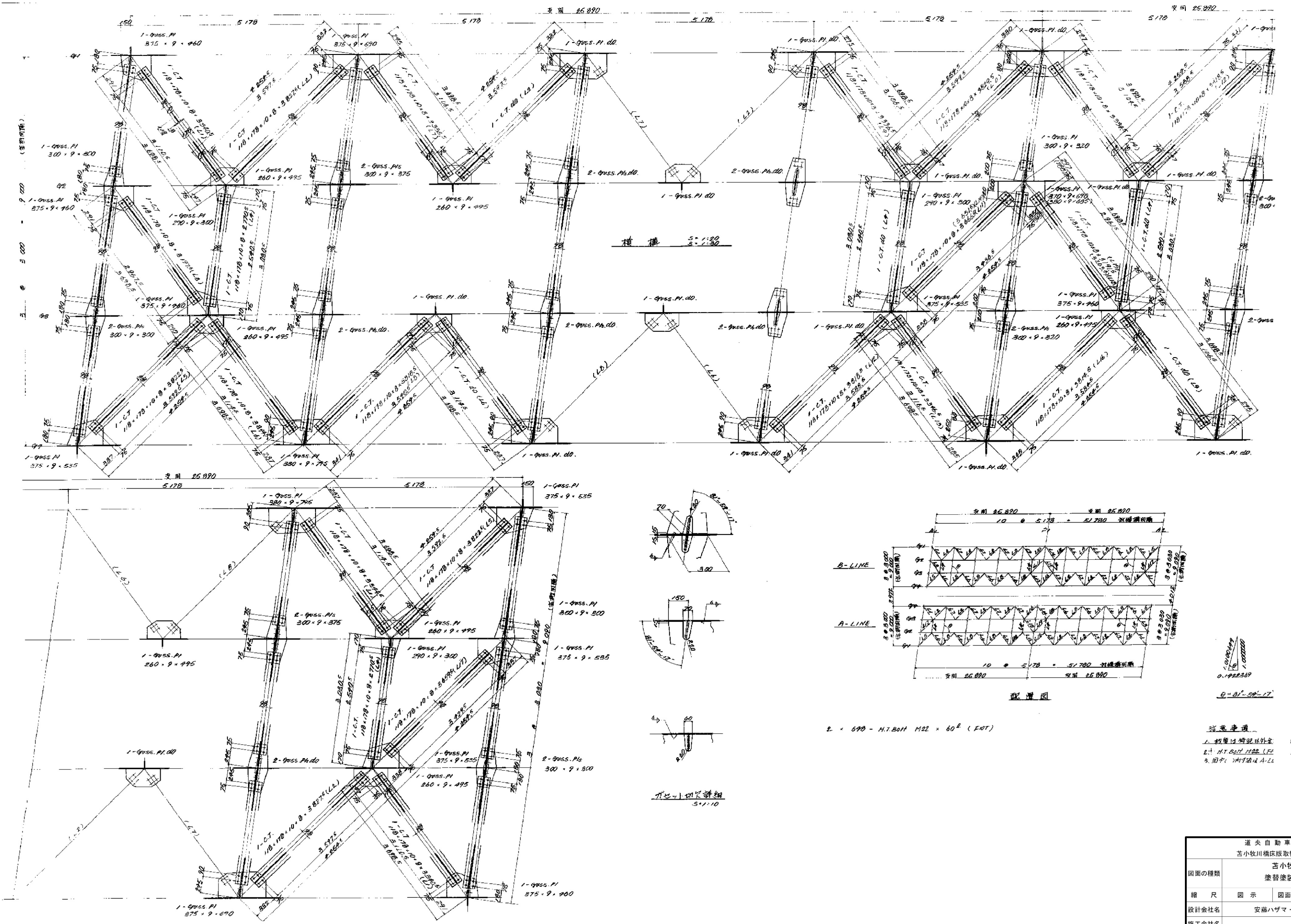
注意事項

1. 張設は図面上の寸法を5mmの差

2. 1. H.T. Bolts. M22 (F10T)

道央自動車道	吉小牧川橋床版取替工事
図面の種類	吉小牧川橋 塗替塗装 対傾構
縮尺	図示 図面番号
設計会社名	安藤ハザマ・岩田地崎JV
施工会社名	東日本高速道路株式会社 北海道支社
事務所名	北広島管理事務所



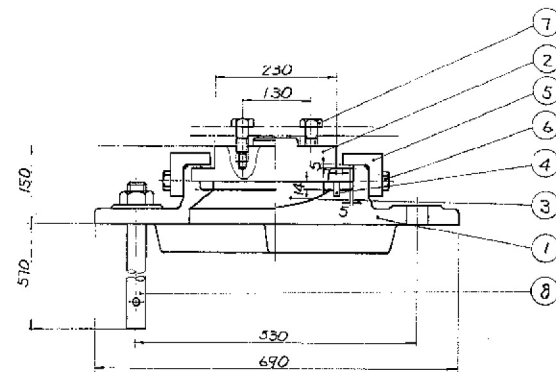


2 = 690 - H.T.20H M22 x 60 (FOT)

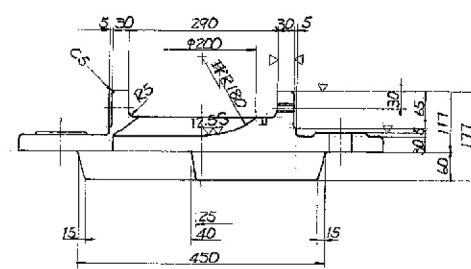
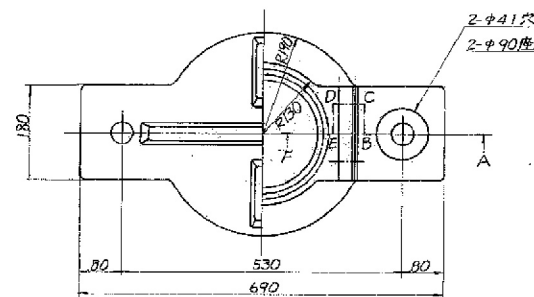
注意事項  
1. 材質は特記以外全  
2. H.T.20H M22 (F)  
3. 図中: 1/4TはA-L

道央自動車道 苦小牧川橋床版取替工事			
図面の種類	苦小牧川橋 塗替塗装 横構		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	安藤ハザマ・岩田地崎JV		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 北海道支社		
事務所名	北広島管理事務所		

BPA-104 (MOV-R75-C50)-SS50 S=1:5

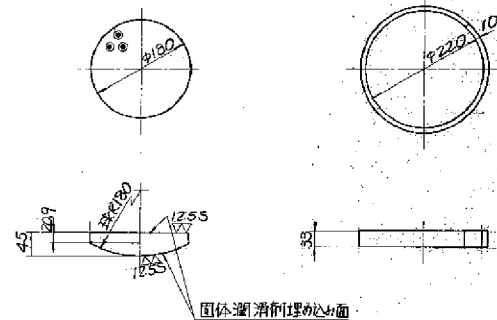


①~(▽▽) SS41

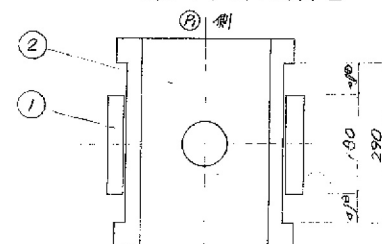


断面 ABCDEF

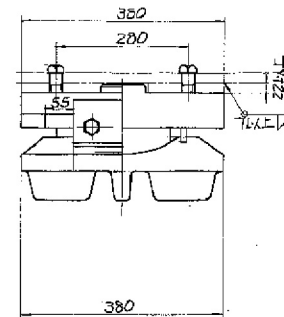
③▽(▽▽) HBsC3B+SL ④~7007レジン



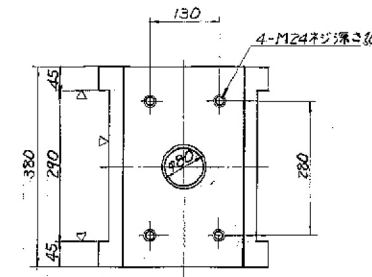
施工時奇遊間量



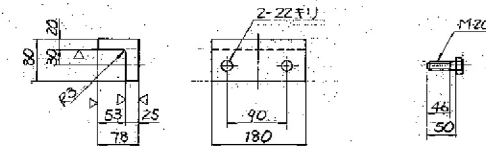
	△8.0	△8.0
0℃	60.4	49.6
10℃	57.2	52.8
20℃	54.0	56.0
30℃	50.8	59.2
40℃	47.6	62.4



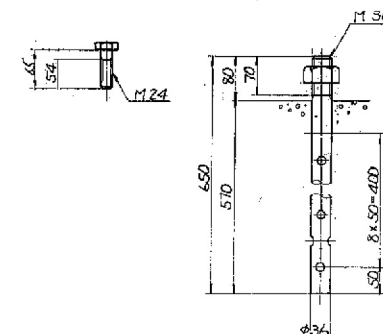
②~(▽▽) SS41



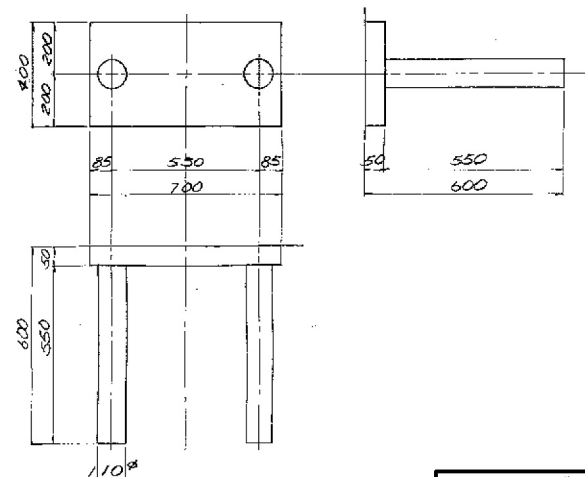
⑤~(▽) SS41 ⑥ SS41



⑦ SS41 ⑧~ SS41



アンカーボルト箱板 S=1/10



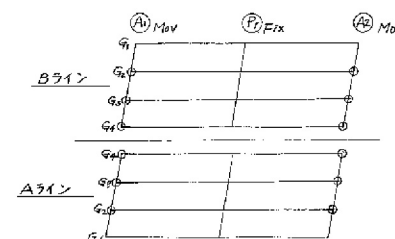
設計条件

反力		
全反力	R	75.2 ton
死荷重反力	R <sub>d</sub>	38.9 ton
活荷重反力	R <sub>l</sub> (+2)	36.3 ton
橋軸方向水平力(移動時)	R <sub>h1</sub>	11.3 ton
橋軸方向水平力(地震時)	R <sub>h2</sub>	9.4 ton
橋軸直角方向水平力(地震時)	R <sub>h3</sub>	9.4 ton
上橋力(地震時)	V	3.9 ton
計算移動量	e <sub>0</sub>	50 mm
設計移動量	e <sub>c</sub>	70 mm
全移動可能量	e	110 mm
水平震度		
設計水平震度	K <sub>d</sub>	0.24
摩擦係数		
設計摩擦係数	f	0.15
許容支圧応力度		
下部工との許容支圧応力度	σ <sub>br</sub>	80 kg/cm <sup>2</sup>

材料表

部品名	材質	個数	重量(kg)	備考
1 下管	SC46	1	76.5	
2 上管	SS41	1	52.2	
3 ベアリングプレート	HBsC3B+SL	1	6.6	
4 シールリング	7007レジン	1	0.3	
5 サイドブロック	SS41	2	8.4	
6 ボルト	SS41	4	0.7	M20×50 (S=46)
7 ボルト	SS41	4	1.3	M24×65 (S=54)
8 アンカーボルトナット	SS41	2	11.2	
全重量(kg)			142.2	

配置図



道央自動車道			
苫小牧川橋床版取替工事			
図面の種類	苫小牧川橋		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	安藤ハザマ・岩田地崎JV		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 北広島管理事務所		



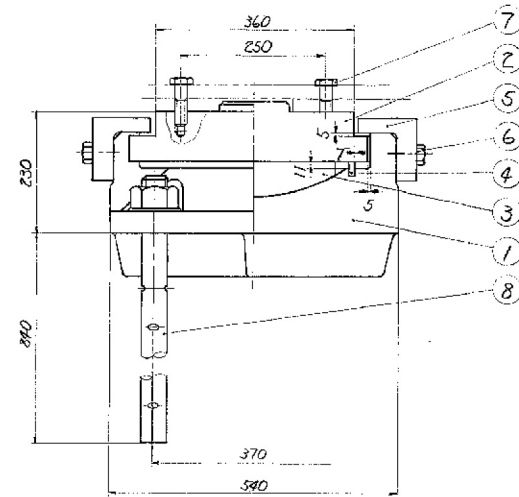




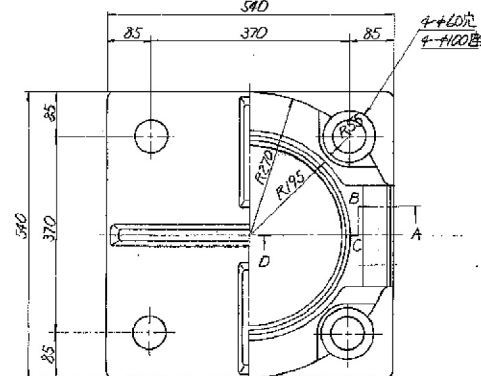
BPA-113 (Fix-R200)-S50

S = 1:5

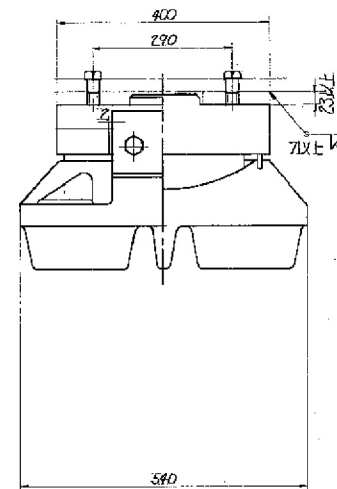
②~(▽▽)SS41



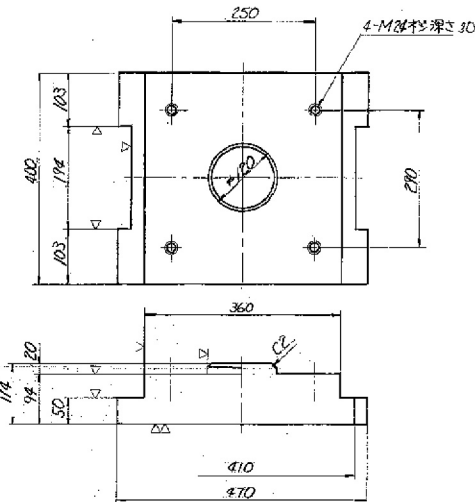
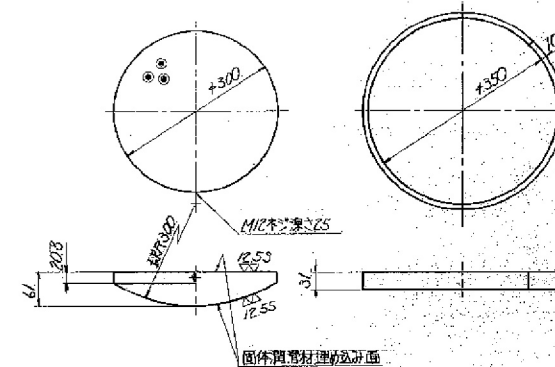
①~(▽▽)SC46



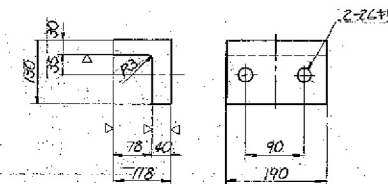
断面A B C D



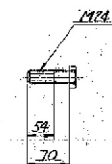
③~(▽▽)HBsC3B+SL ④~クロロブレンゴム



⑤~(▽)SS41

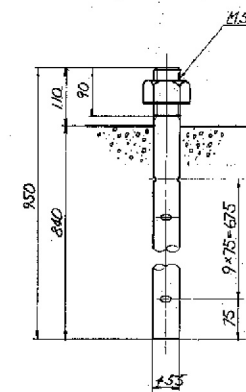
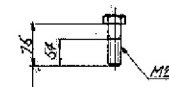


⑥SS41

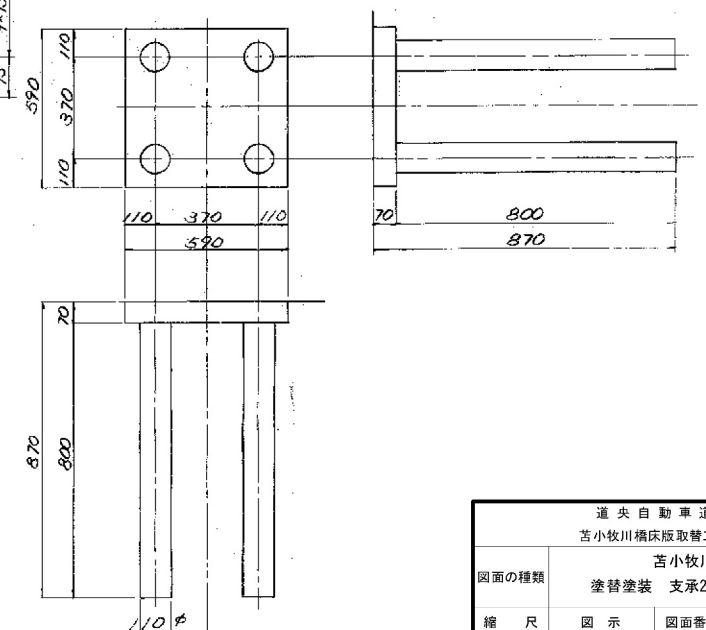


⑦~SS41

⑦SS41



アンカーボルト箱板 S = 1/10

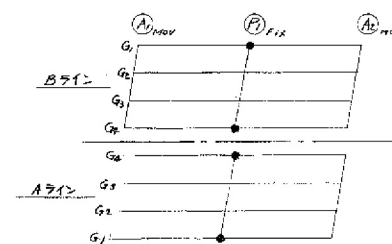


設計条件

反力			
全反力	R	204.5 ton	
先荷重反力	R <sub>d</sub>	131.9 ton	
活荷重反力	R <sub>h</sub>	72.6 ton	
橋軸方向水平力(移動時)	R <sub>h</sub>	30.7 ton	
橋軸方向水平力(地震時)	R <sub>h</sub>	50.5 ton	
橋軸直角方向水平力(地震時)	R <sub>h</sub>	31.7 ton	
上揚力(地震時)	V	13.2 ton	
水平震度			
設計水平震度	K <sub>H</sub>	0.24	
摩擦係数			
設計摩擦係数	μ	0.15	
許容圧縮応力度			
下部工との許容圧縮応力度	σ <sub>bc</sub>	80 kg/cm <sup>2</sup>	

材料表

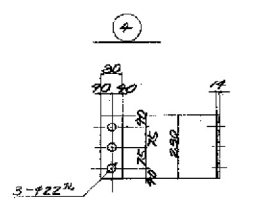
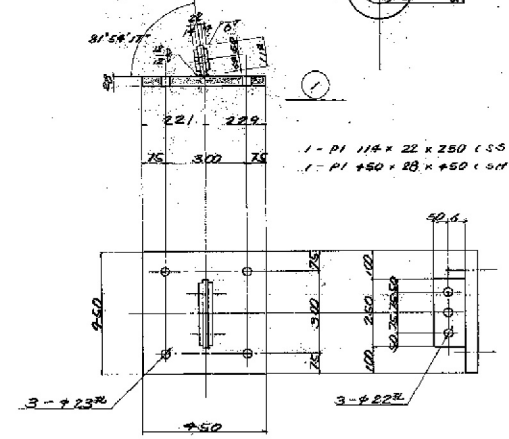
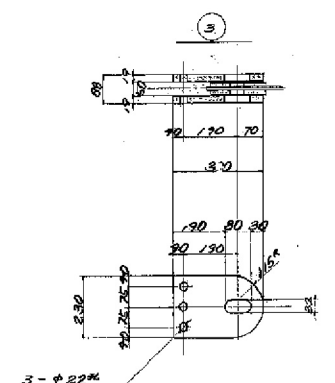
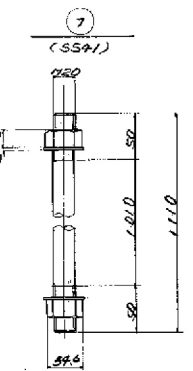
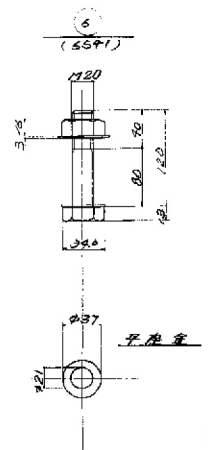
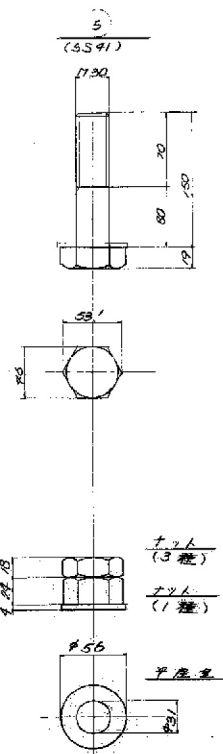
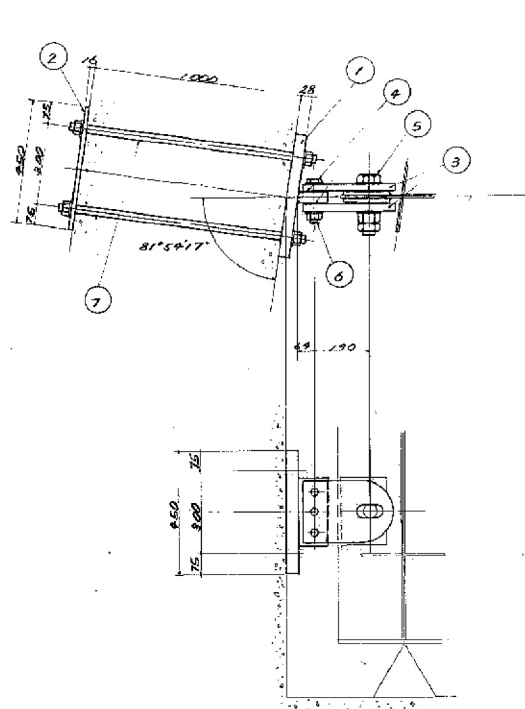
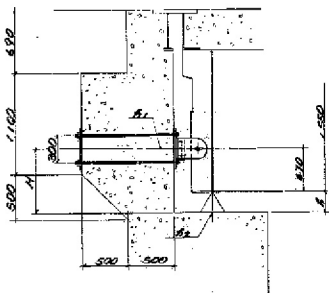
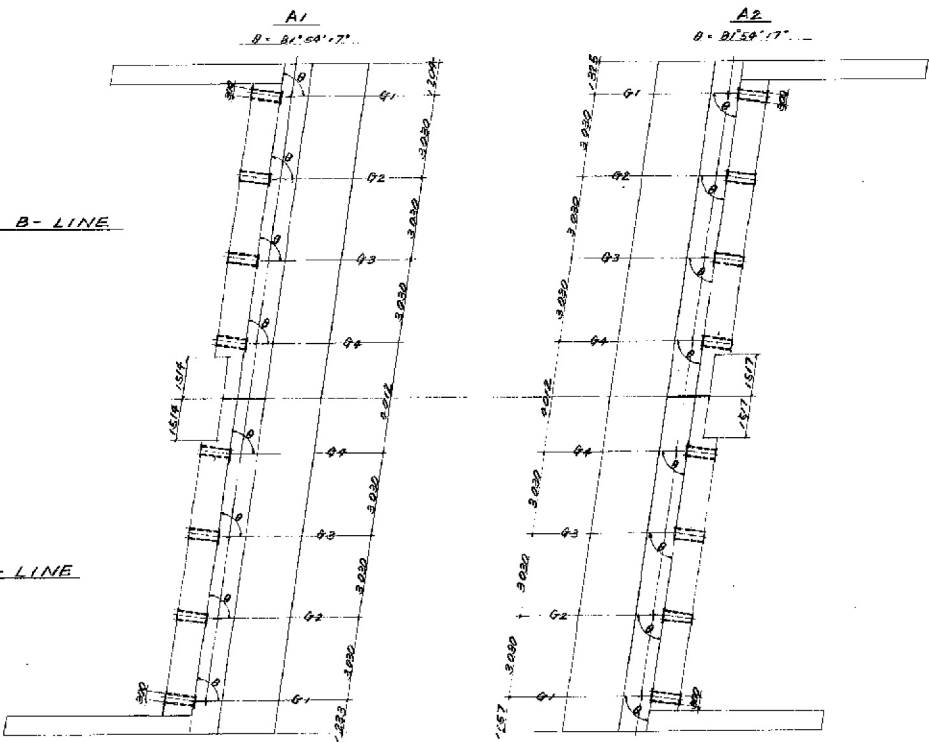
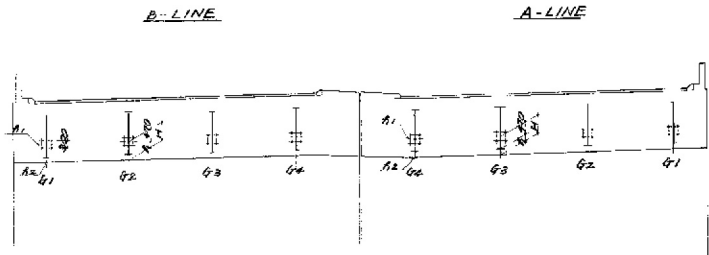
部名	品名	材質	個数	重量(kg)	備考
1	下蓋	SC46	1	22.0	
2	上蓋	SS41	1	12.0	
3	ベアリングプレート	HBsC3B+SL	1	22.8	
4	ボールジョイント	クロロブレンゴム	1	0.5	
5	サイドプレート	SS41	2	21.8	
6	ボルト	SS41	4	1.8	M20×70 (S=50)
7	ナット	SS41	4	1.8	M20 (S=50)
8	アンカーボルト	SS41	4	7.5	
全重量(kg)				470.2	



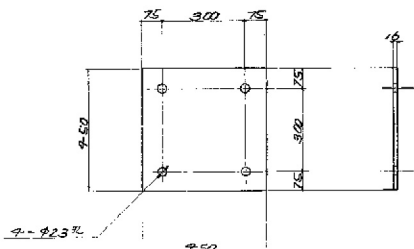
道央自動車道			
苫小牧川橋床版取替工事			
図面の種類	苫小牧川橋		
	塗替塗装 支承200TON (FIX)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	安藤ハザマ・岩田地味JV		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 北広島管理事務所		

耐震連結装置 S=1:100

組立図 S=1:10



7 諸元	B-LINE								A-LINE							
	A1				A2				A1				A2			
	G1	G2	G3	G4	G1	G2	G3	G4	G1	G2	G3	G4	G1	G2	G3	G4
A1	14,422	14,523	14,624	14,725	14,826	14,927	15,028	15,129	15,230	15,331	15,432	15,533	15,634	15,735	15,836	15,937
A2	13,778	13,879	13,980	14,081	14,182	14,283	14,384	14,485	14,586	14,687	14,788	14,889	14,990	15,091	15,192	15,293
A	236	236	236	236	236	236	236	236	236	236	236	236	236	236	236	236
H	704	704	704	704	704	704	704	704	704	704	704	704	704	704	704	704

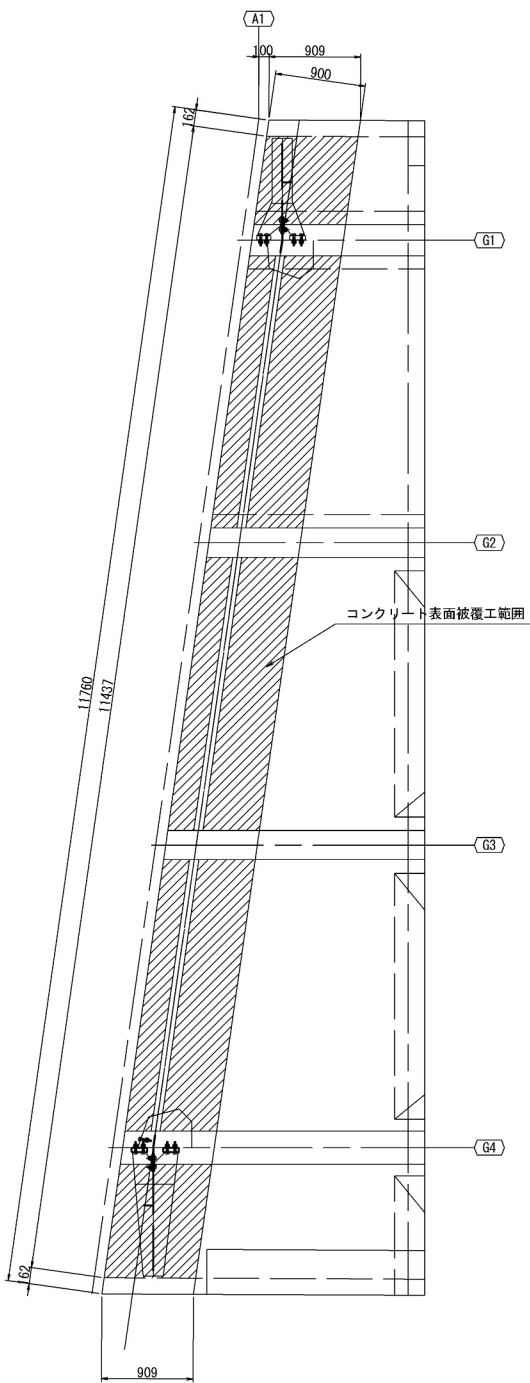


注意事項

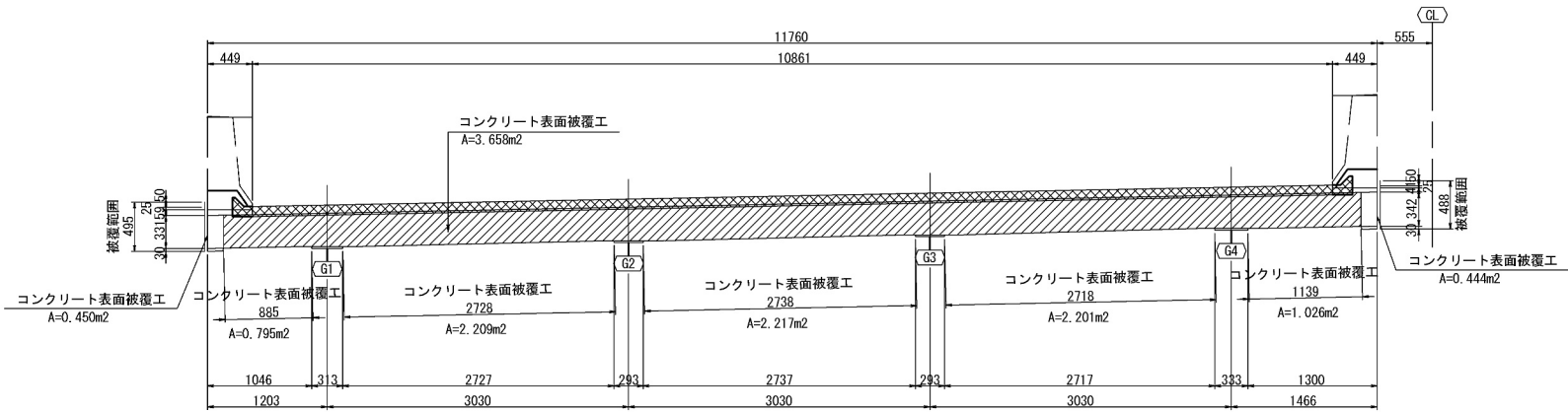
道央自動車道 苫小牧川橋床版取替工事	
苫小牧川橋 塗替塗装 耐震連結装置	
図面の種類	図示 図面番号
縮尺	図示 図面番号
設計会社名	安藤ハザマ・岩田地崎JV
施工会社名	東日本高速道路株式会社 北海道支社
事務所名	北広島管理事務所

苫小牧川橋（下り線） コンクリート表面被覆工図（その1）  
 （A1側）

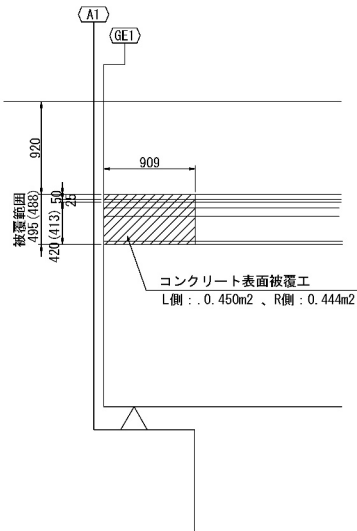
平面図 S=1:75



断面図 S=1:75

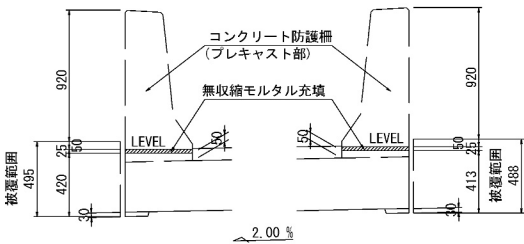


側面図 S=1:75



※（ ）内はR側寸法を示す。

側面 表面被覆範囲 S=1:50



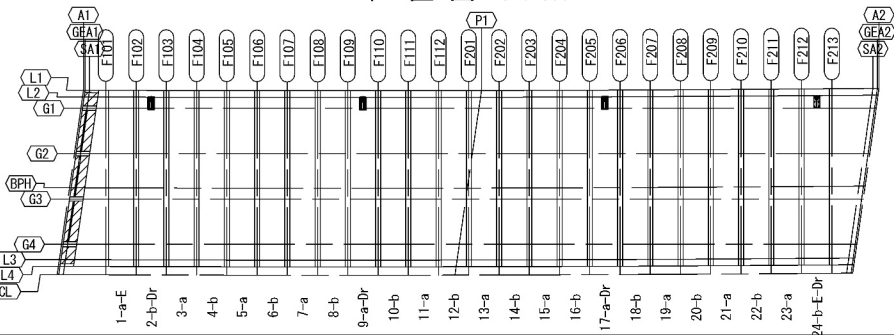
項目	単位	数量	備考
上り線	m2	26.1	
下り線	m2	26.1	
合計	m2	52.2	

数量表

項目	単位	数量	備考
表面保護工			
コンクリート表面被覆工	m2	13.000	表面被覆材

コンクリート表面被覆工

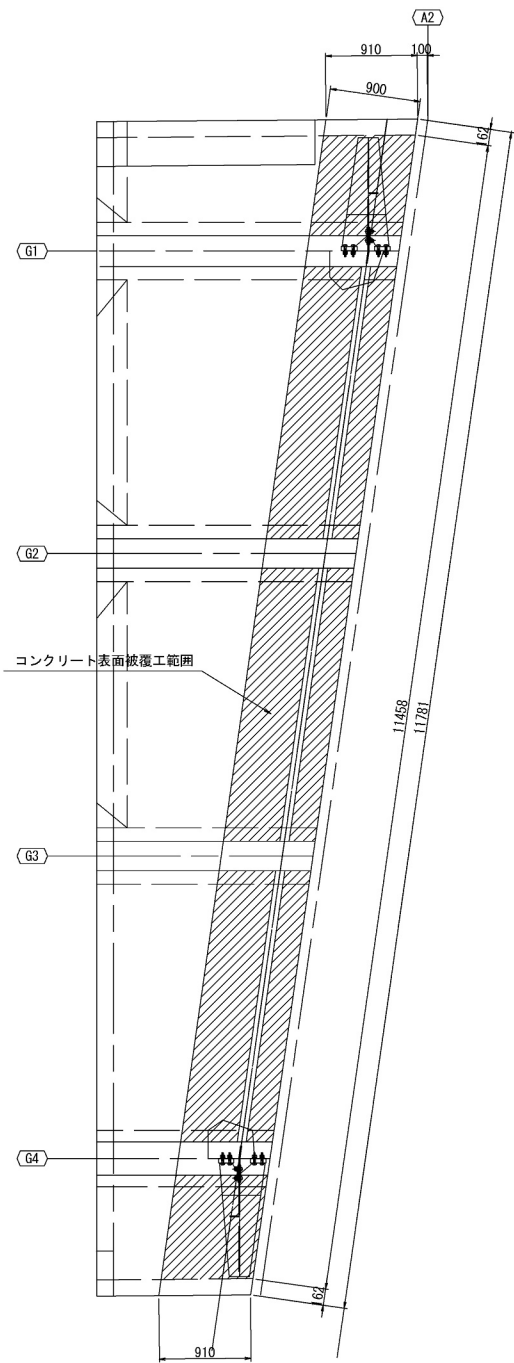
位置図 S=1:500



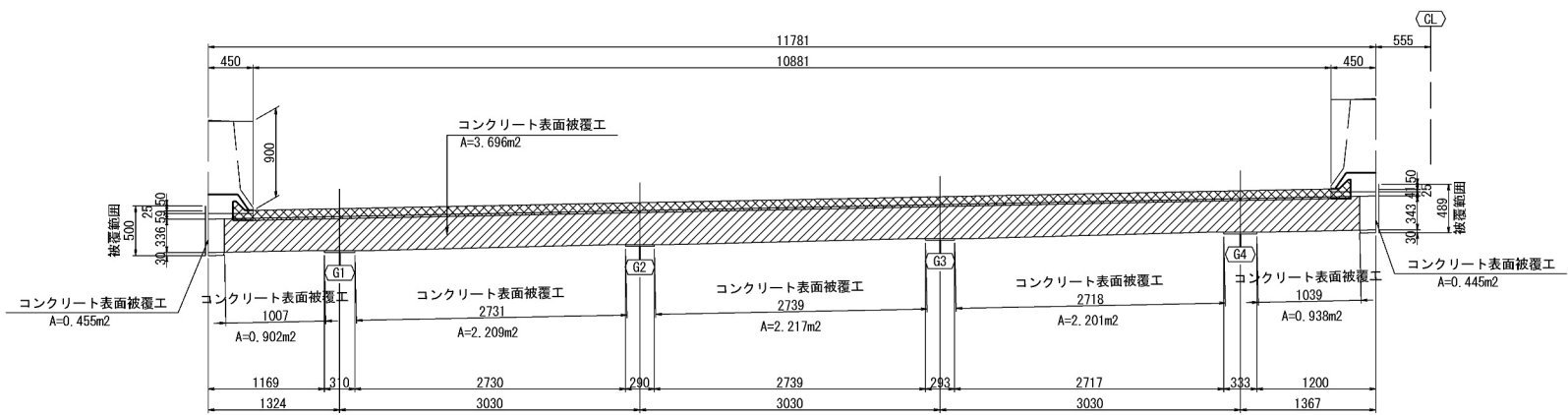
道央自動車道 苫小牧川橋床版取替工事			
図面の種類	苫小牧川橋（下り線） コンクリート表面被覆工図（その1）		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	安藤ハザマ・岩田地崎JV		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 北広島管理事務所		

苫小牧川橋(下り線) コンクリート表面被覆工図(その2)  
(A2側)

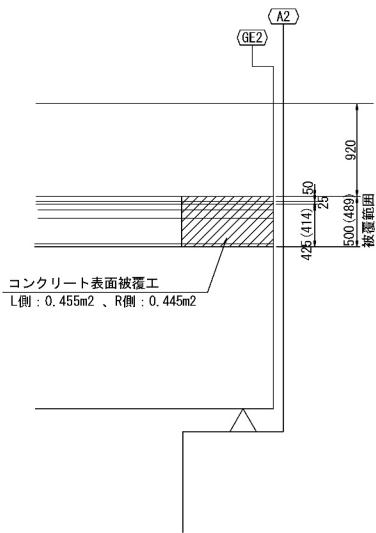
平面図 S=1:75



断面図 S=1:75

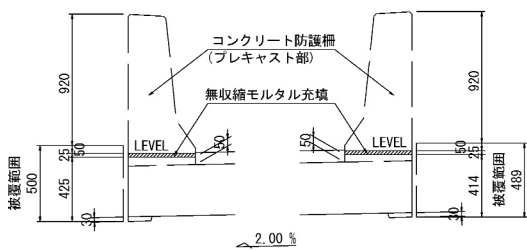


側面図 S=1:75



※( )内はR側寸法を示す。

側面 表面被覆範囲 S=1:50

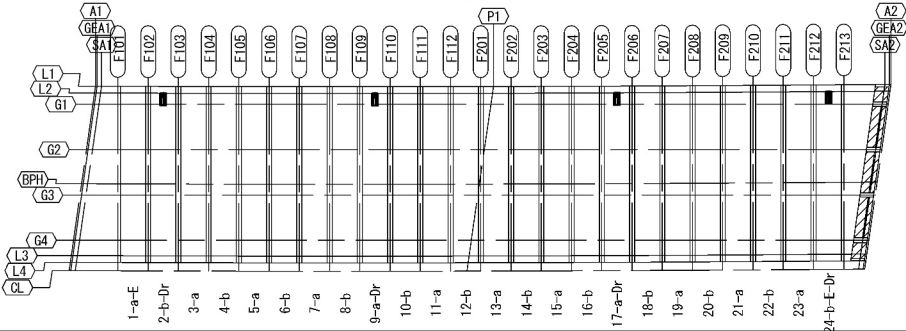


数量表

項目	単位	数量	備考
表面保護工			
コンクリート表面被覆工	m2	13.063	表面被覆材

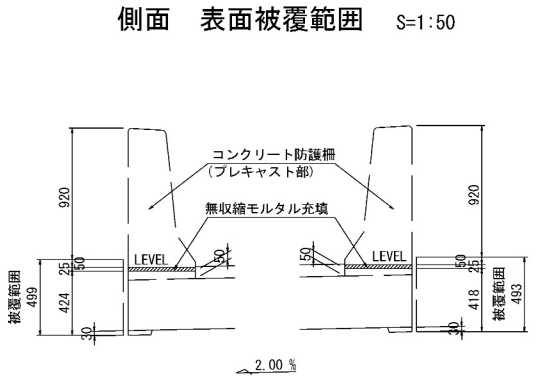
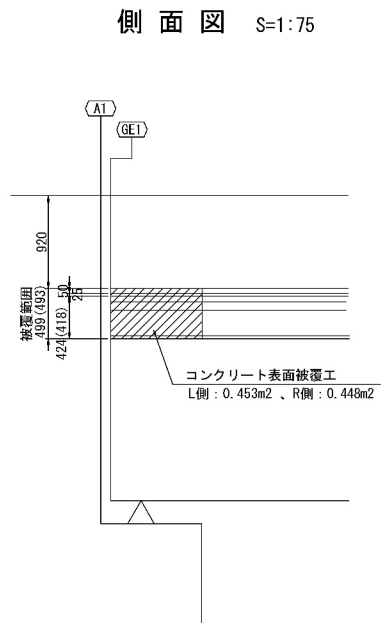
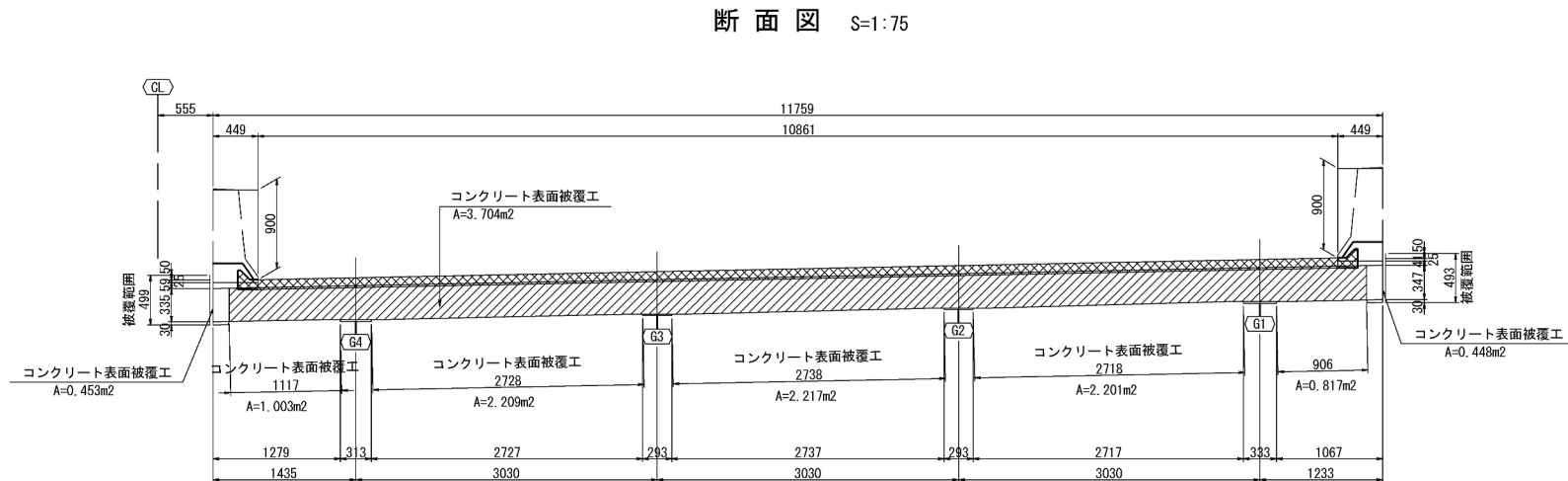
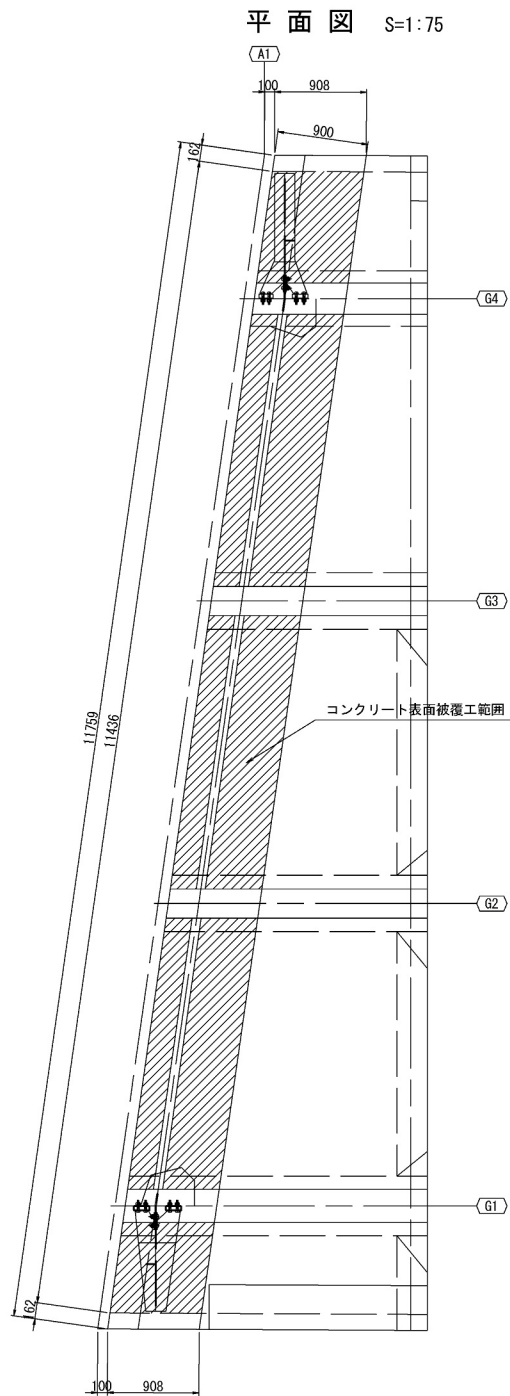
コンクリート表面被覆工

位置図 S=1:500



道央自動車道 苫小牧川橋床版取替工事			
図面の種類	苫小牧川橋(下り線) コンクリート表面被覆工図(その2)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	安藤ハザマ・岩田地崎JV		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 北広島管理事務所		

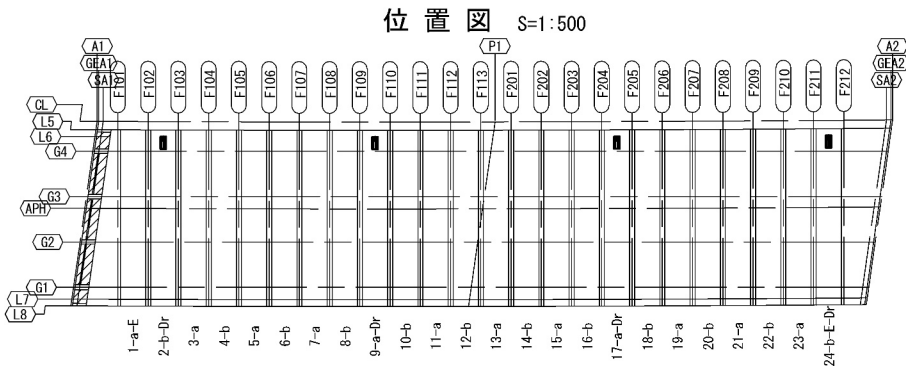
苫小牧川橋(上り線) コンクリート表面被覆工図(その1)  
(A1側)



※( )内はR側寸法を示す。

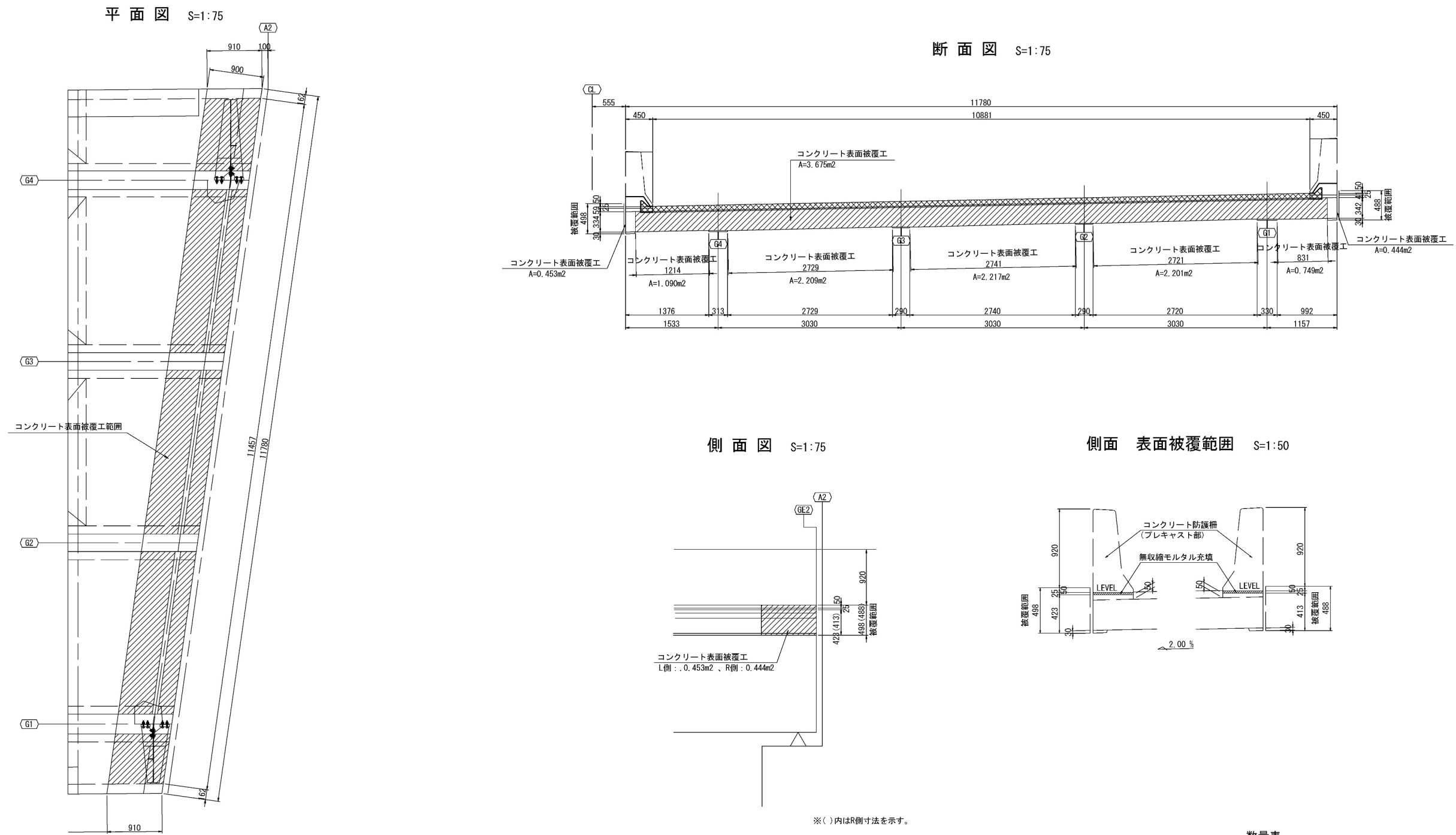
数量表			
項目	単位	数量	備考
表面保護工			
コンクリート表面被覆工	m2	13.052	表面被覆材

コンクリート表面被覆工



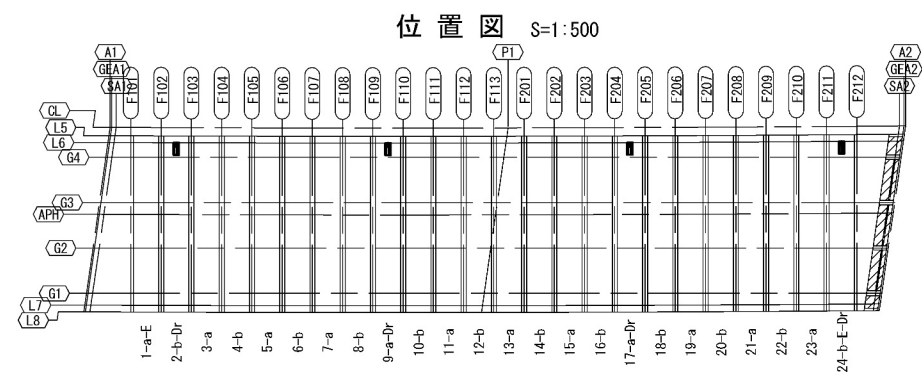
道央自動車道 苫小牧川橋床版取替工事			
図面の種類	苫小牧川橋(上り線) コンクリート表面被覆工図(その1)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	安藤ハザマ・岩田地崎JV		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 北広島管理事務所		

苫小牧川橋(上り線) コンクリート表面被覆工図(その2)  
 (A2側)



項目	単位	数量	備考
表面保護工			
コンクリート表面被覆工	m2	13.038	表面被覆材

コンクリート表面被覆工



道央自動車道 苫小牧川橋床版取替工事			
図面の種類	苫小牧川橋(上り線) コンクリート表面被覆工図(その2)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	安藤ハザマ・岩田地崎JV		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 北広島管理事務所		